

**SANDEN**

Delivering Excellence

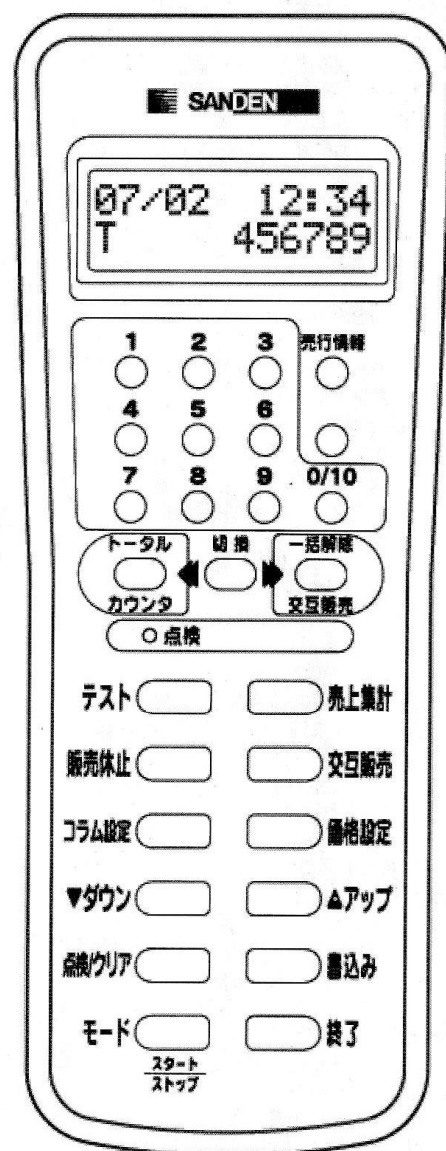
操作説明書

コントロールボックス

リモコン VOS-SSSK04

DL

- ・ご使用前に必ずこの操作説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



※改良などで、仕様の内容を一部変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

R50

古紙パルプ配合率50%再生紙を使用

サンデン株式会社

37761-45560 AR-042

目次

●リモコン各部の名称と概略機能	4
●点滅表示について	4
●操作一覧表(専用キー)	5
I. テストキー	
I-01 (1). 単品テスト販売	6
I-01 (2). コインテスト販売	6
I-02. 連続テスト販売(約1個/1.5秒)	6
I-03. 高速連続テスト販売(約2個/1秒)	6
I-04. 順送りテスト販売	7
I-05. 自動連続テスト販売(約1個/1.5秒)	7
I-06. 回数指定連続テスト販売	7
II. 売上集計キー	
II-01. トータル売上個数、コラム別売上個数の確認・クリア	8
II-02. トータル売上金額、コラム別売上金額の確認・クリア	8
II-03. グループ別売上個数の確認・クリア	8
II-04. グループ別売上金額の確認・クリア	8
II-05. 価格別売上個数の確認・クリア	8
II-06. 価格別売上金額の確認・クリア	9
II-07. テスト販売個数の確認・クリア	9
II-08. ルーレット当たり個数の確認・クリア	9
II-09. ルーレット当たり金額の確認・クリア	9
II-10. 割引合計個数の確認・クリア	9
II-11. 割引合計金額の確認・クリア	9
II-12. 累計売上個数の確認	9
II-13. 現金累計売上個数の確認	9
II-14. 現金以外累計売上個数の確認	9
II-15. 累計売上金額の確認	9
II-16. 現金累計売上金額の確認	10
II-17. 現金以外累計売上金額の確認	10
II-18. フリーバンド売上個数の確認・クリア	10
II-19. フリーバンド売上金額の確認・クリア	10
II-20. 部署別IDカードトータル売上個数・部署別売上個数の確認・クリア	10
II-21. 部署別IDカードトータル売上金額・部署別売上金額の確認・クリア	10
II-22. トークン別売上個数の確認・クリア	11
II-23. 累計売上のオールクリア	11
III. 販売休止キー	
III-01. 販売休止時間Aと販売休止コラムの設定・確認	11
III-02. 販売休止モードの設定・確認	11
III-03. 販売休止時間Bと販売休止コラムの設定・確認	11
IV. 交互販売キー	
IV-01. 交互販売の設定・確認	12
V. コラム設定キー	
V-01. コラムセクション配線の設定・確認	12
VI. 価格設定キー	
VI-01. 現金価格の設定・確認	12
VI-02. カード販売価格の設定・確認	12
VI-03. プライス別カウンターの設定・確認	12
VII. 点検/クリアキー	
VII-01. 現在故障の確認	13
●エラーコード表・解除方法	14
●操作一覧表(モードキー)	16
●モード操作の基本	19
O. 専用モード操作	
O-01. 価格別売上個数の確認・クリア	19
O-02. 価格別売上金額の確認・クリア	19
O-88. 累計価格別売上個数の確認	19
O-98. 選択ボタン/コラムの拡張設定	20
1. 選択モード操作	
1-01. 金額表示器への表示内容の設定・確認	20
1-02. フリーバンドの設定・確認	20
1-03. ルーレット機能の設定・確認	20
1-04. 割引販売の設定・確認	21
1-05. 自販機管理番号の設定・確認	21
1-06. 商品コードの設定・確認	21
1-07. 高速連続テスト販売の搬出速度の設定・確認	22
1-08. カウンターの集計条件設定・確認	22
1-09. 冷温切換ガイダンス表示の設定・確認	22
1-11. つり銭抜き取り不正抑止の設定・確認	22
1-12. インフォメーションボタンの設定・確認	22
1-13. 扉開閉時エラーコード表示の設定・確認	23
1-14. オフライン通信状態表示の設定・確認	23

1-15. 液晶カウンター汎用表示の設定・確認	23
1-16. フリーバンドカウンターの設定・確認	23
1-17. 扉開日時の確認	23
1-18. コラム別トークンの設定・確認	24
1-19. コラム別ルーレット売上個数の確認・クリア	24
1-20. コラム別ルーレット売上金額の確認・クリア	24
1-21. コラム別フリーバンド売上個数の確認・クリア	24
1-22. コラム別フリーバンド売上金額の確認・クリア	24
1-23. 現金価格一括加算設定	25
1-24. 現金価格別売上個数の確認・クリア	25
1-25. 現金価格別売上金額の確認・クリア	25
1-26. カード価格別売上個数の確認・クリア	25
1-27. カード価格別売上金額の確認・クリア	25
1-28. フリーバンド価格別売上個数の確認・クリア	25
1-29. フリーバンド価格別売上金額の確認・クリア	26
1-30. 印字パターンの設定・確認	26
1-31. コラム別設定価格の確認	26
1-32. 期間中コラム別売上数のクリア	26
1-33. 期間中コラム別売上数表示の設定・確認	26
1-36. 表示テストモード	27
●選択ボタンの表示部に関するその他の表示	27
1-39. 内蔵オンライン機能の設定・確認	27
1-40. オンライン通信速度の設定・確認	27
1-41. 人感センサ販売可能ランプ点滅の設定・確認	27
1-43. 取出口LED点灯条件の設定	27
1-44. 10円釣銭切れランプ消灯の設定・確認	27
1-54. ライフライン売上個数・金額の確認・クリア	28
1-55. 現金グループ別売上個数の確認・クリア	28
1-56. 現金グループ別売上金額の確認・クリア	28
1-57. 現金以外グループ別売上個数の確認・クリア	28
1-58. 現金以外グループ別売上金額の確認・クリア	28
2. タイマーモード操作	
2-01. 現在時刻の設定・確認	29
2-02. 現在月日の設定・確認	29
2-03. 現在西暦の設定・確認	29
2-04. 冷却機節電時間帯の設定・確認	29
2-05. コラム別一時販売休止時間の設定・確認	29
2-07. 照明調光時間帯の設定・確認	29
2-08. ブザー消音時間帯の設定・確認	30
2-10. 加温節電時間帯の設定・確認	30
2-11. 販売開始日時の設定・確認	30
2-12. 販売可能ランプのイルミネーション機能	30
2-13. 休日省エネ指定曜日の設定・確認	32
2-14. 休日省エネ長期休暇の設定・確認	32
2-15. コラム別販売停止日管理の設定・確認	32
2-16. 販売停止日管理の一括設定	33
2-17. 販売停止日管理機能の販売停止日の確認	33
●かんたん加温品質管理機能	33
2-18. かんたん加温品質管理日数の設定・確認	33
2-19. かんたん加温品質管理の売切設定	33
2-20. 人感センサによる照明消灯時間帯の設定	33
2-21. 外付け人感センサ感度の設定・確認	34
2-22. 割引期間の設定・確認	34
2-23. 割引時間帯の設定・確認	34
2-24. 曜日別照明消灯時間帯の設定・確認	34
2-25. 曜日別照明消灯パターンの設定・確認	34
2-26. 冷し込み時間帯の設定・確認	35
2-27. 冷し込み曜日別パターンの設定・確認	35
2-28. 人感センサによる照明調光時間帯の設定	35
3. 運転モード操作	
3-01. コンプレッサー運転モードの設定・確認	35
3-03. 照明管切れ検知の設定・確認	36
3-04. 売れ行き情報機能の設定・確認	36
3-05. 売れ行き情報検知本数の設定・確認	36
3-06. 売れ残り0本設定の設定・確認	36
3-07. 売れ残り0本設定のコラム別の設定・確認	36
3-08. 売れ残り0本設定の庫室別の設定・確認	36
3-10. 照明日灯時間の表示・クリア	37
3-11. コインメック・ビルバリの投入/排出枚数の表示・クリア	37
3-12. 搬出メカニズムの動作回数の表示・クリア	37
3-13. 休日省エネオプション設定・確認	37
3-14. 休日カレンダーの読み込み/書出し	38
3-15. ブザー音量の設定・確認	38

3-16. 明るさ感度の設定・確認	38
3-17. 凝縮器ファン連続運転モードの設定・確認	38
3-18. リモコン・コントロールパネル操作規制の設定・確認	38
3-19. 交互ヒータカット機能の設定・確認	38
3-20. 販売休止運動急速冷運転機能の設定・確認	38
3-21. ゾーン拡大運転の設定・確認	39
4. カードモード操作	
4-01. カード、コイン同時使用モードの設定・確認	39
4-02. 0円カード処理の設定・確認	39
4-03. 部署別IDカード発行年の設定・確認	39
4-04. 部署別IDカード発行月の設定・確認	39
4-05. テストIDカードの登録・確認・クリア	39
4-06. 無効部署別IDカードの登録・確認・クリア	39
4-07. カード使用上限金額の設定・確認	39
4-08. 選択ボタンの先選択有効時間の設定・確認	40
9. 共通モード操作	
9-01. つり銭合わせの確認・払出し動作	40
9-02. つり銭合わせ枚数の設定・確認	40
9-03. つり銭合わせモードの設定・確認	40
9-04. コラムセレクト配線モードの設定・確認	40
9-05. 過去の故障の確認・クリア	41
9-06. 前回販売内容の確認・クリア	41
9-07. 照明節電モードの設定・確認	41
9-08. 照明節電時間帯（消灯時間帯）の設定・確認	41
9-09. コラム別補給数の確認・クリア	41
9-10. コラム別満杯収容数の設定・確認	41
9-11. まとめ買い本数の設定・確認	41
9-12. つり銭自動返金時間の設定・確認	42
9-13. 売上集計グループの設定・確認	42
9-14. スクールタイマー販売時間帯の設定・確認	42
9-15. スクールタイマー曜日別販売パターンの設定・確認	42
9-16. 最左庫室温度の設定・確認	43
9-17. 左から2番目庫室温度の設定・確認	43
9-18. 左から3番目庫室温度の設定・確認	43
9-20. 左から4番目庫室温度の設定・確認	43
9-19. ホット商品管理データの設定・確認	43
9-23. コイン投入時照明点灯の設定・確認	43
9-24. 販売停止日管理売切表示の設定・確認	44
9-25. スクールタイマーの一時無効設定	44
9-30. COOL制御の設定・確認	44
9-31. COOL庫室温度の確認	44
9-38. ライティングパネルアウトラインLED点灯方法の設定・確認	44
9-39. ライティングパネル投入口LED点灯方法の設定・確認	44
9-41. 電源投入日時の確認	44
9-42. 電源遮断日時の確認	45
9-43. 人感センサ入力状態の確認	45
9-44. 選択ボタン表示部の輝度の設定・確認	45
9-45. 照明調光レベルの設定・確認	45
9-79. 販売履歴の確認	45
9-97 (1). 選択ボタン番号の初期設定	46
9-97 (2). 選択ボタン番号の確認	46
9-97 (3). 選択ボタン交換時の設定	46
E. オリジナルモード操作	
E-01. ピーク電力カット期間の設定・確認	47
E-02. ピーク電力カット時間帯シフト時間の設定・確認	47
E-03. ピーク電力カット実施日の設定・確認	47
E-04. ピーク電力カット終了温度の設定・確認	47
E-05. 曜日別冷却節電期間の設定	47
E-06. 曜日別冷却節電時間帯の設定	48
E-07. 曜日別冷却節電曜日別パターンの設定	48
E-08. 曜日別加温節電期間の設定	48
E-09. 曜日別加温節電時間帯の設定	48
E-10. 曜日別加温節電曜日別パターンの設定	48
E-11. ぬるめ補正時間帯の設定	48
E-12. ぬるめ補正曜日別パターンの設定	48
E-13. ぬるめ補正温度の設定・確認	49
E-14. ぬるめ補正実施条件の設定	49
●切替キー操作	50
●一括解除キー	50
●テンキー操作	50
●売行情報キー操作	52
●売上集計加算条件一覧表	54
●売上集計クリア条件一覧表	54
●照明に関する設定例	55



注意

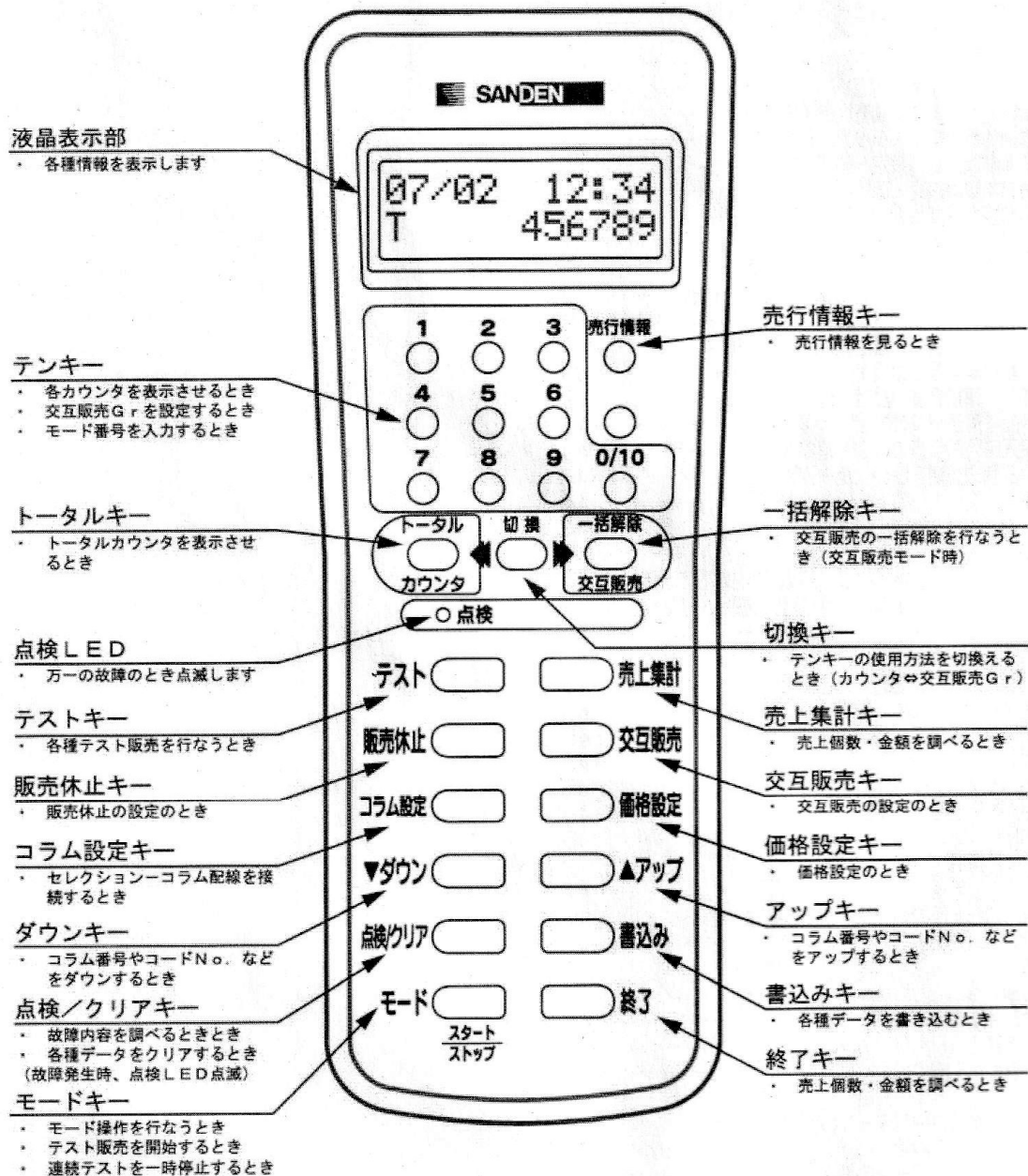


- ビン商品は、連続テスト販売はしないでください。



- 商品の販売価格を変更した場合は、必ずコインテストを行って設定価格を確認してください。
- フリーベンドの解除は、必ずリモコンを使用して行ってください。電源のオフ・オンでは解除できません。

● リモコン各部の名称と概略機能



● 点滅表示について

本書では「表示器表示」の記載について、点滅表示を以下の例の様に白抜きで表現しています。

例) 以下の「04」は点滅表示を表します。

3-04

●操作一覧表（専用キー）

- 『テスト』『売上集計』『販売休止』『交互販売』『コラム設定』『価格設定』『点検/クリア』を専用キーとします。
- 専用キーは1つまたは複数の項目操作ができます。
- 複数の項目が割り当てられている専用キーの場合、その専用キーを押した回数により、操作項目を選ぶことができます。
- 1つの項目の操作中、同じ専用キーを押すと次の項目に移ることができます。最後の項目のときにさらに同じ専用キーを押すと、最初の項目に移ります。
- 別の専用キーの操作に移るときは、現在の操作を終了（『終了』キーを押す）、改めて次の操作に必要な専用キーを押してください。
- リモコンの操作中は単品テストを除き、金銭は受け付けません。

I. テストキー

回数	表示	内容	備考
1	F5F1	単品テスト コインテスト（コイン投入時）	
2	F5F2	連続テスト（選択ボタン・リモコン）	予約機能有り （1個/1.5秒）
3	F5F3	高速連続テスト（選択ボタン・リモコン）	予約機能有り （2個/1秒）
4	F5F4	順送りテスト	
5	F5F5	自動連続テスト（選択ボタン・リモコン）	予約機能有り （1個/1.5秒）
6	F5F8	回数指定連続テスト	

II. 売上集計キー

回数	表示	内容	備考
1	F1	トータル（期間）売上個数 コラム別売上個数	0~999,999 個 0~999,999 個
2	F2	トータル（期間）売上金額 コラム別売上金額	0~999,999 円 0~999,999 円
3	F3	グループ別売上個数	0~999,999 個
4	F4	グループ別売上金額	0~999,999 円
5	F5	価格別売上個数	0~999,999 個
6	F6	価格別売上金額	0~999,999 円
7	H	テスト販売個数	0~999,999 個
8	R1	ルーレット当たり個数	0~999,999 個
9	R2	ルーレット当たり金額	0~999,990 円
10	d1	割引合計個数	0~999,999 個
11	d2	割引合計金額	0~999,990 円
12	r1	累計売上個数	0~999,999 個
13	b1	現金累計売上個数	0~999,999 個
14	c1	現金以外累計売上個数	0~999,999 個
15	r2	累計売上金額	0~999,999 円
16	b2	現金累計売上金額	0~999,990 円
17	c2	現金以外累計売上金額	0~999,999 円
18	F7	フリーバンド売上個数	0~999,999 個
19	F8	フリーバンド売上金額	0~999,990 円
20	i1	部署別 ID カードトータル売上個数 部署別 ID カード部署別売上個数	0~999,999 個 0~999,999 個
21	i2	部署別 ID カードトータル売上金額 部署別 ID カード部署別売上金額	0~999,990 円 0~999,990 円
22	F9	トークン別売上個数	0~999,999 個

- 注1. グループ別売上のグループは売上集計用の区分であり、交互販売のグループではありません。
- 注2. 価格別売上集計は現金価格、カード価格を含めて高価格から順に表示します。
- 注3. 設定価格数が最大数を越えた場合は以下の順で処理を行います。
 ①現在使用されていない価格で売上数が0の価格の集計をクリアします。
 ②現在使用されていない価格に全て売上数がある場合は最低価格の集計をクリアします。
 ③全ての価格設定が使用されている場合は最低価格の集計をクリアします。
- 注4. 現在使用されていない価格の売上表示は行いません。
 但し、集計データは現在使用されている価格を含めて最大数分残します。

III. 販売休止キー

回数	表示	内容	備考
1	H	販売休止 A（時間/コラム）	0~24 時間 任意コラム
2		販売休止モード	0：自動設定する 1：自動設定しない
3	H	販売休止 B（時間/コラム）	0~24 時間 任意コラム

IV. 交互販売キー

回数	表示	内容	備考
1	G1	交互販売	任意コラム （1~30Gr）

V. コラム設定キー

回数	表示	内容	備考
1	C1	コラムセクション配線	任意コラム

VI. 価格設定キー

回数	表示	内容	備考
1	120	現金価格	10~9,990 円 10 円単位
2	120	カード価格（カード付時のみ表示）	10~9,999 円 1 円単位
3	CnF	プライス別カウンター	7 価格

VII. 点検/クリアキー

回数	表示	内容	備考
1	コード	現在故障の確認	

I. テストキー

I-01 (1). 単品テスト販売

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト	r5r1	『テスト』キーを1回押すと、全コラムの販売可能ランプが点灯します。
2	選択ボタン	r5r1	『選択ボタン』を押すと、そのコラムの商品を1回搬出します。
3	▲アップ	LL3	『アップ』『ダウン』キーでコラム番号を指定することができます。
4	モードスタート/ストップ	LL3	『モード』キーを押すたびに、商品を1回搬出します。別のコラムのテストをする場合は手順3に 戻り繰り返してください。
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 単品テストは交互販売設定に関係なく搬出されます。

注2. 『アップ』『ダウン』キーでコラム指定を行った時は選択ボタンによるコラム指定は出来ません。

注3. 単品テストの解除方法
・30秒放置による自然解除 ・返却レバー操作 ・終了キー操作

I-01 (2). コインテスト販売

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト	r5r1	『テスト』キーを1回押すと、全コラムの販売可能ランプが点灯します。
2	コイン投入	200	コイン投入で表示が投入額に切り替わり、販売可能なコラムの販売可能ランプのみが点灯します。
3	選択ボタン	90	『選択ボタン』を押すと、そのコラムの商品を販売します。残金がある場合は、自動返却または、返却レバーによる返金で、待機状態に戻ります。 ※まとめ買い、自動返金設定によりです。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. コインテストは、コインバンド用カウンターが動作しないこと以外は、通常のコイン販売と同じ動作をします。

注2. 交互販売が設定されている場合、設定通りに搬出されます。

注3. コインテストの解除方法
・30秒放置による自然解除 ・返却レバー操作 ・終了キー操作

I-02. 連続テスト販売 (約1個/1.5秒)

(1) 選択ボタン操作の場合

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト ×2	r5r2	『テスト』キーを2回押すと、連続テスト販売になります。
2	選択ボタン	r5r2	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、テストするコラムに予約されます。(複数コラムを選択可能) また、販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し、予約が解除されます。
3	モードスタート/ストップ	LL5	『モード』キーを押すと、3～4秒後に連続搬出されます。
4	モードスタート/ストップ	LL5	搬出を途中で中止させる場合は、『モード』キーを押します。再度『モード』キーを押すと搬出を再開します。商品がなくなると自動終了します
5		LL5 予約がある場合は LL7	次の予約コラムを表示します。 続けて別のコラムをテストをする場合は、手順3 (予約ある場合) に戻り繰り返してください。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 複数のコラムを予約した場合は、最初のコラムのテストが終了した後、再度『モード』キーを押すと、次のコラムの搬出がスタートします。

注2. 連続テスト販売は売切後3回販売動作で終了します。

注3. 交互販売の設定に関係なく搬出されます。

注4. 選択ボタンによるコラム指定を行うと『アップ』『ダウン』キーによるコラム指定は出来ません。

注5. 複数のコラムを予約した場合の搬出順番は、予約順になります。コラム番号の若い順ではありません。

注6. 搬出機の過熱故障防止のため、数分間は同コラムで連続テストができないことがあります

(2) 『アップ』『ダウン』キー操作の場合

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト ×2	r5r2	『テスト』キーを2回押すと、連続テスト販売になります。
2	▲アップ	LL6	『アップ』『ダウン』キーで、コラム番号を指定します。※指定できるコラムは1つです。
3	モードスタート/ストップ	LL6	『モード』キーを押すと、3～4秒後に連続搬出されます。
4	モードスタート/ストップ	LL6	搬出を途中で中止させる場合は、『モード』キーを押します。再度、『モード』キーを押すと搬出を再開します。商品がなくなると自動終了します。手順2で次のコラムを指定します。
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 連続テスト販売は、売切後3回販売動作で終了します。

注2. 交互販売の設定に関係なく搬出されます。

注3. 『アップ』『ダウン』キーでコラム指定を行った時は選択ボタンによるコラム指定は出来ません。

注4. 搬出機の過熱故障防止のため、数分間は同コラムで連続テストができないことがあります。

I-03. 高速連続テスト販売 (約2個/1秒)

(1) 選択ボタン操作の場合

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト ×3	r5r3	『テスト』キーを3回押すと、高速連続テスト販売になります。
2	選択ボタン	r5r3	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、テストするコラムに予約されます。(複数コラムを選択可能) また、販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと販売可能ランプが消灯し、予約が解除されます。
3	モードスタート/ストップ	LL5	『モード』キーを押すと、3～4秒後に連続搬出されます。
4	モードスタート/ストップ	LL5	搬出を途中で中止させる場合は、『モード』キーを押します。再度『モード』キーを押すと搬出を再開します。商品がなくなると自動終了します。
5		LL5 予約がある場合は LL7	次の予約コラムを表示します。続けて別のコラムをテストをする場合は、手順3 (予約ある場合) に戻り繰り返してください。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 複数のコラムを予約した場合は、最初のコラムのテストが終了した後、再度『モード』キーを押すと、次のコラムの搬出がスタートします。

注2. 高速連続テスト販売は売切後3回販売動作で終了します。

注3. 交互販売の設定に関係なく搬出されます。

注4. 選択ボタンによるコラム指定を行うと『アップ』『ダウン』キーによるコラム指定は出来ません。

注5. 複数のコラムを予約した場合の搬出の順番は、予約順になります。コラム番号の若い順ではありません。

注6. 搬出機の過熱故障防止のため、数分間は同コラムで連続テストができないことがあります。

(2) 『アップ』『ダウン』キー操作の場合

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト ×3	1513	『テスト』キーを3回押すと、高速連続テスト販売になります。
2	▲アップ	116	『アップ』『ダウン』キーで、コラム番号を指定します。※指定できるコラムは1つです。
3	モードスタート ストップ	116	『モード』キーを押すと、3～4秒後に連続搬出されます。
4	モードスタート ストップ	116	搬出を途中で中止させる場合は『モード』キーを押します。再度、『モード』キーを押すと搬出を再開します。商品がなくなると自動終了します。手順2で次のコラムを指定します。
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 高速連続テスト販売は、売切後3回販売動作で終了します。

注2. 交互販売の設定に関係なく搬出されます。

注3. 『アップ』『ダウン』キーでコラム指定を行った時は選択ボタンによるコラム指定は出来ません。

注4. 搬出機の過熱故障防止のため、数分間は同コラムで連続テストができないことがあります。

I-04. 順送りテスト販売

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト ×4	1514	『テスト』キーを4回押すと、順送りテスト販売になります。
2	モードスタート ストップ	111	モードキーを押すと、3～4秒後に1番コラムから順番に搬出を開始します。
3	モードスタート ストップ	11※	搬出を途中で中止させる場合は『モード』キーを押します。再度『モード』キーを押すと搬出を再開します。最大コラムまで搬出すると終了します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

I-05. 自動連続テスト販売 (約1個/1.5秒)

(1) 選択ボタン操作の場合

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト ×5	1515	『テスト』キーを5回押すと、自動連続テスト販売になります。
2	選択ボタン	1515	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、テストするコラムに予約されます。(複数コラムを選択可能) また販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し予約が解除されます。
3	モードスタート ストップ	115	『モード』キーを押すと、3～4秒後に連続搬出されます。
4	モードスタート ストップ	115	搬出を途中で中止させる場合は、『モード』キーを押します。再度、『モード』キーを押すと搬出を再開します。商品がなくなると自動終了します。
5		115 予約がある場合は 117	次の予約コラムを表示します。最初のコラムの搬出を終了してから4秒後に次のコラムの搬出を開始します。全ての予約コラム搬出終了まで自動的に手順5を繰り返します。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 複数のコラムを予約した場合は、最初の連続テスト販売が終了した後、4秒後に自動的に次のコラムの搬出がスタートします。

注2. 自動連続テストは売切後3回販売動作で終了します。

注3. 交互販売の設定に関係なく搬出されます。

注4. 選択ボタンによるコラム指定を行うと、『アップ』『ダウン』キーによるコラム指定は出来ません。

注5. 複数のコラムを予約した場合の搬出順番は予約順になります。コラム番号の若い順ではありません。

(2) 『アップ』『ダウン』キー操作の場合

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト ×5	1515	『テスト』キーを5回押すと、自動連続テスト販売になります。
2	▲アップ	116	『アップ』『ダウン』キーで、コラム番号を指定します。※指定できるコラムは1つです。
3	モードスタート ストップ	116	『モード』キーを押すと、3～4秒後に連続搬出されます。
4	モードスタート ストップ	116	搬出を途中で中止させる場合は、『モード』キーを押します。再度、『モード』キーを押すと搬出を再開します。商品がなくなると自動終了します。手順2で次のコラムを指定します。
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 自動連続テスト販売は、売切後3回販売動作で終了します。

注2. 交互販売の設定に関係なく搬出されます。

注3. 『アップ』『ダウン』キーでコラム指定を行った時は選択ボタンによるコラム指定は出来ません。

I-06. 回数指定連続テスト販売

	操作	表示器表示	操作方法
1	テスト ×6	1518 ↓ 10	『テスト』キーを6回押すと、回数指定連続テスト販売になります。
2	▲アップ	20	『アップ』『ダウン』キーで、回数指定を変更できます。
3	選択ボタン	115	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、連続テストするコラムに予約されます。(複数コラムを選択可能) また販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し予約が解除されます。
4	モードスタート ストップ	115	『モード』キーを押すと、3～4秒後に連続搬出されます。
5		115 予約がある場合は 117	次の予約コラムを表示します。続けて別のコラムをテストする場合は、手順3に戻り繰り返してください。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 複数のコラムを予約した場合は、最初のコラムのテストが終了した後、再度『モード』キーを押すと、次のコラムの搬出がスタートします。

注2. 交互販売の設定に関係なく搬出されます。

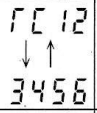
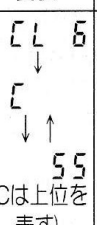
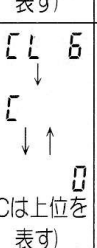
注3. 複数のコラムを予約した場合の搬出の順番は予約順になります。コラム番号の若い順ではありません。

注4. 回数指定は、1回から35回です。

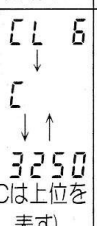
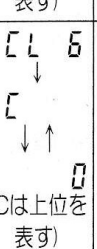
注5. 回数指定終了前に搬出を停止した場合は、再度回数指定は初めから開始となります。

Ⅱ. 売上集計キー

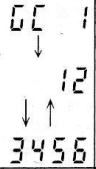
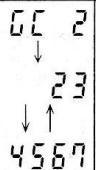
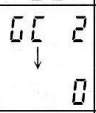
Ⅱ-01. トータル売上個数、コラム別売上個数の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×3		『売上集計』キーを押すと、トータル売上個数を表示します。 例) 123,456 個
2	選択ボタン		『選択ボタン』を押すと、そのコラム番号を表示後、売上個数を表示します。 例) 5 番コラムが45 個 (Cは上位を表す)
3	▲アップ		『アップ』、『ダウン』キーで、コラム番号を変更できます。 例) 6 番コラムが55 個 (Cは上位を表す)
4	点検 / クリア 2秒以上		『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、トータル売上個数、全コラムのコラム別売上個数がクリアされます。 注意：トータル売上個数、全てのコラム別売上個数をクリアした場合、同時にトータル売上金額、全てのコラム別売上金額もクリアされます。 (Cは上位を表す)
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

Ⅱ-02. トータル売上金額、コラム別売上金額の確認・クリア

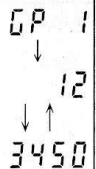
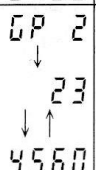
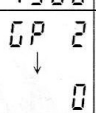
	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×2		『売上集計』キーを2 回押すと、トータル売上金額を表示します。 例) 123,450 円
2	選択ボタン		『選択ボタン』を押すと、そのコラム番号を表示後、売上金額を表示します。 例) 5 番コラムが1,230 円 (Cは上位を表す)
3	▲アップ		『アップ』、『ダウン』キーで、コラム番号を変更できます。 例) 6 番コラムが3,250 円 (Cは上位を表す)
4	点検 / クリア 2秒以上		『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、トータル売上金額、全コラムのコラム別売上金額がクリアされます。 注意：トータル売上金額、全てのコラム別売上金額をクリアした場合、同時にトータル売上個数、全てのコラム別売上個数もクリアされます。 (Cは上位を表す)
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

Ⅱ-03. グループ別売上個数の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×3		『売上集計』キーを3回押すと、グループ番号を表示後に売上個数を表示します。 例) グループ 1 123,456 個
2	▲アップ		『アップ』、『ダウン』キーで、グループ番号を変更できます。 例) グループ 2 234,567 個
3	点検 / クリア 2秒以上		『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、どのグループを表示していても全てのグループのグループ別売上個数がクリアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

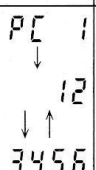
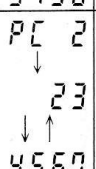
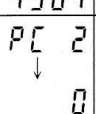
注1. グループ別売上個数をクリアした場合、同時にグループ別売上金額もクリアされます。

Ⅱ-04. グループ別売上金額の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×4		『売上集計』キーを4回押すと、グループ番号を表示後に売上金額を表示します。 例) グループ 1 123,450 円
2	▲アップ		『アップ』、『ダウン』キーで、グループ番号を変更できます。 例) グループ 2 234,560 円
3	点検 / クリア 2秒以上		『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、どのグループを表示していても全てのグループのグループ別売上金額がクリアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. グループ別売上金額をクリアした場合、同時にグループ別売上個数もクリアされます。

Ⅱ-05. 価格別売上個数の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×5		『売上集計』キーを5回押すと、価格番号を表示後に売上個数を表示します。 例) 価格1: 123,456 個
2	▲アップ		『アップ』、『ダウン』キーで、価格番号を変更できます。 例) 価格2: 234,567 個
3	点検 / クリア 2秒以上		『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、どの価格番号を表示していても全ての価格別売上個数がクリアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 価格別売上個数をクリアした場合、同時に価格別売上金額もクリアされます。

II-06. 価格別売上金額の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×6	PP 1 ↓ 12 ↓↑ 3450	『売上集計』キーを6回押すと、価格番号を表示後に売上金額を表示します。 例) 価格1: 123,450 円
2		PP 2 ↓ 23 ↓↑ 4560	『アップ』、『ダウン』キーで、価格番号を変更できます。 例) 価格2: 234,560 円
3	 2秒以上	PP 2 ↓ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、どの価格番号を表示していても全ての価格別売上金額がクリアされます。
4			『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 価格別売上金額をクリアした場合、同時に価格別売上個数もクリアされます。

II-07. テスト販売個数の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×7	H 12 ↓↑ 3456	『売上集計』キーを7回押すと、テスト販売個数を表示します。 例) 123,456 個
2	 2秒以上	H ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、テスト販売個数がクリアされます。
3			『終了』キーで待機状態に戻ります。

II-08. ルーレット当たり個数の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×8	RC 12 ↓↑ 3456	『売上集計』キーを8回押すと、ルーレット当たり個数を表示します。 例) 123,456 個
2	 2秒以上	RC ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、ルーレット当たり個数がクリアされます。
3			『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. ルーレット当たり個数をクリアすると、ルーレット当たり金額もクリアされます。

II-09. ルーレット当たり金額の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×9	RP 56 ↓↑ 7890	『売上集計』キーを9回押すと、ルーレット当たり金額を表示します。 例) 567,890 円
2	 2秒以上	RP ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、ルーレット当たり金額がクリアされます。
3			『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. ルーレット当たり金額をクリアすると、ルーレット当たり個数もクリアされます。

II-10. 割引合計個数の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×10	dc 12 ↓↑ 3456	『売上集計』キーを10回押すと、割引合計個数を表示します。 例) 123,456 個
2	 2秒以上	dc ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、割引合計個数がクリアされます。
3			『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 割引合計個数をクリアすると、割引合計金額もクリアされます。

II-11. 割引合計金額の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×11	dP 56 ↓↑ 7890	『売上集計』キーを11回押すと、割引合計金額を表示します。 例) 567,890 円
2	 2秒以上	dP ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、割引合計金額がクリアされます。
3			『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 割引合計金額をクリアすると、割引合計個数もクリアされます。

II-12. 累計売上個数の確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×12	rC 76 ↓↑ 5432	『売上集計』キーを12回押すと、累計売上個数を表示します。 例) 765,432 個
2			『終了』キーで待機状態に戻ります。

II-13. 現金累計売上個数の確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×13	bC 56 ↓↑ 7890	『売上集計』キーを13回押すと、現金累計売上個数を表示します。 例) 567,890 個
2			『終了』キーで待機状態に戻ります。

II-14. 現金以外累計売上個数の確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×14	cC 19 ↓↑ 7542	『売上集計』キーを14回押すと、現金以外累計売上個数を表示します。 例) 197,542 個
2			『終了』キーで待機状態に戻ります。

II-15. 累計売上金額の確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	 ×15	rP 76 ↓↑ 5432	『売上集計』キーを15回押すと、累計売上金額を表示します。 例) 765,432 円
2			『終了』キーで待機状態に戻ります。

Ⅱ-16. 現金累計売上金額の確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×16	6P56 ↓↑ 7890	『売上集計』キーを16回押すと、現金累計売上金額を表示します。 例) 567,890 円
2	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

Ⅱ-17. 現金以外累計売上金額の確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×17	CP19 ↓↑ 7542	『売上集計』キーを17回押すと、現金以外累計売上金額を表示します。 例) 197,542 円
2	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

Ⅱ-18. フリーバンド売上個数の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×18	FC12 ↓↑ 3456	『売上集計』キーを18回押すとフリーバンド売上個数を表示します。 例) 123,456 個
2	点検/クリア 2秒以上	FC ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、フリーバンド売上個数がクリアされます。
3	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. フリーバンド売上個数をクリアすると、フリーバンド売上金額もクリアされます。

Ⅱ-19. フリーバンド売上金額の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×19	FP12 ↓↑ 3450	『売上集計』キーを19回押すとフリーバンド売上金額を表示します。 例) 123,450 円
2	点検/クリア 2秒以上	FP ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、フリーバンド売上金額がクリアされます。
3	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. フリーバンド売上金額をクリアすると、フリーバンド売上個数もクリアされます。

Ⅱ-20. 部署別IDカードトータル売上個数、

部署別売上個数の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×20	IC12 ↓↑ 3456	『売上集計』キーを20回押すと、部署別IDカードトータル売上個数を表示します。 例) 123,456 個
2	点検/クリア 2秒以上	IC ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、部署別IDカードトータル売上個数、全ての部署別IDカード部署別売上個数がクリアされます。
3	▲アップ	↓↑ C 12 ↓↑ 3456	『アップ』キーを押すと、部署別IDカード番号を表示後に部署別IDカードの部署別売上個数を表示します。 例) 部署別IDカード番号1の部署別売上個数 123,456個

4	▲アップ	↓ C 23 ↓↑ 4567	『アップ』、『ダウン』キーで、部署別IDカード番号を変更できます。 例) 部署別IDカード番号2の部署別売上個数 234,567個
5	点検/クリア 2秒以上	↓ C ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、表示中の部署別IDカード番号の部署別売上個数がクリアされます。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 部署別IDカードトータル売上個数をクリアした場合、同時に部署別IDカードトータル売上金額、部署別売上金額もクリアされます。

注2. 表示中の部署別IDカード番号の部署別売上個数をクリアした場合、同時に同じ部署別IDカード番号の部署別売上金額もクリアされます。

Ⅱ-21. 部署別IDカードトータル売上金額、

部署別売上金額の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
1	売上集計 ×21	IP12 ↓↑ 3450	『売上集計』キーを21回押すと、部署別IDカードトータル売上金額を表示します。 例) 123,450 円
2	点検/クリア 2秒以上	IP ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、部署別IDカードトータル売上金額、全ての部署別IDカード部署別売上金額がクリアされます。
3	▲アップ	↓ P 12 ↓↑ 3450	『アップ』キーを押すと、部署別IDカード番号を表示後に部署別IDカードの部署別売上金額を表示します。 例) 部署別IDカード番号1の部署別売上金額 123,450円
4	▲アップ	↓ P 23 ↓↑ 4560	『アップ』、『ダウン』キーで、部署別IDカード番号を変更できます。 例) 部署別IDカード番号2の部署別売上金額 234,560円
5	点検/クリア 2秒以上	↓ P ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、表示中の部署別IDカード番号の部署別売上金額がクリアされます。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 部署別IDカードトータル売上金額をクリアした場合、同時に部署別IDカードトータル売上個数、部署別売上個数もクリアされます。

注2. 表示中の部署別IDカード番号の部署別売上金額をクリアした場合、同時に同じ部署別IDカード番号の部署別売上個数もクリアされます。

Ⅱ-2.2. トークン別売上個数の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
1 売上集計 ×22		『売上集計』キーを22回押すと、トークンAの売上個数を表示します。 例) トークンAの売上個数 123, 456個
2 ▲アップ		『アップ』キーを押すと、トークンBの売上個数を表示します。 例) トークンBの売上個数 234, 567個
3 点検 / クリア 2秒以上		『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全てのトークン別売上個数がクリアされます。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. トークン対応コインメカニズムを搭載した場合のみ本表示を行います。

Ⅱ-2.3. 累計売上のオールクリア

操作	表示器表示	操作方法
1 売上集計 ×12~17		『売上集計』キーを12~17回押して下記のいずれかの売上を表示させます。 ・累計売上個数 ・現金累計売上個数 ・現金以外累計売上個数 ・累計売上金額 ・現金累計売上金額 ・現金以外累計売上金額 例) 累計売上個数
2 点検 / クリア 6秒以上		『点検/クリア』キーを6秒以上押し続けると、下記の累計売上データが全てクリアされます。 (長いブザー音が2回鳴ります。) ・累計売上個数 ・現金累計売上個数 ・現金以外累計売上個数 ・累計売上金額 ・現金累計売上金額 ・現金以外累計売上金額
3 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

Ⅲ. 販売休止キー

Ⅲ-0.1. 販売休止時間Aと販売休止コラムの設定・確認

●販売休止の設定について

販売休止は、指定した時間で、指定したコラムを販売休止にする機能です。

操作	表示器表示	操作方法
1 販売休止	H 2	『販売休止』キーを押すと、販売休止時間の設定項目になり、現在の設定時間が表示されます。 例) 2時間
2 ▲アップ	H 2	『アップ』『ダウン』キーで、時間の変更ができます。 00~24時間
3 書込み	H 3	『書込み』キーを押すと、時間が設定されます。
4 選択ボタン	H 3	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプと準備中ランプが同時に点灯し、そのコラムは販売休止が設定されます。 販売可能ランプと準備中ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプと準備中ランプが消灯し、販売休止設定が解除されます。
5 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順5の後、販売休止が開始します。

注2. 設定した時間は設定値です。残り時間ではありません。

注3. 販売休止時間とコラムの両方を設定してください。

休止時間が0または設定コラムがないときは、販売休止は行いません。

注4. 本設定での対象コラムは、販売休止時間終了後記憶されません。

Ⅲ-0.2. 販売休止モードの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
1 販売休止 ×2	!	『販売休止』キーを2回押すと、販売休止モード設定の項目になります。
2 ▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで、変更します。
3 書込み	0	『書込み』キーにて確定します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 設定モードの確認は手順2、3を省略してください。

注2. 設定範囲

0: 自動設定する

1: 自動設定しない

注3. 本設定で設定値0を設定しておくと、売切状態から売切解除になったコラム(売切からローディングされたコラム)は販売休止時間に設定された時間だけ、自動的に販売を休止します。

Ⅲ-0.3. 販売休止B時間と販売休止コラムの設定・確認

●販売休止の設定について

販売休止は、指定した時間で、指定したコラムを販売休止にする機能です。

操作	表示器表示	操作方法
1 販売休止 ×3	H 2	『販売休止』キーを3回押すと、販売休止時間の設定項目になり、現在の設定時間が表示されます。 例) 2時間
2 ▲アップ	H 2	『アップ』『ダウン』キーで、時間の変更ができます。 00~24時間
3 書込み	H 3	『書込み』キーを押すと、時間が設定されます。
4 選択ボタン	H 3	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプと準備中ランプが同時に点滅し、そのコラムは販売休止が設定されます。 販売可能ランプと準備中ランプが点滅している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプと準備中ランプが消灯し、販売休止設定が解除されます。
5 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順5の後、販売休止が開始します。

注2. 設定した時間は設定値です。残り時間ではありません。

注3. 販売休止時間とコラムの両方を設定してください。

休止時間が0または設定コラムがないときは、販売休止は行いません。

注4. 本設定での対象コラムは、販売休止時間終了後記憶されません。

IV. 交互販売キー

IV-01. 交互販売の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	交互販売	Gr 1	『交互販売』キーを押すと、交互販売の設定項目になります。グループ番号1が表示され、そのグループに設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。
2	選択ボタン	Gr 1	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムが設定されます。また、販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消え、そのコラムは解除されます。複数コラムが選択可能です。
3	▲アップ	Gr 2	『アップ』『ダウン』キーで、グループ番号を変更できます。 手順2に戻り繰り返してください。
4	点検 / クリア 2秒以上	Gr 2	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、どのグループ番号を表示中でもすべての交互販売設定がクリアされ、手順1の状態に戻ります。
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 同一グループに設定したいコラムは、価格設定と冷温設定を同一にしてください。価格設定または冷温設定の異なるコラムは同一グループには設定できません。
- 注2. グループ設定されているコラムの販売価格を変更すると、そのコラムはグループから解除されます。
- 注3. コントローラのコントロールパネルの冷温スイッチを切り換えると全コラムの交互販売設定が解除されます。
- 注4. 確認の場合は手順2を省略してください。販売可能ランプが点灯している選択ボタンがデジタル表示器に表示されているグループに設定されています。
- 注5. 交互販売を全グループともクリアする場合のみ手順4を行ってください。

V. コラム設定キー

V-01. コラムセレクション配線の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	コラム設定	CL 1	『コラム設定』キーを押すと、1 番コラムが表示され、現在対応している選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。
2	選択ボタン	CL 1	販売可能ランプが消えている『選択ボタン』を押すと、表示されているコラムに設定され、販売可能ランプが点灯します。点灯している『選択ボタン』を押すと解除され、販売可能ランプが消灯します。
3	▲アップ	CL 1	『アップ』『ダウン』キーで、コラム番号を変更できます。別のコラムを設定するときは、手順2に戻り繰り返します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 選択ボタンとコラムの設定状態で、売切ランプが点滅している選択ボタンは、どのコラムにも設定されていません。
- 注2. 確認の場合には手順2を省略してください。
販売可能ランプが点灯している選択ボタンが、デジタル表示器に表示されているコラムに接続されています。

VI. 価格設定キー

VI-01. 販売価格の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	価格設定	120	『価格設定』キーを押すと販売価格の確認項目になります。最初は120 円を表示します。
2	▲アップ	130	『アップ』『ダウン』キーを押すと販売価格を変更できます。『アップ』キーを押すと、価格が10 円増加します。『ダウン』キーを押すと、価格が10 円減少します。現在表示されている価格に設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。
3	選択ボタン	130	『選択ボタン』を押すとそのコラムは、現在表示されている価格に設定され、販売可能ランプが点灯します。別の価格に設定するときは、手順2に戻り繰り返します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 販売価格の確認だけを行うときは、手順3を省略してください。
- 注2. 設定範囲は10~9,990円です。

VI-02. カード販売価格の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	価格設定 ×2	120	『価格設定』キーを2回押すとカード販売価格の確認項目になります。最初の金額は120 円を表示します。
2	▲アップ	121	『アップ』『ダウン』キーを押すと販売価格を変更できます。『アップ』キーを押すと、価格が1 円増加します。『ダウン』キーを押すと、価格が1 円減少します。現在表示されている価格に設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。
3	選択ボタン	121	『選択ボタン』を押すとそのコラムは、現在表示されている価格に設定され、販売可能ランプが点灯します。別の価格に設定するときは、手順2に戻り繰り返します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 販売価格の確認だけを行うときは、手順3を省略してください。
- 注2. 設定範囲は1~9,999円です。
- 注3. カード価格はカードリーダーライターが付いている場合のみ表示します。

VI-03. プライス別カウンターの設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
1	価格設定 ×2	Pr 1	『価格設定』キーを2 回（カード装着機は3回）押すと、カウンターNo. が表示されます。
2	▲アップ	Pr 2	『アップ』『ダウン』キーを押すと、カウンターNo.を変更できます。
3	書込み	0	『書込み』キーを押すと、現在カウンターに割り当てられている価格が表示されます。 (0 は設定無しです)
4	▲アップ	121	『アップ』『ダウン』キーを押すと、現在設定されている価格が順次表示されます。カウンターに割り当てたい価格を表示させます。
5	書込み	Pr 3	『書込み』キーを押すと、価格とカウンターの対応が設定され、次のカウンターNoが表示されます。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 手順3、4のように価格を表示している時に選択ボタンを押すと、その選択ボタンに設定されている価格が点滅表示します。（『アップ』『ダウン』による価格選択の他に、『選択ボタン』からの価格選択も可能です。）

- 注2. CnT及び金額を金額表示器に表示中は、同一の価格帯に設定されている選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。
- 注3. プライス別カウンターの確認だけを行うときは、手順4、5を省略してください。
- 注4. 本機能を搭載していない機種もあります。
- 注5. プライス別カウンターの設定を行うときは、あらかじめ「1-08, カウンターの集計条件」を指定価格別に設定しておく必要があります。

Ⅶ. 点検／クリアキー

Ⅶ-01. 現在故障の確認

●待機時に故障が発生している場合

操作	表示器表示	操作方法
1 	10	エラーが有る時のみリモコンの『点検LED』が点滅します。『点検／クリア』キーを押すと、『点検LED』が点滅から点灯に変わり、エラーコードの最若番を表示します。 例) 10: コインメカ通信異常
2 	16	『アップ』『ダウン』キーで次のエラーコードを表示します。例) コイン払い出し異常
3		故障原因を取り除いてください。 (●エラーコード表・解除方法を参照)
4 		『終了』キーで待機状態に戻ります。 故障が解除されていると、『点検LED』は消灯します。故障が残っている場合は、『点検LED』は点滅します。

注1. エラーコードは自販機情報管理システムのエラーコードに準拠しています。

●待機時に故障が発生していない場合

操作	表示器表示	操作方法
1		何も表示されていません。
2 	-	『点検／クリア』キーを押すと、デジタル表示器は故障無しの一表示となります。
3 		『終了』キーで待機状態に戻ります。

●エラーコード表・解除方法

区分	コード	内容	解除方法
コインメック	10	コインメック通信異常	コントロールボックスとコインメカニズムの通信線を点検
	11	¥10 コイン信号開放し	アクセプターのコインスイッチ部の詰まり、汚れ等を取り除く
	12	¥50 コイン信号開放し	
	13	¥100 コイン信号開放し	
	14	¥500 コイン信号開放し	
	15	返却スイッチ異常	アクセプターの硬貨通路の詰まり、異物を取り除く 返却レバーが確実に戻っているか確認
	16	コイン払い出し異常	つり銭払い出し部の詰まりを取り除いて、インベントリースイッチで払い出しテスト
	17	セーフティスイッチ異常	カセットチューブを確実に取り付ける
	18	パルススイッチ異常	つり銭払い出し部の詰まりを取り除いて、インベントリースイッチで払い出しテスト
	19	アクセプター異常	アクセプターの硬貨通路の詰まり、汚れ等を取り除く
	20	¥10 エンブティスイッチ異常	つり銭払い出し部の詰まりを取り除いて、インベントリースイッチで払い出しテスト
	21	¥50 エンブティスイッチ異常	
	22	¥100 エンブティスイッチ異常	
	23	¥500 エンブティスイッチ異常	
	24	金庫満杯信号開放し	金庫のコイン状態を点検
	25	¥10 キャッシュ／オーバーフロー信号開放し	金庫側通路の詰まり、異物を取り除く
	26	¥50 キャッシュ／オーバーフロー信号開放し	
	27	¥100 キャッシュ／オーバーフロー信号開放し	
	28	¥500 キャッシュ／オーバーフロー信号開放し	
販売系	34	選択ボタン復帰異常	選択ボタンを点検
	38	販売制御異常	商品の詰まりを取り除いた後、テスト搬出
	41	搬出機異常	
	1755	販売停止日期限切れ	販売停止日を経過した商品をテスト等で搬出して販売停止日管理機能を再度設定
メモリ	50	時計データ異常	時計データを確認して、再設定
	51	メモリーデータ異常	バックアップ電池切れ 電源のOFF/ON データを再設定
	52	初期データ未設定 (価格異常含む)	設定価格の確認
	53	電装品箱メモリー異常	コネクタ外れを確認
	54	選択ボタンの設定異常	コラムと選択ボタンの対応を点検
	1725	リモコンメモリー異常	リモコンの点検・交換

区分	コード	内容	解除方法
通信	60	通信ライン異常	コントロールボックスと各端末の通信線を点検 コネクタ外れを確認
	62	電装品箱通信異常	
	77		
	67	リモコン通信異常	
	69	子機1通信異常	
	71	ビルバリ部通信異常	
	73	カード部通信異常	
	78	ポイントカード端末通信異常	
	79	金額表示器端末異常	
ビルバリ	80	紙幣詰まり	札通路の詰まり、異物を取り除く
	81	紙幣払い出し異常	払い出し部の詰まりを取り除く
	82	紙幣金庫満杯	札を金庫から取り出す
	83	スタッカー異常	スタッカーを確実に取り付ける
	84	紙幣識別部異常	識別部を確実に取り付ける
	85	セーフティスイッチ異常	セーフティスイッチを確認
	86	ビルバリ金庫開き放し	フタの開閉状態を確認
	87	紙幣引き抜き異常	お札引き抜きのイタズラの可能性 電源を OFF にして 3 分程度たってから 電源を ON にし、リモコンでエラーコードを表示させ点検/クリアキーを押す
カード・電子マネー	1000	カード部異常	リーダ/ライタの点検・交換
	1001	カード詰まり	カード通路の詰まり、異物を取り除く
	1002	リーダ/ライタ・ヘッド部異常	リーダ/ライタの点検・交換
	1004	カード返却スイッチ異常	カード返却スイッチを点検
	1006	カード引抜異常	カード制御部の点検・交換
	1007	カード満杯	カードスタッカーからカードを取り出す
	1010	カード端末機異常	カード端末の点検・交換
	1011	カード端末設定異常	
	1012	カード端末システム異常	
	1013	カード端末センター通信異常	
	1014	カード端末メンテナンス	
	1019	ブランド整合エラー	
プリンタ	1030	プリンター部異常	プリンターの点検・交換
	1031	紙詰まり異常	プリンターの紙通路の詰まり、異物を取り除く

区分	コード	内容	解除方法
温度制御	90	冷却異常	電磁弁・コンプレッサー、または廻りのハーネスを点検
	91	加温異常	ヒーター、または廻りのハーネスを点検
	96	メインドアスイッチ異常	外扉スイッチ、または廻りのハーネスを点検
	97	断熱ドアスイッチ異常	内扉スイッチ、または廻りのハーネスを点検
	500	コンデンサ目詰まり警告	凝縮器またはガスクーラーに付着したゴミやホコリを取り除く
	501	HOT/COLD設定異常	ホット/ コールドの設定を確認
	502	左1	庫内ファン1ロック 各庫室の庫内ファンの点検・交換
	503	左2	
	504	左3	
	505	左4	
	506	コンデンサファン1ロック	凝縮器ファン・機械室ファン、または廻りのハーネスを点検
	550	凝縮器温度センサー異常	凝縮器センサー・機械室センサー、または廻りのハーネスを点検
	555	左1 除霜センサー異常	各庫室のセンサー、または廻りのハーネスを点検
	557	品温センサー異常	
	560	左2 除霜センサー異常	
	562	品温センサー異常	
	565	左3 除霜センサー異常	
	567	品温センサー異常	
	570	左4 除霜センサー異常	
	572	品温センサー異常	
	1748	圧縮機高圧異常	電磁弁に接続されているコネクタの確認 圧力センサーのコネクタの確認
	2910	圧縮機インバータ1通信異常	コントロールボックスと圧縮機インバータ1基板の通信線を点検
	2911	圧縮機インバータ1異常	圧縮機インバータ1基板の点検・交換
	2912	圧縮機インバータ1吐出温度センサ異常	圧縮機1の吐出温度センサを点検・交換
	2922	左1	庫内ファン2ロック 各庫室の庫内ファンの点検・交換
	2923	左2	
	2924	左3	
	2926	コンデンサファン2ロック	凝縮器ファン・機械室ファン、または廻りのハーネスを点検
	2927	コンデンサファン3ロック	
	2928	コンデンサファン4ロック	
	2929	庫外ファンロック	庫外ファンの点検・交換
	2930	圧縮機インバータ2通信異常	コントロールボックスと圧縮機インバータ2基板の通信線を点検
	2931	圧縮機インバータ2異常	圧縮機インバータ2基板の点検・交換
	2932	圧縮機インバータ2吐出温度センサ異常	圧縮機2の吐出温度センサを点検・交換
	2935	庫外エバ入口センサ異常	庫外エバ入口センサの点検・交換
	2936	庫外エバ出口センサ異常	庫外エバ出口センサの点検・交換

区分	コード	内容	解除方法
その他	150	ICボタン未設定	ICボタンの初期設定
	151	ICボタン故障	ICボタンの点検・交換
	1431	商品保存期間切れ	品質保存切れの商品を払い出す
	1711	売上集計グループ未設定 ※機種により発生する場合があります。	売上グループを再設定
	1712	汎用表示器通信異常	コントロールボックスと液晶カウンターの通信線を点検
	1713	汎用表示器代表異常	液晶カウンターのスイッチ部を確認 液晶カウンターを交換
	1747	ルーレット設定異常	ルーレット当たり確率/当たりコラムの再設定
	2900	冷温価格表示器通信異常	コントロールボックスと冷温価格表示器コントロールの通信を点検
	2901	冷温価格表示器ハード異常	冷温価格表示器を点検・交換
	2902	アドオン基板識別異常	メインコントローラとアドオン基板の接続状態を点検
	2905	ライフラインユニット動作確認時期超過	ライフラインユニットの動作確認 詳しくは別紙の説明書を参照
	2907	選択ボタンの表示部通信異常	選択ボタンの点検・交換
	2908	人感センサ通信異常 (金額表示器内蔵)	金額表示器の点検・交換
	2909	人感センサ異常 (金額表示器内蔵)	

注1. 機種によっては非対応のコードもあります。

注2. 以上のことをおこなっても解除されない場合は、当社サービス・ステーションにエラーNo.をお知らせください。

●操作一覧表（モードキー）

モード	項目	内容	備考
0 専用	01	価格別売上個数	0～999,999 個
	02	価格別売上金額	0～999,999 円
	88	累計価格別売上個数	0～999,999 個
	98	選択ボタン/コラムの拡張設定	0：子機未使用 1：子機使用
1 選択	01	金額表示器への表示内容	0：表示しない 1：残数 2：補給数 3：価格 5：温度 7：価格別売上数 8：H/C切換えお知らせ
	02	フリーバンド	0：しない 1：する
	03	ルーレット機能	当たり確率 表示設定 ブザー音設定 起動コラム設定 当たり対象方法設定
	04	割引販売	0～9本 0～90円
	05	自販機管理番号	8桁
	06	商品コード	4桁
	07	高速連続テスト販売の搬出速度	1：1個/秒 2：2個/秒 3：3個/秒
	08	カウンターの集計条件	0：グループ別 1：指定価格 2：高価格優先 3：低価格優先 4：カード指定価格 5：カード高価格優先 6：カード低価格優先
	09	冷温切換ガイダンス表示	0：しない 1：する
	11	つり銭抜き取り不正抑止	0：使用しない 1～3：警報モード
	12	インフォメーションボタン	0：使用しない 1：使用する
	13	扉開閉時エラーコード表示	0：表示しない 1：表示する（ブザー無） 2：表示する（ブザー有）
	14	オフライン通信状態表示機能	0：表示しない 1：表示する
	15	液晶カウンター汎用表示	0：使用しない 1：使用する
	16	フリーバンドカウンター	0：使用しない 1～7：カウンターNo
	17	扉開日時	月日/時分（15回分）
	18	コラム別トークン	1：トークンA 2：トークンB コラム毎
	19	コラム別ルーレット売上個数	0～999,999 個
	20	コラム別ルーレット売上金額	0～999,990 円
	21	コラム別フリーバンド売上個数	0～999,999 個
	22	コラム別フリーバンド売上金額	0～999,990 円
	23	現金価格一括加算	10～90 円

モード	項目	内容	備考
1 選択	24	現金価格別売上個数	0～999,999 個
	25	現金価格別売上金額	0～999,990 円
	26	カード価格別売上個数	0～999,999 個
	27	カード価格別売上金額	0～999,999 円
	28	フリーバンド価格別売上個数	0～999,999 個
	29	フリーバンド価格別売上金額	0～999,990 円
	30	印字パターン	0：基本 1：電子マネー（クリア有） 2：電子マネー（クリア無） 3：オリジナル
	31	コラム別設定価格の確認	現金、カード、マルチマネー の設定価格を表示
	32	期間中コラム別売上数のクリア	クリアキー長押し
	33	期間中コラム別売上数表示	0：表示しない 1：表示する
	36	表示テストモード	—
	39	内蔵オンライン機能	0：使用しない 1：無手順 2：TCP/IP
	40	オンライン通信速度	0：9600bps 1：19200bps
	41	人感センサ販売可能ランプ点滅	0：しない 1：する
	43	取出口照明点灯条件	0：無効 1：搬出時の点滅 2：搬出時の点滅と 人感センサ点灯
	44	10円釣銭切れランプ消灯	0：消灯しない 1：消灯する
	54	ライフライン売上個数・金額	0～999,999 個 0～999,990 円
	55	現金グループ別売上個数	0～999,999 個
	56	現金グループ別売上金額	0～999,990 円
	57	現金以外グループ別売上個数	0～999,999 個
	58	現金以外グループ別売上金額	0～999,990 円
2 タイマー	01	現在時刻	時・分（24時間制）
	02	現在月日	月・日
	03	現在西暦	西暦（4桁）
	04	冷却機節電時間帯	開始/終了（時）
	05	コラム別一時販売休止時間	0～24 時間（時間単位）
	07	照明調光時間帯	開始/終了（時）
	08	ブザー消音時間帯	開始/終了（時）
	10	加温節電時間帯	開始/終了（時）
	11	販売開始日時	コラム毎 月日、時分
	12	販売可能ランプ のイルミネーション機能	0：表示しない 1～6：パターン 開始/終了（時）
	13	休日省エネ指定曜日	開始/終了（曜日・時）
	14	休日省エネ長期休暇	開始/終了（年・月・日・時）
	15	コラム別販売停止日管理	販売停止日（月・日） 対象コラム
	16	販売停止日管理の一括設定	販売停止日（月・日）
	17	販売停止日管理機能の販売停止日	販売停止日（月・日）
	18	かんたん加温品質管理日数	0：無効/1～99日
	19	かんたん加温品質管理の売切設定	0：しない 1：する

モード	項目	内容	備考
2 タイマー	20	人感センサによる照明消灯時間帯	開始/終了(時)
	21	外付け人感センサ感度	①反応レベル 0:遅い 1:標準 2:早い ②継続レベル 0:長い 1:標準 2:短い
	22	割引期間	開始/終了(年・月・日)
	23	割引時間帯	開始/終了(時・分)
	24	曜日別照明消灯時間帯	開始/終了(時) 時間帯1~時間帯4
	25	曜日別照明消灯パターン	曜日毎 時間帯1~時間帯4
	26	冷し込み時間帯	開始/終了(時) 時間帯1~時間帯4
	27	冷し込み曜日パターン	曜日毎 時間帯1~時間帯4
	28	人感センサによる照明調光時間帯	開始/終了(時)
3 運転	01	コンプレッサー運転モード	0:通常 2:省エネ 3:タイマー 4:省エネ+タイマー
	03	照明管切れ検知	0:使用しない 1:使用する
	04	売れ行き情報機能	0:使用しない 1:使用する
	05	売れ行き情報検知本数	0~99本
	06	売れ残り0本設定	0:0本としない 1:0本とする
	07	売れ残り0本設定のコラム別設定	コラム毎
	08	売れ残り0本設定の庫室別設定	庫室毎
	10	照明点灯時間の表示・クリア	0~999,999 時間
	11	コインメック・ビルパリの投入/排出枚数	0~999,999 枚
	12	搬出メカニズムの動作回数	0~999,999 回
	13	休日省エネオプション	①販売停止設定 0:停止しない 1:停止する ②加温停止設定 0:加温する 1:加温しない ③冷却庫室連動販売休止時間 0~24 時間 ④加温庫室連動販売休止時間 0~24 時間
	14	休日カレンダーの読み込み/書き出し	休日カレンダーデータの読み出し/書き込み
	15	ブザー音量	0:切 1:小 2:大
	16	明るさ感度	0:遅い 1:標準 2:早い
	17	凝縮器ファン連続運転モード	0:連続運転しない 1:連続運転する
	18	リモコン・コントロールパネル操作規制	0:しない、1:する 0~30(分)
	19	交互ヒータカット機能	0:しない 1:する
	20	販売休止連動急速冷温運転機能	0:連動しない 1:連動する
	21	ゾーン拡大運転	各庫室毎 0:しない 1:する 2:自動

モード	項目	内容	備考
4 カード	01	カード・コイン同時使用モード	0:同時使用しない 1:同時使用する
	02	0円カード処理	0:排出 1:取込
	03	部署別IDカード発行年	0~99年
	04	部署別IDカード発行月	0~12月
	05	テストIDカード	101~110(最大10種)
	06	無効部署別IDカード	1~110(最大30種)
	07	カード使用上限金額	0:無制限 0~9999: 100円~999,900円 (100円単位)
	08	選択ボタンの先選択有効時間	0:先選択無効 0~255:0~255秒
9 共通	01	つり銭合わせの確認・払出し動作	[0] 表示: つり銭合わせ無し [---] 表示: 過不足無し [-] 表示: 増加チューブ有り 各金種チューブ表示: 不足チューブ有り
	02	つり銭合わせ枚数	0~98:金種毎設定 99:設定無し
	03	つり銭合わせモード	0:つり銭合わせ無し 1:チューブイン方式 2:残量一定方式
	04	コラムセクション配線モード	1:固定パターン1 2:固定パターン2 3:可変パターン1 4:可変パターン2
	05	過去の故障	最大16個
	06	前回販売内容	投入金・販売金額・残金
	07	照明節電モード	0:周囲が明るい時に消灯 1:タイマ設定時間内または 周囲が明るい時に消灯 2:タイマ設定時間内かつ周 囲が明るい時に消灯 3:タイマーのみで消灯 4:常時消灯 5:常時点灯
	08	照明節電時間帯(消灯時間帯)	開始/終了(時)
	09	コラム別補給数	0~99本
	10	コラム別満杯収容数	0~99本
	11	まとめ買い本数	0:無制限 1~9:1~9本
	12	つり銭自動返却時間	0:自動返金せず 1~30秒
	13	売上集計グループ	9グループ
	14	スクースタイマ販売時間帯	開始/終了(時)
	15	スクールタイマ曜日別販売パターン	曜日毎に設定
	16	最左庫室温度	各庫室の冷却、 加温設定温度の表示(℃)
	17	左から2番目庫室温度	
	18	左から3番目庫室温度	
	20	左から4番目庫室温度	
	19	ホット商品管理データ	0~99本
	23	コイン投入時照明点灯	0:しない 1:する
	24	販売停止日管理売切表示	0:売切表示しない 1:売切表示する

モード	項目	内容	備考
9 共通	25	スクールタイマーの一時無効設定	0：しない 1：する
	30	COOL 制御	各庫室毎 0：しない 1：する
	31	COOL 庫室の設定温度	COOL 庫室の設定温度の表示 (℃)
	38	ライティングパネル アウトラインLED点灯方法	0. 販売中ランプと連動 1. 暗いとき時点灯
	39	ライティングパネル 投入口LED点灯方法	2. 照明と正制御 (照明点灯中に点灯) 3. 照明と逆制御 (照明点灯中に消灯) 4. 常時点灯 5. 常時点灯
	41	電源投入日時	10 件 (年、月日、時分)
	42	電源遮断日時	10 件 (年、月日、時分)
	43	人感センサ入力状態	0：検知無し 1：検知有り -：異常
	44	選択ボタン表示部の輝度	販売待機時／人検知時 0：消灯 1：暗い 2：普通 3：明るい 4：自動 (人検知時のみ)
E オ リ ジ ナ ル	45	照明調光レベル	0：10% 1：25% 2：50%
	79	販売履歴	100件
	97	選択ボタン番号の 初期設定、確認、交換	選択ボタン毎
	01	ピーク電力カット期間	開始/終了 (月、日)
	02	ピーク電力カット時間帯／ シフト時間	カット：4パターン 開始/ 終了 (時) シフト：4パターン 0～5 時間
	03	ピーク電力カット実施日	0：平日のみ 1：連日
	04	ピーク電力カット終了温度	0～5℃
	05	曜日別冷却節電期間	開始/終了 (月・日)
	06	曜日別冷却節電時間帯	開始/終了 (時) 時間帯1～時間帯4
	07	曜日別冷却節電曜日別パターン	曜日毎 時間帯1～時間帯4
	08	曜日別加温節電期間	開始/終了 (月・日)
	09	曜日別加温節電時間帯	開始/終了 (時) 時間帯1～時間帯4
	10	曜日別加温節電曜日別パターン	曜日毎 時間帯1～時間帯4
	11	ぬるめ補正時間帯	開始/終了 (時) 時間帯1～時間帯4
	12	ぬるめ補正曜日別パターン	曜日毎 時間帯1～時間帯4
	13	ぬるめ補正温度	庫室毎に冷却/加温 0～7℃
	14	ぬるめ補正実施条件	0：常時補正 1：外気温で補正

注1. カード非対応機はカード項目のみ表示されます。

●モード操作の基本

各モード機能を使用するための基本操作です。

操作	表示器表示	操作方法
1		『モード』キーを押すと、モード番号の選択待ちとなります。(4桁目点滅状態)
2		『アップ』『ダウン』キーでモード番号を変更します。
3		『書込み』キーにてモード番号が確定し、項目番号の選択待ちになります。(2,1桁目点滅状態)
4		『アップ』『ダウン』キーで項目番号を変更します。
5	各機能の表示による	『書込み』キーにて項目番号が確定し、各機能毎の表示になります。
6	各機能の表示による	『アップ』『ダウン』『書込み』キー等で設定を変更します。詳細は各機能をご覧ください。
7		『終了』キーで待機状態に戻ります。

0. 専用モード操作

モード0-01. 価格別売上個数の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1		『書込み』キーを押すと、価格別売上個数の確認項目になり、価格を表示後に売上個数を表示します。販売価格の低い順に表示します。 例) 110円 123, 456個
2		『アップ』『ダウン』キーを押すと、価格が移ります。アップキーで次の価格を、ダウンキーで前の価格を表示します。現在設定していない価格でも過去に設定してあった価格データはクリアするまで表示します。 例) 120円 234, 567個
3		『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、どの価格を表示していても全ての価格別売上個数がクリアされます。同時に全ての価格別売上金額もクリアされます。
4		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 最後(最初)のプライスの次に『アップ』『ダウン』キーを押すと、デジタル表示器は *End* を表示します。次に『アップ』『ダウン』キーを押すと、最初(最後)のプライスに戻ります。

注2. 価格数は最大10価格までです。

注3. 価格表示は設定金額により以下ようになります。

90円: P 90 (Pの次がブランク)

120円: P120 (ブランクなし)

1110円: 1110 (Pの表示なし)

注4. 0モードの価格別売上個数・金額をクリアすると『売上集計』キーの価格別売上個数・金額もクリアされます。また、『売上集計』キーの価格別売上個数・金額をクリアした場合も0モードの価格別売上個数・金額がクリアされます。

注5. 確認の場合は手順3を省略してください。

モード0-02. 価格別売上金額の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1		『書込み』キーを押すと、価格別売上金額の確認項目になり、価格を表示後に売上金額を表示します。販売価格の低い順に表示します。 例) 110円 123, 450円
2		『アップ』『ダウン』キーを押すと、価格が移ります。アップキーで次の価格を、ダウンキーで前の価格を表示します。現在設定していない価格でも過去に設定してあった価格データはクリアするまで表示します。 例) 120円 234, 560円
3		『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、どの価格を表示していても全ての価格別売上金額がクリアされます。同時に全ての価格別売上個数もクリアされます。
4		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 最後(最初)のプライスの次に『アップ』『ダウン』キーを押すと、デジタル表示器は *End* を表示します。次に『アップ』『ダウン』キーを押すと、最初(最後)のプライスに戻ります。

注2. 価格数は最大10価格までです。

注3. 価格表示は設定金額により以下ようになります。

90円: P 90 (Pの次がブランク)

120円: P120 (ブランクなし)

1110円: 1110 (Pの表示なし)

注4. 0モードの価格別売上個数・金額をクリアすると『売上集計』キーの価格別売上個数・金額もクリアされます。また、『売上集計』キーの価格別売上個数・金額をクリアした場合も0モードの価格別売上個数・金額がクリアされます。

注5. 確認の場合は手順3を省略してください。

モード0-88. 累計価格別売上個数の確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1		『書込み』キーを押すと、価格別売上個数の確認項目になり、累計価格別売上個数を価表示します。販売価格の低い順に表示します。 例) 110円 123, 456個
2		『アップ』『ダウン』キーを押すと、価格が移ります。アップキーで次の価格を、ダウンキーで前の価格を表示します。現在設定していない価格でも過去に設定してあった価格データはクリアするまで表示します。 例) 120円 234, 567個
3		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 最後(最初)のプライスの次に『アップ』『ダウン』キーを押すと、デジタル表示器は *End* を表示します。次に『アップ』『ダウン』キーを押すと、最初(最後)のプライスに戻ります。

注2. 価格数は最大10価格までです。

注3. 価格表示は設定金額により以下ようになります。

90円: P 90 (Pの次がブランク)

120円: P120 (ブランクなし)

1110円: 1110 (Pの表示なし)

注4. 『売上集計』キーの12回~17回のいずれかの累計表示中に『オールクリア操作』をおこなうと、0モードの累計価格別売上個数はクリアされます。

モード0-98. 選択ボタン/コラムの拡張設定
ブロック子機を使用する場合に必要な設定です。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: ブロック子機を使用しない
2	点検/クリア 2秒以上	点検/クリア	『点検/クリア』キーを2秒以上押すと変更可能になります。
3	▲アップ	▲	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 子機未使用 1: 子機使用
4	書込み	!	『書込み』キーで確定します。
5			自動的に電源がOFF/ONします。

注1. 書込み後、自動的に自販機を工場出荷状態にしますので、予め売上情報、設定内容等を控えておいてください。

注2. ブロック子機は、下の点に注意してください。

- ・残数は0個で売切れとなります。
- ・庫内温度の設定はできません。
- ・交互販売設定やコラムと選択ボタンの変更可能です。
- ・連続テストを行った場合、売切れを検知すると停止します。(空打なし)

1. 選択モード操作

モード1-01. 金額表示器への表示内容の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 表示しない
2	▲アップ	▲	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 表示しない 1: 残数 2: 補給数 3: 価格 5: 温度 7: 価格別売上数 8: H/C切換えお知らせ表示
3	書込み	2	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 金額表示器へ各種情報を表示させるには返却レバーを3秒以上押したながら、任意の選択ボタンを押してください。

注2. モード「3-04. 売れ行き情報機能」で「1: 設定有り」とすると、本機能の設定は無効になります。

●H/C切換えお知らせ表示について

過去1週間のコールド商品の売上を100として、それに対するホット商品の売上比率を%で表示します。

また、このデータは過去5ヶ月前(20週間前)まで1週間毎に確認することができます。自販機がオールコールド・オールホット設定の場合は、2週間前から1週間前までの売上を100として過去1週間のコールド・ホット商品の売上比率を%で表示します。自販機がホット&コールド設定であるにもかかわらず、過去1週間でホット商品のみ、あるいはコールド商品のみで売上しなかった時、金額表示器は以下の表示をします。

ホット商品のみで売上の場合: 「Hot」

コールド商品のみで売上の場合: 「Cold」

H/C切換え時期について

H/C切換えお知らせ表示データ	対応方法
売上比率データが小さい Cold表示	ホット→コールドに切換えをお勧めします。
売上比率データが大きい Hot表示	コールド→ホットに切換えをお勧めします。

	操作	表示器表示	操作方法
1	返却レバー		『返却レバー』を3秒以上、回し続けます。
2	返却レバー 選択ボタン	01 ↓↑ 20	『返却レバー』を回したまま、『選択ボタン』を押すと、金額表示器に過去1週間のコールド商品の売上を100とした場合のホット商品の売上比率が表示されます。 例) コールド商品の売上を100とした場合、ホット商品の売上比率は20%です。
3	選択ボタン	04 ↓↑ 30	さらに『選択ボタン』を押すと、金額表示器に前の週のデータが表示されます。『選択ボタン』を押して確認したい週のデータを表示させてください。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 表示するデータがない時、金額表示器は「0」を表示します。

モード1-02. フリーベンドの設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 通常販売
2	▲アップ	▲	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 通常販売 1: フリーベンド状態
3	書込み	!	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. フリーベンドは自動的に解除できません。

解除する場合は「0: 通常販売」に設定してください。

モード1-03. ルーレット機能の設定・確認

金額表示器を利用したルーレットです。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	01 ↓↑ 80	『書込み』キーで現在の当たり確率の設定を表示します。 当たり販売コラムに設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。 例) 当たり確率: 1/80
2	選択ボタン	01 ↓↑ 80	販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し、そのコラムが当たり除外コラムとなります。 販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムは当たり対象となります。 ※『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、全コラムの販売可能ランプが点灯し、全コラムが当たり対象となります。
3	▲アップ	▲	『アップ』『ダウン』キーで確率を変更します。 0: ルーレット設定なし 1~999: 1/1~1/999
4	書込み	02 ↓↑ !	『書込み』キーで確定し、現在の表示の設定を表示します。 例) 1: 金額表示器で表示
5	▲アップ	▲	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 表示しない 1: 金額表示器で表示 2: 金額表示器と選択ボタンで表示
6	書込み	03 ↓↑ !	『書込み』キーで確定し、現在のブザー音の設定を表示します。 例) 1: ブザー音有り

7	▲アップ		『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0:ブザー音無し 1:ブザー音有り ※ブザー消音時間帯、ブザー音量設定が消音となっている時はこの設定をおこなってもブザー音はなりません。
8	書込み	04	『書込み』キーで確定し、ルーレット起動コラムの設定になります。
9	選択ボタン	04	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点滅し、そのコラムはルーレット起動コラムに設定されます。 販売可能ランプが点滅している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し、そのコラムはルーレット起動コラムの設定から解除されます。
10	書込み	05 ↓↑ 0	『書込み』キーで確定し、ルーレット動作動作時の当たり対象方法の設定を表示します。 例) 0:販売価格以下の当たり対象コラムのみ販売可
11	▲アップ		『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0:販売価格以下の当たり対象コラムのみ販売可 1:全当たり対象コラム販売可
12	書込み	01 ↓↑ 81	『書込み』キーで確定し、当たり確率の設定の表示に戻ります。
13	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 2%を超える確率を設定すると、不当景品類及び不当表示防止法に抵触するおそれがありますのでご注意ください。

モード1-04. 割引販売の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0 0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 左0:割引本数0本 右0:割引金額0円
2 ▲アップ	0 0	『アップ』『ダウン』キーで割引本数を変更します。 0:割引しない 1~9:割引本数1本~9本
3 書込み	2 0	『書込み』キーにて確定します。
4 ▲アップ	2 00	『アップ』『ダウン』キーで割引金額を変更します。 0:割引しない 10~90:割引金額10円~90円(10円単位)
5 書込み	2 20	『書込み』キーで確定します。
6 選択ボタン	2 20	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと販売可能ランプが点灯し、そのコラムが対象コラムとなります。 販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと販売可能ランプが消え、そのコラムは対象象外となります。複数コラムが選択可能です。
7 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 割引販売対象個数とまとめ買い(マルチバンド)個数との関係は下記のとおりです。

割引販売対象個数=0	割引販売はしません。
割引販売対象個数>まとめ買い個数	割引販売はしません。
割引販売対象個数=まとめ買い個数	割引販売をします。
割引販売対象個数<まとめ買い個数	割引販売をします。

注2. 割引期間、時間帯を設定する場合は以下の設定を行ってください。

期間を設定する必要がない場合、以下を設定する必要はありません。

・2-22. 割引期間 ・2-23. 割引時間帯

モード1-05. 自販機管理番号の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	H ↓↑ 0000	『書込み』キーで現在の設定の上位4桁を表示します。 例) 上位4桁:0000
2 ▲アップ	0000	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
3 書込み	1000	『書込み』キーで確定します。
4 ▲アップ	1000	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
5 書込み	1200	『書込み』キーで確定します。
6 ▲アップ	1200	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
7 書込み	1230	『書込み』キーで確定します。
8 ▲アップ	1230	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
9 書込み	L ↓↑ 0000	『書込み』キーで上位4桁が確定し、現在の設定の下位4桁を表示します。 例) 下位4桁:0000
手順2~9と同様に下位4桁も設定してください。		
10 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-06. 商品コードの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	CL 1 ↓↑ 0000	『書込み』キーで1番コラムの現在の設定を表示します。 1番コラムの選択ボタンの販売可能ランプも点灯します。 例) 1番コラム:0000
2 ▲アップ	0000	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
3 書込み	1000	『書込み』キーで確定します。
4 ▲アップ	1000	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
5 書込み	1200	『書込み』キーで確定します。
6 ▲アップ	1200	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
7 書込み	1230	『書込み』キーで確定します。
8 ▲アップ	1230	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
9 書込み	CL 2 ↓↑ 0000	『書込み』キーで確定し、2番コラムの現在の設定を表示します。 この時に選択ボタンによるコラムの選択も可能です。 例) 2番コラム:0000
手順2~9と同様に設定してください。		
10 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-07. 高速連続テスト販売の搬出速度の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	3	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 3: 3個/秒
2	▲アップ	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 1: 1個/秒 2: 2個/秒 3: 3個/秒
3	書込み	2	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-08. カウンターの集計条件設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: グループ別
2	▲アップ	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: グループ別 1: 指定価格 2: 高価格優先 3: 低価格優先 4: カード指定価格 5: カード高価格優先 6: カード低価格優先
3	書込み	!	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 0~3設定は現金及びカード販売時に指定の条件に従いカウンターにカウントします。4~6設定はカード販売時のみ指定の条件に従いカウンターにカウントします。

注2. 1-16. フリーバンドカウンターの設定・確認でフリーバンドカウンターが設定されているカウンターは本設定に関係なく、フリーバンド販売による売上個数をカウントします。

モード1-09. 冷温切換ガイダンス表示の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	!	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 1: 表示する
2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 表示しない 1: 表示する
3	書込み	0	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 冷温切換ガイダンス表示は冷温設定切換時に、コールド設定コラムの選択ボタンの販売可能ランプを点灯、ホット設定コラムの選択ボタンの販売可能ランプを点滅させて、冷温表示板の入れ替えの補助をします。

モード1-11. つり銭抜き取り不正抑止の設定・確認

自販機の扉が閉じているにも関わらずコインメックのつり銭回収操作が行われるような不正行為が行われた場合、これを検知して警報を発します。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0 !	『書込み』キーで警報種類の現在の設定を表示します。 例) 0: 警報しない
2	▲アップ	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 警報しない 1: 照明点滅 2: 不正抑止ブザー 3: 照明点滅と不正抑止ブザー

3	書込み	0 2	『書込み』キーで確定し、警報時間の現在の設定を表示します。 例) 0: 30秒
4	▲アップ	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 30秒 1: 1分 2: 3分 3: 5分
5	書込み	!	『書込み』キーで確定し、警報種類の設定の表示に戻ります。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. この機能は搭載するコインメックによってはこの設定を行っても動作しない場合があります。

モード1-12. インフォメーションボタンの設定・確認

自販機正面から見て右下の3ボタンはインフォメーションボタンとして使用することができます。

インフォメーションボタンに設定された選択ボタンを押すと、そのボタンに対応したコラムの販売可能ランプが点滅します。

	操作	表示器表示	操作方法
右下の3ボタンをコラムから切り離してください。 (「V-01. コラムセレクト配線の設定」を参照)			
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 使用しない
2	▲アップ	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 使用しない 1: 使用する
3	書込み	!	『書込み』キーで確定します。 この時、手順2で「1」を選択した場合は右下の3ボタンが以下のようにインフォメーションボタンに割り当てられ、販売可能ランプが点滅します。 インフォメーションボタン1 (Inb1): 右下から3番目 インフォメーションボタン2 (Inb2): 右下から2番目 インフォメーションボタン3 (Inb3): 右下
4	選択ボタン	Inb2	設定したい『インフォメーションボタン』を押します。このとき押したインフォメーションボタンの販売可能ランプが点滅から点灯に変化し、金額表示器に押したインフォメーションボタン番号が表示されます。 例) インフォメーションボタン2
5	選択ボタン	Inb2	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと販売可能ランプが点灯し、その選択ボタンに接続されているコラムが金額表示器に表示中のインフォメーションボタンの対象コラムに設定されます。また販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと販売可能ランプが消灯し、その選択ボタンに接続されているコラムは金額表示器に表示中のインフォメーションボタンの対象コラムから除外されます。(複数選択可能)別のインフォメーションボタンを設定したい場合は手順4に戻ります。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順1にて『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、インフォメーションボタン設定の一括解除が行えます。

モード1-13. 扉開閉時エラーコード表示の設定・確認

この設定を行うと自販機故障が発生している時、扉開又は閉すると30秒間金額表示器にエラーコードを表示すると同時に警告ブザーを5秒間鳴らすことができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 表示しない
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 表示しない 1: 表示する(ブザー音無し) 2: 表示する(ブザー音有り)
3	書込み	『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. ブザー消音時間帯または金額表示器のブザー音設定が消音となっている時、ブザー音は鳴りません。

モード1-14. オフライン通信状態表示の設定・確認

オフライン通信状態表示を有効にすると、ハンディターミナルを用いたオフライン通信の通信状態を金額表示器に表示することができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 表示しない
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 表示しない 1: 表示する
3	書込み	『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 以下の何れかの状態では本設定を行っても、オフライン通信の通信状態を金額表示器に表示できません。

①商品販売中 ②金銭投入中 ③リモコン操作中

注2. オフライン通信の各状態での表示は下表のとおりです。

表示器表示	通信状態	表示器表示	通信状態
- - - -	オフライン通信中	0 0 0 0	正常終了
↑ ↓ 0	オフライン設定異常 ※下の「0」は機種によって異なる場合があります。	2 2 2 2	パスワード異常
3 3 3 3	コマンド異常	4 4 4 4	データ異常
5 5 5 5	応答異常	9 9 9 9	通信異常

モード1-15. 液晶カウンター汎用表示の設定・確認

この設定を行うとオプションの液晶カウンターを搭載した時に、液晶カウンターの汎用表示機能を使用可能になります。

※液晶カウンターの汎用表示機能は機種によって異なります。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 使用しない
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 使用しない 1: 使用する
3	書込み	『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 液晶カウンターはオプションです。

モード1-16. フリーバンドカウンターの設定・確認

フリーバンドカウンターを設定した番号のカウンターは、「0-02. カウンターの集計条件の設定」にかかわらず、フリーバンド販売による売上個数をカウントします。

※フリーバンドカウンターに設定すると、設定した番号のカウンターにカウントしていた価格の売上個数はカウントできなくなります。フリーバンドカウンターを設定する時は自動販売機に実装されている最後のカウンター番号のカウンターを指定してください。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 使用しない
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 使用しない 1: カウンター1 2: カウンター2 ... 7: カウンター7
3	書込み	『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 既に運用しているカウンターにフリーバンドカウンターを設定すると、フリーバンドの売上個数はフリーバンドカウンター設定以前のカウンタに累積されます。

モード1-17. 扉開日時の確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーにて、履歴番号が表示されます。 例) 1: 最新の履歴
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで、履歴番号を変更します。 1: 最新履歴 2: 2番目に新しい履歴 ↓ 15: 15番目に新しい履歴
3	書込み	『書込み』キーにて、扉開日時の月日が表示されます。 例) 履歴番号3の月日: 4月21日
4	書込み	『書込み』キーにて、扉開日時の時刻が表示されます。 例) 履歴番号3の時刻: 15時23分
5	書込み	『書込み』キーにて、次の履歴番号を表示します。
6	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 扉開日時は扉が閉から開になった時点の月日及び時刻です。

注2. 履歴番号は1~15の15回分として、履歴番号1が最新の履歴データ、履歴番号15が最も古い履歴データです。

注3. 16回目以降の記憶は、最新のデータを履歴番号1に記憶し、それまで記憶番号1の履歴データは2に記憶され、記憶番号14の履歴データは15に記憶され、それまで15の履歴データは破棄されます。

注4. 扉開日時表示中に『アップ』キーを押すと、次の履歴番号を表示します。

注5. 履歴データが記憶されていない場合は、各データは『0000』が表示されます。

モード1-18. コラム別トークンの設定・確認

トークン対応コインメカニズム搭載機種で、トークンを利用した各列販売可能なコラムを設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーでトークンAを表示します。 例) 1: トークンA
2	選択ボタン	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムがトークンAの対象コラムとなります。 販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し、そのコラムがトークンAの対象コラムから除外されます。
3	▲アップ	『アップ』キーでトークンBを表示します。 例) 2: トークンB
4	選択ボタン	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムがトークンBの対象コラムとなります。 販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し、そのコラムがトークンBの対象コラムから除外されます。
5	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 本機能はトークン対応コインメカニズムを搭載している機種のみ設定できます。
- 注2. 1つのコラムにトークンAとトークンBを同時に設定することはできません。後から選択した方が有効となります。
- 注3. 交互販売を設定しているコラムにトークンを設定した場合、そのコラムの交互販売は解除します。
- 注4. 異なるトークンを設定しているコラムは同一交互グループに設定することはできません。

モード1-19. コラム別ルーレット売上個数の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで1番コラムのコラム別ルーレット売上個数を表示します。 例) 1番コラム: 10個
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで他のコラムを表示します。 『選択ボタン』でも可能です。 例) 2番コラム: 12個
3	点検/クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、売上個数はクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. コラム別ルーレット売上個数をクリアすると、コラム別ルーレット売上金額、ルーレット当たり個数、ルーレット当たり金額もクリアされます。

モード1-20. コラム別ルーレット売上金額の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで1番コラムのコラム別ルーレット売上金額を表示します。 例) 1番コラム: 1200円

2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで他のコラムを表示します。 『選択ボタン』でも可能です。 例) 2番コラム: 2400円
3	点検/クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、売上金額はクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. コラム別ルーレット売上金額をクリアすると、コラム別ルーレット売上個数、ルーレット当たり個数、ルーレット当たり金額もクリアされます。

モード1-21. コラム別フリーバンド売上個数の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで1番コラムのコラム別フリーバンド売上個数を表示します。 例) 1番コラム: 123,456個
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで他のコラムを表示します。 『選択ボタン』でも可能です。 例) 2番コラム: 2400個
3	点検/クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、売上個数はクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. コラム別フリーバンド売上個数をクリアすると、コラムフリーバンド売上金額もクリアされます。

モード1-22. コラム別フリーバンド売上金額の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで1番コラムのコラム別フリーバンド売上金額を表示します。 例) 1番コラム: 1200円
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで他のコラムを表示します。 『選択ボタン』でも可能です。 例) 2番コラム: 2400円
3	点検/クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、売上金額はクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. コラム別フリーバンド売上金額をクリアすると、コラムフリーバンド売上個数もクリアされます。

モード1-23. 現金価格一括加算設定

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み 10	『書込み』キーで加算金額を表示します。 加算の初期値は10円です。
2	▲アップ 30	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
3	書込み 2秒以上 0	『書込み』キーを2秒以上押し続けると、ピーとブザーが鳴り、加算額を確定します。 全コラムの価格が一括で加算されます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 現金価格加算額の設定範囲は10~90円の10円単位の増加です。

注2. 現金価格を変更すると、カード価格も同一価格に変更されます。

注3. 同一価格加算のため交互販売グループは解除されません。

モード1-24. 現金価格別売上個数の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み P 120 ↓ C 12 ↓ ↑ 3456 (Cは上位を表す)	『書込み』キーで現金価格の価格帯とその売上個数を表示します。 例) 価格帯120円: 123,456個
2	▲アップ P 150 ↓ C 23 ↓ ↑ 4567	『アップ』『ダウン』キーで価格帯を変更します。 例) 価格帯150円: 234,567個
3	点検/クリア 2秒以上 P 150 ↓ C ↓ ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全ての価格帯の売上個数、売上金額が同時にクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-25. 現金価格別売上金額の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み P 120 ↓ P 12 ↓ ↑ 3450 (Pは上位を表す)	『書込み』キーで現金価格の価格帯とその売上金額を表示します。 例) 価格帯120円: 123,450円
2	▲アップ P 150 ↓ P 23 ↓ ↑ 4560	『アップ』『ダウン』キーで価格帯を変更します。 例) 価格帯150円: 234,560円
3	点検/クリア 2秒以上 P 150 ↓ P ↓ ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全ての価格帯の売上個数、売上金額が同時にクリアされます。

4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。
---	----	-------------------

モード1-26. カード価格別売上個数の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み P 115 ↓ C 12 ↓ ↑ 3456 (Cは上位を表す)	『書込み』キーでカード価格の価格帯とその売上個数を表示します。 例) 価格帯115円: 123,456個
2	▲アップ P 145 ↓ C 23 ↓ ↑ 4567	『アップ』『ダウン』キーで価格帯を変更します。 例) 価格帯145円: 234,567個
3	点検/クリア 2秒以上 P 145 ↓ C ↓ ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全ての価格帯の売上個数、売上金額が同時にクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-27. カード価格別売上金額の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み P 115 ↓ P 12 ↓ ↑ 3456 (Pは上位を表す)	『書込み』キーでカード価格の価格帯とその売上金額を表示します。 例) 価格帯115円: 123,456円
2	▲アップ P 145 ↓ P 23 ↓ ↑ 4567	『アップ』『ダウン』キーで価格帯を変更します。 例) 価格帯145円: 234,567円
3	点検/クリア 2秒以上 P 145 ↓ P ↓ ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全ての価格帯の売上金額、売上個数が同時にクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-28. フリーバンド価格別売上個数の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み P 120 ↓ C 12 ↓ ↑ 3456 (Cは上位を表す)	『書込み』キーで現金価格の価格帯とそのフリーバンド売上個数を表示します。 例) 価格帯120円: 123,456個

2	▲アップ	P 150 ↓ C 23 ↑ 4567	『アップ』『ダウン』キーで価格帯を変更します。 例) 価格帯150円: 234,567個
3	点検 / クリア 2秒以上	P 150 ↓ C ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、 全ての価格帯の売上個数、売上金額が同時にク リアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-29. フリーバンド価格別売上金額の確認・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
	「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	P 120 ↓ P 12 ↓ ↑ 3450 (Pは上位を表す)	『書込み』キーで現金価格の価格帯とそのフリーバンド売上金額を表示します。 例) 価格帯120円: 123,450円
2	▲アップ	P 150 ↓ P 23 ↓ ↑ 4560	『アップ』『ダウン』キーで価格帯を変更します。 例) 価格帯150円: 234,560円
3	点検 / クリア 2秒以上	P 150 ↓ P ↓ ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全ての価格帯の売上金額、売上個数が同時にクリアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-30. 印字パターンの設定・確認

プリンタの印字パターンを設定します。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1			『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0：基本
2			『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0：基本 1：電子マネー（クリアあり） 2：電子マネー（クリアなし） 3：オリジナル
3			『書込み』キーで確定します。
4			『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-31. コラム別設定価格の確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	CL 1 ↓ G ↓ ↑ 120	『書込み』キーで1番コラムの現金価格を表示します。 例) CL 1 : 1番コラム G : 現金 120 : 120円

2	▲アップ	CL 5 ↓ G ↑ 150	『アップ』『ダウン』キーでコラム番号を変更し ます。 例) CL 5: 5番コラム G : 現金 150 : 150円
3	書込み	CL 5 ↓ Cd ↑ 145	『書込み』キーでカード価格を表示します。 例) CL 5: 5番コラム Cd : カード 145 : 145円
4	書込み	CL 5 ↓ Cd 1 ↑ 141	『書込み』キーでマルチマネー価格を表示しま す。 例) CL 5: 5番コラム Cd 1: マネーブランド1番 141 : 141円
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順3はカード端末接続時のみ表示します。

注2. 手順4はマルチマネー端末接続時のみ表示します。

注3. 手順4を繰り返すことにより、最大8ブランドまで表示できます。

モード1-32. 期間中コラム別売上数のクリア

「モード1-33. 期間中コラム別売上数表示」の売上数データをクリアしま
す。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	CL	『書込み』キーで「CL」を表示します。
2	点検 / クリア 2秒以上	0	『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、期間中コラム別売上個数がクリアされ、「0」を表示します。
3	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-33. 期間中コラム別売上数表示の設定・確認

選択ボタン毎にデジタル表示部 (選択ボタン内蔵または別置き) を搭載した機
種専用の機能です。扉開時、デジタル表示部にコラム別の売上数を表示します。

操作		表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み		『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0：表示しない
2	▲アップ		『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0：表示しない 1：表示する
3	書込み	!	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 売上数は以下のいずれかの操作でクリアされます。

①ハンディーターミナルによる収集クリア処理実行

②「モード1-38. 期間中コラム別売上個数のクリア」操作

③『売行情報』キーの2秒押し

注2. 扉を開けた後、リモコンを操作した時点で価格表示に戻ります。

注3. 999本を超える場合は999と表示します。

モード1-36. 表示テストモード

選択ボタン毎にデジタル表示部（選択ボタン内蔵または別置き）を搭載した機種専用の機能です。デジタル表示部の表示テストを行います。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	-	『書込み』キーで表示テストのモードに入ります。
2	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 全てのデジタル表示部が「888」の点灯または点滅表示となります。
（点灯、点滅は機種により異なります）

●選択ボタンの表示部に関するその他の表示

■オペレート中（扉開・リモコン操作）の表示

①販売休止時間表示

『販売休止』キーを押すと、各コラムの販売休止設定時間を表示します。
未設定の場合は何も表示されません。

例) : 12時間

②割り当てコラム番号表示

『コラム設定』キーを押すと、コラム番号を表示します。
コラムに未接続の場合は「――」を表示します。

例) : 15番コラム

③交互販売グループ表示

『交互販売』キーを押すと交互販売グループ番号を表示します。
未設定の場合は何も表示されません。

例) : グループ3

④満杯収容数表示

「9-10. コラム別満杯収容数」の項目に入ると、各コラムの満杯収容数を表示します。

例) : 21本

⑤補給数表示

「9-09. コラム別補給数」の項目に入ると、各コラムの補給数を表示します。

例) : 21本

⑥販売期限表示

「2-17. 販売停止日管理機能の販売停止日の確認」の項目に入ると、各コラムの販売期限までの残日数を表示します。未設定の場合は何も表示しません。

例) : 期限切れ : 30日 : 99日以上

⑦設定価格表示

『価格設定』キーを押すと、各コラムの設定価格を表示します。
現金価格設定時は現金価格、カード価格設定時はカード価格を表示します。

例) : 99円

■販売待機中、販売動作中の表示

①フリーバンド表示

フリーバンド設定中のコラムは を表示します。

②販売価格表示

販売確定時、販売対象コラムの表示部に販売価格を2～3秒表示します。

③割引価格表示

割引価格での販売時は割引後の価格を表示します。

④現金価格表示

通常は現金価格を表示します。

⑤その他

以下の場合 を表示します。

・価格設定が4桁以上 ・対象コラムが売切れ、または準備中

モード1-39. 内蔵オンライン機能の設定・確認

内蔵オンライン機能の使用有無、及び使用時の種類を設定します。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0 : 使用しない

2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0 : 使用しない 1 : 無手順を使用する 2 : TCP/IPを使用する
3	書込み	!	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-40. オンライン通信速度の設定・確認

内蔵オンラインの通信速度を設定します。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0 : 9600bps
2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0 : 9600bps 1 : 19200bps
3	書込み	!	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 出荷時に9600bps、19200bps以外が設定されている場合、
手順1は「-」を表示します。

モード1-41. 人感センサ販売可能ランプ点滅の設定・確認

人感センサ感知時に販売可能ランプを点滅させるかどうかを設定します。
人感センサ非搭載機は設定しないでください。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0 : 点滅しない
2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0 : 点滅しない 1 : 点滅する
3	書込み	!	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-43. 取出口照明点灯条件の設定・確認

取出口照明の点灯条件を設定します。（取出口照明はオプションです）

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0 : 無効
2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0 : 無効 1 : 搬出時 2 : 搬出時と人感センサ検知時
3	書込み	!	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-44. 10円釣銭切れランプ消灯の設定・確認

10円硬貨が釣銭切れ状態であっても、価格設定の10円の桁が全コラムとも0の場合は、金額表示器の10円硬貨釣銭切れランプを消灯させる機能です。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0 : 消灯しない

2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0：消灯しない 1：消灯する
3	書込み	『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-54. ライフライン売上個数・金額の確認・クリア

ライフライン機能にて搬出された個数と金額を確認します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーでライフライン売上個数/金額のモードに入ります。
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで表示する内容を選択します。 C：個数 P：金額
3	書込み	C：個数を選択した場合 『書込み』キーにてトータル個数を表示します。 例) TC：トータル個数 1,234個
		P：金額を選択した場合 『書込み』キーにてトータル金額を表示します。 例) TP：トータル金額 12,345円
4	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーでコラム別個数（または金額）を表示します。 例) コラム15：123個 ※手順2で金額を選択した場合はコラム別金額の表示となります。
5	点検/クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると個数、金額のどちらを表示していても本数、金額両方がクリアされます。
6	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. ライフライン機能を搭載した自販機専用の操作となります。ライフラインモードについては別冊の取扱説明書を併せてご確認ください。

注2. ライフライン起動時の搬出は通常時のフリーバンド搬出と同じ売上カウンターにも加算されます。加算される売上カウンターは「売上集計加算条件一覧表」にてフリーバンドの項目をご覧ください。

注3. ライフライン個数、金額をクリアしても他の売上カウンターはクリア・減算されません。

モード1-55. 現金グループ別売上個数の確認・クリア

あらかじめコラムを指定したグループの現金グループ別売上個数を確認・クリアします。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現金グループ別売上個数を表示します。 例) グループ1：123,456個
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーでグループ番号を変更します。 例) グループ2：234,567個

3	点検/クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全てのグループの売上個数、売上金額が同時にクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-56. 現金グループ別売上金額の確認・クリア

あらかじめコラムを指定したグループの現金グループ別売上金額を確認・クリアします。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現金グループ別売上金額を表示します。 例) グループ1：123,450円
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーでグループ番号を変更します。 例) グループ2：234,560円
3	点検/クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全てのグループの売上金額、売上個数が同時にクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-57. 現金以外グループ別売上個数の確認・クリア

あらかじめコラムを指定したグループの現金以外グループ別売上個数を確認・クリアします。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現金以外グループ別売上個数を表示します。 例) グループ1：123,456個
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーでグループ番号を変更します。 例) グループ2：234,567個
3	点検/クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全てのグループの売上個数、売上金額が同時にクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード1-58. 現金以外グループ別売上金額の確認・クリア

あらかじめコラムを指定したグループの現金以外グループ別売上金額を確認・クリアします。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現金以外グループ別売上金額を表示します。 例) グループ1：123,459円

2	▲アップ		『アップ』『ダウン』キーでグループ番号を変更します。 例) グループ2: 2 3 4, 5 6 7円
3	点検/クリア 2秒以上		『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全てのグループの売上金額、売上個数が同時にクリアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

2. タイマーモード操作

モード2-01. 現在時刻の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	1234	『書込み』キーにて現在時刻を表示します。 例) 1234: 12時34分
2 ▲アップ	1334	『アップ』『ダウン』キーで現在時刻(時)を変更できます。 00~23:0時~23時
3 書込み	1300	『書込み』キーにて、現在時刻(時)の変更を確定し、現在時刻(分)の設定変更が可能になります。
4 ▲アップ	1300	『アップ』『ダウン』キーで現在時刻(分)を変更できます。 00~59:00分~59分
5 書込み	1235	『書込み』キーで確定します。
6 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 現在時刻の確認だけをおこなうときは、手順2~5を省略してください。

注2. 時間だけの修正の場合は、手順4~5を省略してください。

注3. 分だけの修正の場合は、手順2を省略してください。

注4. 時間は24時間表示です。

モード2-02. 現在月日の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0717	『書込み』キーで月日を表示します。 例) 0717: 7月17日
2 ▲アップ	0817	『アップ』『ダウン』キーで月を変更します。 01~12: 1月~12月
3 書込み	0801	『書込み』キーで確定します。
4 ▲アップ	0801	『アップ』『ダウン』キーで現在日を変更します。 01~31: 1日~31日
5 書込み	0827	『書込み』キーで確定します。
6 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 現在月日の確認だけをおこなうときは、手順2~5を省略してください。

注2. 現在月だけの修正の場合は、手順4~5を省略してください。

注3. 現在分だけの修正の場合は、手順2を省略してください。

モード2-03. 現在西暦の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	2008	『書込み』キーで現在西暦を表示します。 例) 2008年
2 ▲アップ	2009	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 1990~2089年

3	書込み	2009	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード2-04. 冷却機節電時間帯の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	2203	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 22時~3時
2 ▲アップ	2303	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 00~23:0時~23時
3 書込み	2300	『書込み』キーで確定します。
4 ▲アップ	2300	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 00~24:0時~24時
5 書込み	2304	『書込み』キーで確定します。
6 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 「3-01. コンプレッサ運転モード」を「3」または「4」に設定してください。

注2. 開始/終了時刻が同一の場合、タイマー機能は動作しません。

注3. 開始/終了時刻を00時/24時に設定すると終日、OFFします。

モード2-05. コラム別一時販売休止時間の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	02	『書込み』キーで一時休止時間を変更できます。 例) 02: 2時間
2 ▲アップ	03	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 00~24:0時間~24時間
3 書込み	03	『書込み』キーで確定します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 販売一時休止時間の確認だけおこなう場合は手順2、3を省略してください。

注2. 本設定を行っても販売休止は開始されません。

実際に販売休止を行う場合は「販売休止キー」の項目にて設定を行ってください。

モード2-07. 照明調光時間帯の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0005	『書込み』キーで現在の設定値を表示します。 例) 開始: 00時 終了: 05時
2 ▲アップ	0105	『アップ』『ダウン』キーで開始時刻を変更します。 00~23:0時~23時
3 書込み	0105	『書込み』キーで開始時刻を確定し、終了時刻の設定になります。
4 ▲アップ	0205	『アップ』『ダウン』キーで終了時刻を変更します。 00~24:0時~24時
5 書込み	0205	『書込み』キーで確定します。
6 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 開始/終了時刻が同一時刻の場合、タイマー機能は動作しません。

注2. 時刻は24時間表示です。

注3. 調光時間帯の設定に基づき照明を調光状態で点灯させるには主制御ボックスの明るさスイッチを『調光』にする必要があります。

モード2-08. ブザー消音時間帯の設定・確認
この操作で設定した時間帯は金額表示器のブザー音を消音できます。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	2205	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 22時～5時
2	▲アップ	0005	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 00～23:0時～23時
3	書込み	2300	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	2300	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 00～24:0時～24時
5	書込み	2306	『書込み』キーで確定します。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 開始/終了時刻が同一の場合、タイマー機能は動作しません。
注2. 開始/終了時刻を00時/24時に設定すると終日、消音します。
注3. この機能で消音できるブザー音は金額表示器内蔵のブザー音です。
リモコン操作時・コントロールパネル操作時のブザー音は消音できません。

モード2-10. 加温節電時間帯の設定・確認
この操作で設定した時間帯は加温システムが強制的にOFFします。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	2205	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 22時～5時
2	▲アップ	0005	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 00～23:0時～23時
3	書込み	2300	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	2300	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 00～24:0時～24時
5	書込み	2306	『書込み』キーで確定します。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 開始/終了時刻が同一の場合、タイマー機能は動作しません。
注2. 開始/終了時刻を00時/24時に設定すると終日、OFFします。

モード2-11. 販売開始日時の設定・確認
商品の販売を開始する月日と時刻をコラム別に設定できます。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み		『書込み』キーで販売開始日時1を表示します。
2	▲アップ		『アップ』『ダウン』キーで変更します。 1: 販売開始日時1 2: 販売開始日時2 3: 販売開始日時3
3	書込み	0000	『書込み』キーにて販売開始月日を表示します。 例) 00月00日(設定無し)
4	選択ボタン	0000	販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムがその販売開始日時の対象コラムとなります。 販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムがその販売開始日時の対象コラムから解除されます。
5	▲アップ	0100	『アップ』『ダウン』キーで月を変更します。 01～12: 1月～12月

6	書込み	1000	『書込み』キーで確定します。
7	▲アップ	1000	『アップ』『ダウン』キーで日を変更します。 1～31: 1日～31日
8	書込み	0000	『書込み』キーで確定し、販売開始時刻を表示します。 例) 00時00分
9	▲アップ	0000	『アップ』『ダウン』キーで時を変更します。 0～23: 0時～23時
10	書込み	0700	『書込み』キーで確定します。
11	▲アップ	0700	『アップ』『ダウン』キーで分を変更します。 0～59: 0分～59分
12	書込み	0730	『書込み』キーで確定します。
13	書込み		『書込み』キーで次の販売開始日時番号を表示します。
14	手順2～手順13を繰り返して他の販売開始日時を設定します。		
15	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

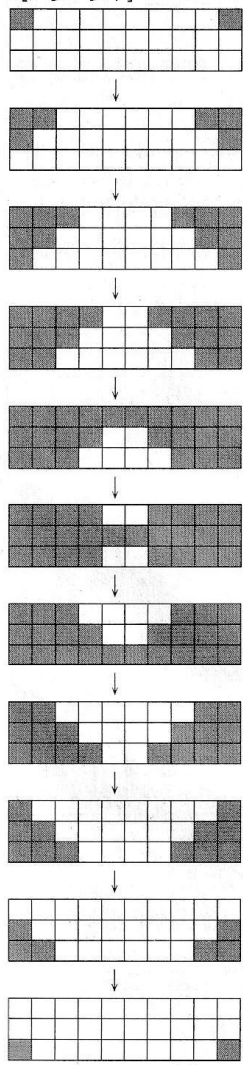
注1. 過去の日付を設定した場合は来年の設定となります。
注2. 販売開始日時を設定するとメインコントロールの『販売休止中』ランプが点滅します。
注3. 販売休止機能が設定されている場合は販売休止終了後に動作します。
注4. 00月00日は無効設定となります。

モード2-12. 販売可能ランプのイルミネーション機能
販売可能ランプにイルミネーション設定ができます。

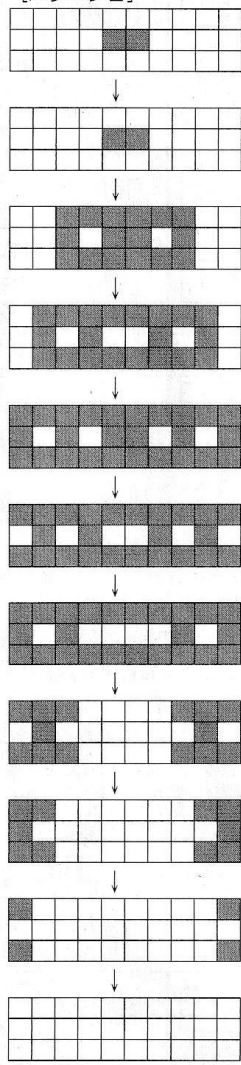
	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	2205	『書込み』キーで現在設定を表示します。 例) 22時～5時
2	▲アップ	0005	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 00～23:0時～23時
3	書込み	2300	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	2300	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 00～24:0時～24時
5	書込み	0	『書込み』キーで確定し、イルミネーション状態の現在の設定を表示します。 例) 0: 表示しない
6	▲アップ	4	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 表示しない 1～6: パターン1～パターン6
7	書込み	4	『書込み』キーで確定します。
8	選択ボタン	4	パターン4、5を選択した場合のみ、販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのボタンがイルミネーションの対象ボタンとなります。 販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、そのボタンがイルミネーションの対象から除外されます。
9	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 開始/終了時刻が同一の場合、タイマー機能は動作しません。
注2. 開始/終了時刻を00時/24時に設定すると終日、動作します。
注3. パターンは次の通りです。(10ボタン×3段の場合)

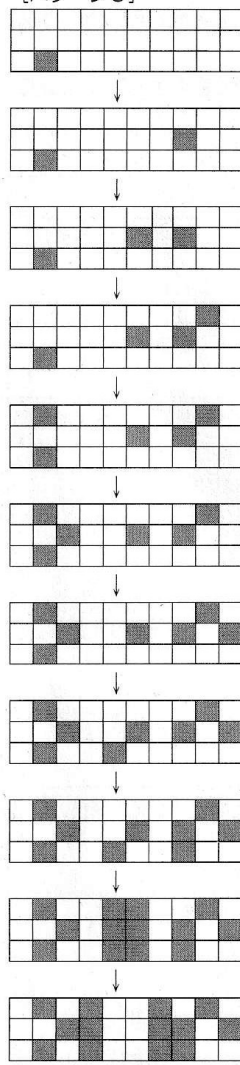
[パターン1]



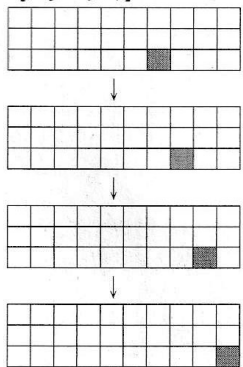
[パターン2]



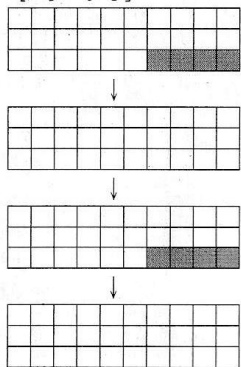
[パターン3]



[パターン4]



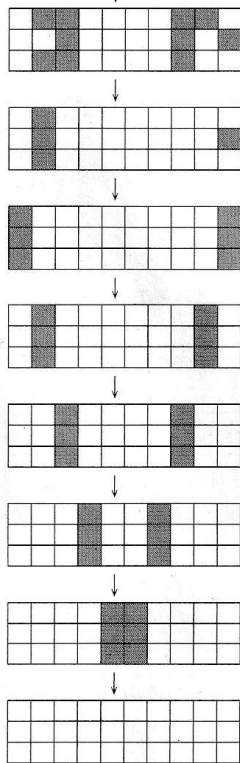
[パターン5]



注4. パターン4、5は右下の4つのボタンを設定した場合を例に記載しています。

[パターン6]

選択ボタンの冷温情報に従って、全ボタンを点滅します。



モード2-13. 休日省エネ指定曜日の設定・確認

休暇開始曜日/時刻、終了曜日/時刻を設定して、毎週その期間内は省エネ動作を行います。

※本機能を運用すると省エネ期間中の商品温度は保障できませんので、ご注意ください。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	6	『書込み』キーで開始曜日の現在の設定を表示します。 例) 6: 土曜日
2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0~6: 日曜日~土曜日
3	書込み	2300	『書込み』キーで開始曜日が確定し、開始時刻の現在の設定を表示します。 例) 2300: 23時00分
4	▲アップ	00	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 00~23: 0時~23時 ※分は00固定です。
5	書込み	2	『書込み』キーで確定し、終了曜日の現在の設定を表示します。 例) 2: 火曜日
6	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0~6: 日曜日~土曜日
7	書込み	300	『書込み』キーで確定し、終了時刻の現在の設定を表示します。 例) 300: 3時00分
8	▲アップ	00	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0~23: 0時~23時 ※分は00固定です。
9	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. メインコントローラのコンプ停止スイッチを押して『休日』LEDを点灯させてください。

注2. 省エネ期間中の基本動作は以下の通りです。

・冷却動作の停止

注3. 『モード3-13. 休日省エネオプション』にて以下を設定することができます。

・期間中の販売する/しない ・期間中の加温動作する/しない

・期間終了後の販売休止時間 (冷却庫室/加温庫室)

モード2-14. 休日省エネ長期休暇の設定・確認

休日開始年/月/時刻、終了年/月/時刻を設定して、その期間内は省エネ動作を行います。

※本機能を運用すると省エネ期間中の商品温度は保障できませんので、ご注意ください。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	2012	『書込み』キーで開始年の現在の設定を表示します。 例) 2012: 2012年
2	▲アップ	2000	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 2000~2099年
3	書込み	1227	『書込み』キーで確定し、開始月日の現在の設定値を表示します。 例) 1227: 12月27日
4	▲アップ	01	『アップ』『ダウン』キーで開始月を変更します。 01~12: 1月~12月
5	書込み	0820	『書込み』キーで確定します。

6	▲アップ	0800	『アップ』『ダウン』キーで開始日を変更します。
7	書込み	1700	『書込み』キーで確定し、開始時刻の現在の設定を表示します。 例) 1700: 17時00分
8	▲アップ	00	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 00~23: 0時~23時 ※分は00固定です。
9	書込み	2012	『書込み』キーで確定し、終了年の現在の設定値を表示します。 例) 2012: 2012年
10	開始年/月/日/時と同様に終了年/月/日/時を設定します。		
11	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. メインコントローラのコンプ停止スイッチを押して『休日』LEDを点灯させてください。

注2. 省エネ期間中の基本動作は以下の通りです。

・冷却動作の停止

注3. 『モード3-13. 休日省エネオプション』にて以下を設定することができます。

・期間中の販売する/しない ・期間中の加温動作する/しない

・期間終了後の販売休止時間 (冷却庫室/加温庫室)

モード2-15. コラム別販売停止日管理の設定・確認

販売停止日をコラム別に設定する機能です。本機能を使用するには「9-24. 販売停止日管理売切表示」を「1: 売切表示する」に設定してください。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	1208	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 12月8日
2	▲アップ	01	『アップ』『ダウン』キーで月を変更します。 01~12: 1月~12月
3	書込み	0101	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	01	『アップ』『ダウン』キーで日を変更します。 01~31: 1日~31日
5	書込み	0120	『書込み』キーで確定します。
6	選択ボタン	0120	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムに販売停止日が設定されます。 販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し、販売停止日設定が解除されます。
手順2~6を繰り返して、販売停止日を必要なコラムに設定します。			
7	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順1はNo.1コラムに設定してある販売停止日を表示します。

設定がない場合は現在日付を表示します。

注2. 手順1~6で、クリアキーの2秒押しにより全コラム一括解除を行うことができます。

注3. 操作中に表示の販売停止日と同じ販売停止日が設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。

注4. 過去の日付を設定した場合は、翌年となります。

注5. 浮きコラムを交互販売設定している場合、浮きコラムに対しては個別での設定は出来ません。(一括設定のみ可能です。)

モード2-16. 販売停止日管理の一括設定

販売停止日を全コラム一括設定する機能です。本機能を使用するには「9-24. 販売停止日管理売切表示」を「1: 売切表示する」に設定してください。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	1208	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 12月8日
2	▲アップ	0108	『アップ』『ダウン』キーで月を変更します。 01~12: 1月~12月
3	書込み	0108	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	0108	『アップ』『ダウン』キーで日を変更します。 01~31: 1日~31日
5	書込み	0120	『書込み』キーで確定します。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順1はNo.1コラムに設定してある販売停止日を表示します。

設定がない場合は、現在日付を表示します。

注2. 手順1~5で、クリアキーの2秒押しにより全コラム一括解除を行うことができます。

注3. 操作中に表示の販売停止日と同じ販売停止日が設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。

注4. 過去の日付を設定した場合は、翌年となります。

注5. 浮きコラムも含めて販売停止日を一括設定します。

モード2-17. 販売停止日管理機能の販売停止日の確認

販売停止日管理の日付をコラム別に確認できます。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	- - -	『書込み』キーで販売停止日の確認の項目になります。 例) 設定されていないことを表示します。
2	選択ボタン	0121	『選択ボタン』を押すと選択された選択ボタンの販売停止日が表示されます。 ※設定されている選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。
3			『終了』キーで待機状態に戻ります。

●かんたん加温品質管理機能

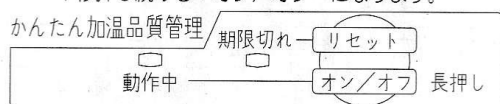
<運用方法>

メインコントローラ上にある、

“かんたん加温品質管理”を操作して使用できます。

スイッチは、2秒押し続ける: リセット

4秒押し続ける: オン/オフ になります。



- 機能を有効にする場合は、『スイッチ』を4秒以上押し続けて（ブザーがピーと鳴ります）離してください。“動作中”のランプが点灯します。加温庫室がない場合は無効です。無効にする場合は、再度4秒以上押し続けて離してください。“動作中”ランプが点滅します。
- オペレート時に、『スイッチ』を2秒以上押し続けて（ピッと鳴ります）離してください。加温品質管理日の日数が、リセットされます。
- 加温品質管理日を越えて加温されている商品がある場合には、“期限切れ”ランプが点滅します。必要に応じて対象商品を、払い出してください。
- “期限切れ”ランプの点滅を消す場合は、『スイッチ』を2秒以上押し続けて（ピッと鳴ります）離してください。“期限切れ”ランプの点滅が消え加温品質管理日がリセットされます。
- 加温庫室のみ、本機能が対象になります。冷却庫室のみの運用、または管理日数0日の場合は動作しません。

また、冷温を切替えた場合以下のようにになります。

冷却庫室⇒加温庫室: 対象外⇒対象になります。

加温庫室⇒冷却庫室: 対象⇒対象外になります。

モード2-18. かんたん加温品質管理日数の設定・確認

かんたん加温品質管理日数を設定できます。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	14	『書込み』キーで現在の設定を表示します。
2	▲アップ	00	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 無効 1~99: 1~99日
3	書込み	30	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード2-19. かんたん加温品質管理の売切設定

かんたん加温品質管理日数を経過した後に売切にできます。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 0: 売切にしない
2	▲アップ	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 売切にしない 1: 売切にする
3	書込み	1	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード2-20. 人感センサによる照明消灯時間帯の設定・確認

人感センサ搭載機において本時間帯を設定すると、照明を点灯させる条件であっても人感センサが未検知の場合に照明を消灯させることができます。

※人感センサ非搭載機は設定を行わないでください。

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	2205	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 開始: 22時~終了: 5時
2	▲アップ	0505	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 0~23: 0~23時
3	書込み	2305	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	2306	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 0~24: 0~24時
5	書込み	2306	『書込み』キーで確定します。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 開始/終了時刻が同一の場合、タイマー機能は動作しません。

注2. 開始/終了時刻を00時/24時に設定すると終日有効となります。

注3. 上記機能の運用に関しましては、『照明に関する設定例』を併せて、ご確認ください。

モード2-21. 外付け人感センサ感度の設定・確認

外付け人感センサの反応レベルと継続レベルの設定を行います。

外付け人感センサ搭載機のみ有効の設定です。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	1 0	『書込み』キーで反応レベルの現在の設定を表示します。 例) 0: 遅い (2秒)
2 [▲アップ]	1 1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 遅い (2秒) 1: 標準 (1.2秒) 2: 早い (0.6秒)
3 [書込み]	2 2	『書込み』キーで確定し、継続レベルの現在の設定を表示します。 例) 2: 短い (10秒)
4 [▲アップ]	2 1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 長い (90秒) 1: 標準 (60秒) 2: 短い (10秒)
5 [書込み]	1 1	『書込み』キーで確定し、反応レベル設定の表示に戻ります。
6 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 反応レベルは人を検知してから照明が点灯するまでの速度です。

注2. 継続レベルは人がいなくなるのを検知してから照明を消灯させるまでの時間です。

モード2-22. 割引期間の設定・確認

期間割引を行う開始年月日・終了年月日を設定します。

併せて以下も設定してください。

モード9-11. まとめ買い本数

モード1-04. 割引販売

モード2-23. 割引時間帯

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	20 12	『書込み』キーで開始年の現在の設定を表示します。 例) 2012: 2012年
2 [▲アップ]	20 13	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 2000、2012~2099
3 [書込み]	12 27	『書込み』キーで確定し、開始月日の現在の設定を表示します。 例) 1227: 12月27日
4 [▲アップ]	12 28	『アップ』『ダウン』キーで開始月を変更します。 00: 未設定 01~12: 1月~12月
5 [書込み]	08 24	『書込み』キーで確定します。
6 [▲アップ]	08 25	『アップ』『ダウン』キーで開始日を変更します。 00: 未設定 01~31: 1日~31日
7 [書込み]	20 12	『書込み』キーで確定し、終了年の現在の設定を表示します。 例) 2012: 2012年
8		開始年/月日と同様に終了年/月日を設定します。
9 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 割引期間の設定は開始/終了年月日、全てを設定してください。

注2. 割引期間を設定せずに割引販売を行うには開始/終了ともに2000年00月00日に設定してください。

モード2-23. 割引時間帯の設定・確認

期間割引を行う開始時刻・終了時刻の設定・確認を行います。

併せて以下も設定してください。

モード9-11. まとめ買い本数

モード1-04. 割引販売

モード2-22. 割引期間

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	12 34	『書込み』キーで開始時刻の現在の設定を表示します。 例) 1234: 12時34分
2 [▲アップ]	13 34	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 0~24: 0~24時
3 [書込み]	14 34	『書込み』キーで確定します。
4 [▲アップ]	14 35	『アップ』『ダウン』キーで開始分を変更します。 00~59: 00~59分
5 [書込み]	12 34	『書込み』キーで確定し、終了時刻の現在の設定を表示します。 例) 1234: 12時34分
6		開始時刻と同様に終了時刻を設定します。
7 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 開始/終了共に00時00分の場合、終日割引を行います。

注2. 開始/終了共に00時00分以外の同時刻の場合、終日割引を行いません。

モード2-24. 曜日別照明消灯時間帯の設定・確認

曜日別照明消灯のパターン別の節電時間帯を設定することができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	1 13 16	『書込み』キーで時間帯1の現在の設定を表示します。 例) T1: 時間帯1 1316: 13時~16時
2 [▲アップ]	14 16	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 0~23: 0~23時
3 [書込み]	10 16	『書込み』キーで確定します。
4 [▲アップ]	10 17	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 0~24: 0~24時
5 [書込み]	2 13 16	『書込み』キーで確定し、次のパターンの現在の設定を表示します。 例) T2: 時間帯2 1316: 13時~16時
手順2~5を繰り返して、他の時間帯も設定してください。		
6 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 最大4つの時間帯を設定できます。

注2. 「2-25. 曜日別照明消灯パターン」の設定も行ってください。

モード2-25. 曜日別照明消灯パターンの設定・確認

曜日毎に2-24で設定した時間帯を最大4つ選択します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	00	『書込み』キーで日曜日の設定を表示します。 例) 00: 日曜日 0000: 設定なし
2 [▲アップ]	01	『アップ』『ダウン』キーで1つ目の時間帯を選択します。

3	書込み	1000	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	1000	『アップ』『ダウン』キーで2つ目の時間帯を選択します。
5	書込み	1200	『書込み』キーで確定します。
6	▲アップ	1200	『アップ』『ダウン』キーで3つ目の時間帯を選択します。
7	書込み	1230	『書込み』キーで確定します。
8	▲アップ	1230	『アップ』『ダウン』キーで4つ目の時間帯を選択します。
9	書込み	01 ↓↑ 0000	『書込み』キーで確定し、次の曜日パターンを表示します。 例) 01：月曜日 0000：設定なし
手順2～9を繰り返して、他の曜日も設定してください。			
10	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 曜日番号 00：日曜日 01：月曜日 02：火曜日 03：水曜日
04：木曜日 05：金曜日 06：土曜日

モード2-26. 冷し込み時間帯の設定・確認

冷し込み運転のパターン別の時間帯を設定することができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	1 ↓↑ 13 16	『書込み』キーで時間帯1の現在の設定を表示します。 例) T1：時間帯1 1316：13時～16時
2 ▲アップ	16	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 0～23：0～23時
3 書込み	1016	『書込み』キーで確定します。
4 ▲アップ	1016	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 0～24：0～24時
5 書込み	2 ↓↑ 13 16	『書込み』キーで確定し、次のパターンの現在の設定を表示します。 例) T2：時間帯2 1316：13時～16時
手順2～5を繰り返して、他の時間帯も設定してください。		
6 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 最大4つの時間帯を設定できます。

注2. 「2-27. 冷し込み曜日パターン」の設定も行ってください。

モード2-27. 冷し込み曜日パターンの設定・確認

曜日毎に2-26で設定した時間帯を最大4つ選択します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	00 ↓↑ 0000	『書込み』キーで日曜日の設定を表示します。 例) 00：日曜日 0000：設定なし
2 ▲アップ	0000	『アップ』『ダウン』キーで1つ目の時間帯を選択します。
3 書込み	1000	『書込み』キーで確定します。
4 ▲アップ	1000	『アップ』『ダウン』キーで2つ目の時間帯を選択します。
5 書込み	1200	『書込み』キーで確定します。

6	▲アップ	1200	『アップ』『ダウン』キーで3つ目の時間帯を選択します。
7	書込み	1230	『書込み』キーで確定します。
8	▲アップ	1230	『アップ』『ダウン』キーで4つ目の時間帯を選択します。
9	書込み	01 ↓↑ 0000	『書込み』キーで確定し、次の曜日パターンを表示します。 例) 01：月曜日 0000：設定なし
手順2～9を繰り返して、他の曜日も設定してください。			
10	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 曜日番号 00：日曜日 01：月曜日 02：火曜日 03：水曜日
04：木曜日 05：金曜日 06：土曜日

モード2-28. 人感センサによる照明調光時間帯の設定・確認

人感センサ搭載機において本時間帯を設定すると、設定時間内で人がいない場合に照明を調光させることができます。

人感センサ非搭載機は設定を行わないでください。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	2205	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 2205：22時～5時
2 ▲アップ	2305	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 0～23：0～23時
3 書込み	2305	『書込み』キーで確定します。
4 ▲アップ	2305	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 00～24：00～24時
5 書込み	2306	『書込み』キーで確定します。
6 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 開始/終了時刻が同一の場合、タイマー機能は動作しません。

注2. 開始/終了時刻を00時/24時に設定すると終日有効となります。

注3. 「2-07. 照明調光時間帯」が設定されている場合は、そちらが優先となりますので、併せて設定をご確認ください。

3. 運転モード操作

モード3-01. コンプレッサー運転モードの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0：通常運転
2 ▲アップ	4	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0：通常運転 2：省エネ運転 3：タイマー運転 4：省エネ運転+タイマー運転
3 書込み	4	『書込み』キーで確定します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. タイマーの設定は「2-04. 冷却機節電時間帯」で行います。

モード3-03. 照明管切れ検知の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 使用しない
2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 使用しない 1: 使用する
3	書込み	1	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 設定を「1」とすると、照明スイッチに関係なくリモコンのキー操作（いずれのキーでも可）にて、照明部分および取出口照明（オプション）を点灯させます。

モード3-04. 売れ行き情報機能の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 使用しない
2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 使用しない 1: 使用する
3	書込み	1	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 設定を「1」とすると、「1-01. 金額表示器への表示内容」の設定は無効となり、本機能が動作します。

注2. 売れ行き情報機能は検知本数設定にて動作します。

必ず「3-05. 売れ行き情報検知本数」を設定してください。

モード3-05. 売れ行き情報検知本数の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0 1 ↓ ↑ 15	『書込み』キーで1番コラムの現在の設定を表示します。 例) 1番コラム: 15本
2	選択ボタン	0 4 ↓ ↑ 15	検知本数を確認したいコラムの『選択ボタン』を押すと、コラム番号と検知本数を交互表示します。 例) 4番コラム: 15本
3	▲アップ	0 4 ↓ ↑ 16	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0~99: 0本~99本
4	書込み	0 4 ↓ ↑ 16	『書込み』キーにて確定します。
5	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

●売れ行き情報の表示

商品の売れ行き状況により、販売可能ランプと売切ランプが下表のような状態になります。その後、コラム別の販売本数を確認します。

売れ行き状況	販売可能ランプ	売切ランプ	15本設定の場合
あまり売れていない	消灯	消灯	15本未満販売
指定本数以上売れた	点滅	消灯	15本以上販売
売り切れ	消灯	点灯	全て販売（売切）

	操作	表示器表示	操作方法
1	返却レバー 3秒以上	H	『返却レバー』を3秒以上、回し続けます。 商品の売れ行き状況によって、販売可能ランプと売切ランプが上記のような状態になります。
2	選択ボタン	0 4 ↓ ↑ 18	販売本数を確認したいコラムの『選択ボタン』を押すとコラム番号と販売本数を交互表示します。 例) 4番コラム: 18本販売
3	点検 / クリア 2秒以上	AAAA	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると情報がクリアされます。 ※全ての商品を必ず満杯にしてからクリア操作を実施してください。
4	返却レバー		『返却レバー』を回すと、待機状態に戻ります。

モード3-06. 売れ残り0本設定の設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 0本としない
2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 0本としない 1: 0本とする
3	書込み	1	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 本機能は売切時の売れ残り本数を0本にする機能の為に安全上（空打ち防止）次の動作を行いません。

停電復帰後、連続販売テスト後、搬出関係エラー発生の場合には売切スイッチの状態で売り切れの判定を行いません。

注2. 必ず「3-07. 売れ残り0本設定のコラム別設定」または「3-08. 売れ残り0本設定の庫室別設定」にて対象コラムを設定してください。

モード3-07. 売れ残り0本設定のコラム別設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	00	『書込み』キーで0本残りのコラム設定のモードになります。
2	選択ボタン	00	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムは売れ残り0本の対象に設定されます。 販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し、そのコラムは売れ残り0本の対象から解除されます。
3	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順2で『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、一括解除が行きます。

モード3-08. 売れ残り0本設定の庫室別設定・確認

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	00	『書込み』キーで0本残りの庫室設定のモードになります。
2	選択ボタン	00	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、その庫室のコラムは売れ残り0本の対象に設定されます。 販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消灯し、その庫室のコラムは売れ残り0本の対象から解除されます。
3	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順2にて『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、一括解除が行きます。

モード3-10. 照明点灯時間の表示・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	FL 1 ↓ H ↓ ↑ 2550	『書込み』キーで最上段の照明の点灯時間が表示されます。 例) 2550時間
2	▲アップ	FL 2 ↓ H ↓ ↑ 1750	『アップ』『ダウン』キーで他の照明の点灯時間を表示します。
3	点検 / クリア 2秒以上	H ↓ ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると表示されている照明の点灯時間がクリアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 照明の段数は自販機の上から数えた段数です。最大4とし、3段までしかない自販機は4段目のデータはダミーとなります。

注2. 照明交換時は必ずクリアしてください。

モード3-11. コインメック・ビルバリの投入/排出枚数の表示・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	i 10 ↓ n 12 ↓ ↑ 3456	『書込み』キーで10円硬貨の投入枚数を表示します。 例) 10円硬貨: 123,456枚
2	▲アップ	i 50 ↓ n 3 ↓ ↑ 4567	『アップ』『ダウン』キーで他の金種の投入/排出枚数を表示します。 [投入枚数] i 10 : 10円硬貨 i 50 : 50円硬貨 i 100 : 100円硬貨 i 500 : 500円硬貨 i 000 : 千円札及び2千円札 [排出枚数] o 10 : 10円硬貨 o 50 : 50円硬貨 o 100 : 100円硬貨 o 500 : 500円硬貨 o 000 : 千円札及び2千円札
3	点検 / クリア 2秒以上	n ↓ ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると表示されている金種によりコインメックまたはビルバリの投入/排出枚数がクリアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. i 10~i 500またはo 10~o 500を表示する時にクリアを行なうと、コインメックの投入/排出枚数がクリアされます。

i 000またはo 000を表示している時にクリアを行なうと、ビルバリの投入/排出枚数がクリアされます。

コインメック、ビルバリ交換時は必ずクリアしてください。

注2. 自動つり銭合わせ、インベントリー動作の投入/排出枚数のカウントは行なえません。

モード3-12. 搬出メカニズムの動作回数の表示・クリア

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	SL 1 ↓ n 12 ↓ ↑ 3456	『書込み』キーで1番コラムの搬出メカニズムの動作回数が表示されます。 例) 123,456回
2	▲アップ	SL 2 ↓ n 3 ↓ ↑ 4567	『アップ』『ダウン』キーで他のコラムを表示します。
3	点検 / クリア 2秒以上	n ↓ ↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると表示されているコラムの搬出メカニズムの動作回数がクリアされます。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 搬出メカニズムの動作回数は販売形態に関係なく搬出メカニズムが動作すればカウントします。

注2. 搬出メカニズムの交換時は必ずクリアしてください。

注3. 「End」表示中に『点検/クリア』キーを6秒以上押し続けると、全てのコラムの搬出メカニズムの動作回数がクリアされます。

モード3-13. 休日省エネオプションの設定・確認

休日省エネ機能について以下の動作を設定します。

- ①販売停止設定 ②加温停止設定
- ③冷却庫室販売休止時間 ④加温庫室販売休止時間

	操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください			
1	書込み	i 0	『書込み』キーで販売停止設定の現在の設定を表示します。 例) 0: 販売を停止しない
2	▲アップ	i 1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 停止しない 1: 停止する
3	書込み	2 0	『書込み』キーで定し、加温停止設定の現在の設定を表示します 例) 0: 停止しない (加温する)
4	▲アップ	2 1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 停止しない (加温する) 1: 停止する (加温しない)
5	書込み	3 0	『書込み』キーで確定し、冷却庫室販売休止時間の現在の設定を表示します。 例) 0: 0時間
6	▲アップ	3 24	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0~24: 0~24時間
7	書込み	4 0	『書込み』キーで確定し、加温庫室販売休止時間の現在の設定を表示します 例) 0: 0時間
8	▲アップ	4 24	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0~24: 0~24時間
9	書込み	i 1	『書込み』キーで確定し、販売停止設定の表示に戻ります。
10	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 休日省エネ機能は「2-13. 休日省エネ指定曜日」または「2-14. 休日省エネ長期休暇」にて設定します。

注2. 冷却庫室販売休止時間、加温庫室販売休止時間は休日省エネ終了後の各庫室の販売休止時間です。

モード3-14. 休日カレンダーの読出し/書き込み

USBメモリにあらかじめ作成した休日カレンダーデータ（CSVファイル）をコントローラに書き込むことにより、その設定で休日省エネ動作を行います。現在コントローラに書かれている休日カレンダーデータをUSBメモリに読み出すこともできます。

下記操作の前にUSBメモリをコントローラに接続してください。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	-	『書込み』キーで休日カレンダーの読出し/書き込みのモードになります。
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: USBメモリに読出す 1: コントローラへ書き込む
3 [書込み]	2秒以上	『書込み』キーを2秒以上押すことで、読出し/書き込み動作になります。
4	End	正常終了した場合
	Err	異常終了した場合
5 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. カレンダーは以下のフォーマットで作成してください。

20, 4	1行目: 開始時, 終了時 (0時~23時)
2010/02/03, 2010/02/15	2行目以降: 休日期間
2010/3/1, 2010/3/7	(開始年/月/日, 終了年/月/日)
:	
2011/12/20, 2012/1/11	※休日期間は最大80行まで設定可能です ※全て半角文字です。

注2. カレンダーデータのファイル名は「holiday.csv」とし、USBメモリのルートフォルダに保存してください。

注3. コントローラからUSBメモリへデータを読み出す場合に保存されるファイル名は「holiday.bak」です。

注4. 手順1、2、4の状態で『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、コントローラに書き込まれているカレンダーデータを一括クリアします。

モード3-15. ブザー音量の設定・確認

金額表示器のブザー音量を変更します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	□	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 切
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 切 1: 小 2: 大
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード3-16. 明るさ感度の設定・確認

照明点消灯判定に使用している明るさ検知感度を変更します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	□	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 遅い
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 遅い 1: 標準 2: 早い
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード3-17. 凝縮器ファン連続運転モードの設定・確認

凝縮器ファン（ガススクラファン）を連続運転させる機能

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	□	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 連続運転しない
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 連続運転しない 1: 連続運転する
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード3-18. リモコン・コントロールパネル操作規制の設定・確認

扉閉時にリモコン・コントロールパネルを操作不可とする機能の有効/無効を設定します。有効とした場合、扉閉後の操作可能時間も設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	□	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 無効（規制しない）
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 無効（規制しない） 1: 有効（規制する）
3 [書込み]	20	『書込み』キーで確定し、操作可能時間の現在の設定を表示します。 例) 20: 20分
4 [▲アップ]	30	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0~30: 30分
5 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
6 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順2で「1: 有効」を選択した場合のみ手順3の操作が可能です。

モード3-19. 交互ヒータカット機能の設定・確認

圧縮機稼働中、2つのヒータを同時に稼働させないことで、消費電力を抑えることができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	□	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: しない
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: しない 1: する
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード3-20. 販売休止連動急速冷温運転機能の設定・確認

急速冷却/加温運転を販売休止に連動して実施する設定ができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	□	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: しない
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: しない 1: する
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード3-21. ソーン拡大運転の設定・確認

ソーン拡大運転の機能を実施する／しない／自動起動の設定ができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	!	『書込み』キーで庫室番号を表示します。 例) 1: 左から1番目庫室
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 1~庫室数: 左からの庫室番号
3 [書込み]	0	『書込み』キーで確定します。
4 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: ソーン拡大運転しない 1: ソーン拡大運転する 2: 自動(販売本数)でソーン拡大運転する
5 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
6 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

4. カードモード操作

モード4-01. カード、コイン同時使用モードの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 同時使用しない
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 同時使用しない 1: 同時使用する
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード4-02. 0円カード処理の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 排出
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 排出 1: 取込
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード4-03. 部署別IDカード発行年の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	00	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 00: 2000年
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 90~99: 1990年~1999年 00~89: 2000年~2089年
3 [書込み]	0!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード4-04. 部署別IDカード発行月の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0!	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 01: 1月
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 01~12: 1月~12月 00: 機能無効
3 [書込み]	02	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード4-05. テストIDカードの登録・確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	↑ ↓ 102	『書込み』キーで登録No1に設定されているテストIDカード番号を表示します。 例) No1: 102
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 101~110
3 [書込み]	↑ ↓ 103	『書込み』キーで確定します。
4 [書込み]	↑ ↓ 105	『書込み』キーで登録Noが順送りされます。
5 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. テストIDカード番号をクリアする場合は、その番号が表示されている状態で、『点検/クリア』キーを2秒以上押ししてください。

注2. テストID番号が未登録の場合は「-」が表示されます。この時『アップ』キーを押すと101、『ダウン』キーを押すと110が表示されます。

モード4-06. 無効部署別IDカードの登録・確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	↑ ↓ 2	『書込み』キーで登録No1に設定されている無効部署別IDカード番号を表示します。
2 [▲アップ]	■	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 1~110 ※登録可能数は最大30です。
3 [書込み]	↑ ↓ 3	『書込み』キーで確定します。
4 [書込み]	↑ ↓ 12	『書込み』キーで登録Noが順送りされます。
5 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 無効部署別IDカード番号をクリアする場合は、その番号が表示されている状態で、『点検/クリア』キーを2秒以上押ししてください。

注2. 無効部署別ID番号が未登録の場合は「-」が表示されます。この時『アップ』キーを押すと1、『ダウン』キーを押すと110が表示されます。

モード4-07. カード使用上限金額の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	1234	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 1234: 123,400円

2	▲アップ	234	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 10万の桁：0～9
3	書込み	234	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	234	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 万の桁：0～9
5	書込み	234	『書込み』キーで確定します。
6	▲アップ	234	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 千の桁：0～9
7	書込み	234	『書込み』キーで確定します。
8	▲アップ	234	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 百の桁：0～9
9	書込み	2345	『書込み』キーで確定します。
10	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 「0000」に設定すると、使用上限は無制限となります。

モード4-08. 選択ボタンの先選択有効時間の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	15	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例)：15秒
2 ▲アップ	00	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0：先選択無効 1～255：1秒～255秒
3 書込み	30	『書込み』キーで確定します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

9. 共通モード操作

モード9-01. つり銭合わせの確認・払出し動作

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0	つり銭合わせモードが設定していないことを示します。『終了』キーを押して操作終了してください。
	----	全てのチューブで過不足がないことを示します。『終了』キーを押して操作を終了してください。
	10R ↓↑ 6	不足枚数がある場合は、最初のチューブの不足枚数を表示します。 例) 10円チューブ 不足6枚
	--	いずれかのチューブで設定枚数のオーバーがあることを表します。オーバーしていない場合は手順3の表示となります。
2 モードスタート/ストップ		『モード』キーを押すとオーバー分のつり銭を払い出します。払い出しを途中で止めたい場合は再度モードキーを押してください。
3 点検/クリア 2秒以上	10R ↓↑ 0	『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、不足枚数がクリアされます。 クリア操作を行う前に、つり銭チューブに不足分を補充してください。
	End ↓↑ 0	チューブ番号が「End」と表示されているときに『点検/クリア』キーを2秒以上押すと、すべてのチューブの枚数がクリアされます。
4 ▲アップ	50R ↓↑ 10	『アップ』『ダウン』キーで、チューブ番号を変更できます。 手順3に戻り繰り返してください。

5 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。
------	--	-------------------

注1. 確認の場合は『アップ』『ダウン』キーを押して、チューブを選んでください。この時に過不足のないチューブは表示されません。
注2. つり銭合わせ機能が付いていないコインメックが搭載されている場合は、つり銭合わせの設定をしても、機能しません。

モード9-02. つり銭合わせ枚数の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	10R ↓↑ 6	『書込み』キーでつり銭枚数の現在の設定を表示します。 例) 10円自動補給チューブ：6枚
2 ▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。
3 書込み	50R ↓↑ 11	『書込み』キーで確定し、次のチューブの設定を表示します。 例) 50円自動補給チューブ：11枚 設定する場合は手順2に戻り繰り返します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. チューブ番号は下記のとおりです。

番号	チューブ名	データ	備考
10A	10円自動補給チューブ	0～99枚	自動補給チューブでつり銭合わせを行わない場合は、99枚に設定する。
50A	50円自動補給チューブ	0～99枚	
100A	100円自動補給チューブ	0～99枚	
500A	500円自動補給チューブ	0～99枚	
10H	10円手動補給チューブ	0～999枚	手動補給チューブでつり銭合わせを行わない場合は、999枚に設定する。
50H	50円手動補給チューブ	0～999枚	
100H	100円手動補給チューブ	0～999枚	
500H	500円手動補給チューブ	0～999枚	

モード9-03. つり銭合わせモードの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0：つり銭合わせしない
2 ▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0：つり銭合わせしない 1：チューブイン方式 2：残量一定方式
3 書込み	!	『書込み』キーで確定します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-04. コラムセクション配線モードの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	!	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 1：固定パターン1
2 ▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 1：固定パターン1 2：固定パターン2 3：可変パターン1 4：可変パターン2
3 書込み	3	『書込み』キーで確定します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. パターンの切り換えを行うと、交互販売設定はクリアされます。

注2. パターンの記憶はコラムセクション配線のみです。

- 注3. 固定パターン1、2への書き込みは出来ません。
 注4. 出荷時パターンにする場合は「1:固定パターン1」を設定してください。

モード9-05. 過去の故障の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで過去の故障を表示します。 - 過去の故障が無いことを表します。 『終了』キーを押して操作を終了してください。
	10	『書込み』キーで過去の発生したエラーコードの最若番を表示します。 例) 10: コインメカ通信異常
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで次のエラーコードを表示します。例) 16: コイン払い出し異常
3	点検 / クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、過去の故障がクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-06. 前回販売内容の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで前回の投入金額を表示します。 例) 01前回投入金額: 500円
	01 ↓↑ 500	
2	書込み	『書込み』キーで前回の販売金額を表示します。 例) 02前回販売金額: 110円
	02 ↓↑ 110	
3	書込み	『書込み』キーで前回の払出残金を表示します。 例) 03払出残金: 0円(つり銭は正常に返却)
	03 ↓↑ 0	
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 手順1～3のいずれの状態でも『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると前回販売情報は一括クリアされます。

モード9-07. 照明節電モードの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーにて現在の設定値を表示します。 例) 0: 周囲が明るい時に消灯
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 周囲が明るい時に消灯 1: タイマー設定時間内 または周囲が明るい時に消灯 2: タイマー設定時間内 かつ周囲が明るい時に消灯 3: タイマーのみで消灯 4: 常時消灯 5: 常時点灯
3	書込み	『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. タイマーの設定は「9-08. 照明節電時間帯(消灯時間帯)」でおこないます。

- 注2. 『照明に関する設定例』を併せて、ご確認してください。

モード9-08. 照明節電時間帯(消灯時間帯)の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーにて節電時間帯を表示します。 例) 0419: 4時～19時
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 設定範囲0～23: 0時～23時
3	書込み	『書込み』キーにて確定します。
4	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 設定範囲0～24: 0時～24時
5	書込み	『書込み』キーで確定します。
6	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 開始時刻＝消灯終了に設定した場合はタイマー機能が働きません。

- 注2. タイマーを使用する場合は9-07. 照明節電モードの設定を「1」～「3」にしてください。

- 注3. 『照明に関する設定例』を併せて、ご確認してください。

モード9-09. コラム別補給数の確認・クリア

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで補給数モードとなります。
2	選択ボタン	補給数を確認したいコラムの『選択ボタン』を押すとコラム番号と補給数を交互表示します。
3	点検 / クリア 2秒以上	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、表示されているコラムの補給数がクリアされます。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 手順1にて『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全コラムの補給数がクリアされ、表示器には「H 0」と表示されます。

モード9-10. コラム別満杯収容数の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで1番コラムの満杯数を表示します。1 番コラムの選択ボタンの販売可能ランプも点灯します。
2	選択ボタン	満杯数を確認したいコラムの『選択ボタン』を押すとコラム番号と満杯数を交互表示します。
3	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで設定を変更します。 0～99: 0本～99本
4	書込み	『書込み』キーにて確定します。
5	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-11. まとめ買い本数の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 1: 1本

2	▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 無制限 1~9: 1本~9本
3	書込み	2	『書込み』キーで確定します。
4	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-12. つり銭自動返却時間の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	15 『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 15秒
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 無制限 1~30: 1~30秒
3	書込み	20 『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-13. 売上集計グループの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	0001 『書込み』キーにて売上集計グループのグループ番号1が表示され、そのグループに設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。
2	選択ボタン	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムが設定されます。また、販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと、販売可能ランプが消え、そのコラムは解除されます。複数コラムが選択可能です。
3	▲アップ	0004 『アップ』『ダウン』キーで、集計グループの選択をおこないます。 設定する場合は、手順2に戻り繰り返します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 集計グループは1~10グループまで設定可能です。

注2. 手順1~3にて『点検/クリア』キーを2秒以上押すことで集計グループを一括クリアします。

モード9-14. スクールタイマー販売時間帯の設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	1 H 『書込み』キーで販売時間帯のパターン1の販売開始時刻を表示します。 例) 開始時刻: 8時00分
2	▲アップ	0000 『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 00~24: 0時~24時
3	書込み	0900 『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ	0900 『アップ』『ダウン』キーで開始分を変更します。 00~59: 00分~59分
5	書込み	1 L 『書込み』キーで販売時間帯のパターン1の販売開始時間を確定し、販売終了時刻を表示します。 例) 終了時刻: 8時00分
6	▲アップ	0900 『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 00~24: 0時~24時
7	書込み	0900 『書込み』キーにて確定します。
8	▲アップ	0949 『アップ』『ダウン』キーで終了分を変更します。 00~59: 00分~59分

9	書込み	2 H 『書込み』キーで確定し、パターン2の販売開始時刻を表示します。
手順2~8と同様に設定してください。		
10	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 販売時間帯は最大9パターンまで入力できますが、9パターン未満で使用する場合は未使用パターンに時刻設定する必要はありません。

注2. 時間は24時間表示です。

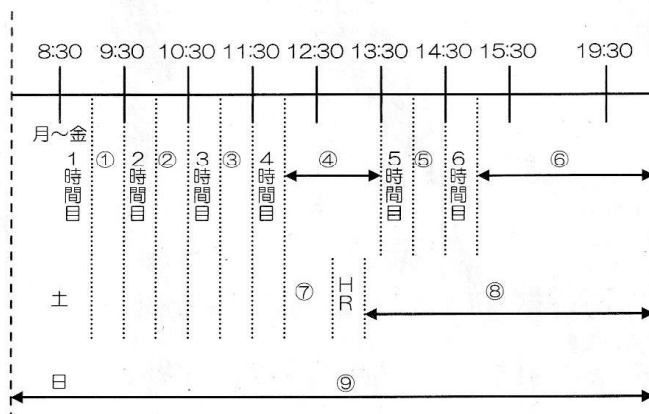
注3. モード「9-15. スクールタイマー曜日別販売パターン」を併せて設定してください。

モード9-15. スクールタイマー曜日別販売パターンの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	00 H 『書込み』キーで曜日別販売時刻パターンの上位4桁を表示します。 曜日パターン 00: 日曜日 01: 月曜日 02: 火曜日 03: 水曜日 04: 木曜日 05: 金曜日 06: 土曜日
2	▲アップ	0000 『アップ』『ダウン』キーで時間パターンを変更します。
3	書込み	1000 『書込み』キーにて4桁目の時間パターンを確定します。
4	▲アップ	1000 『アップ』『ダウン』キーで時間パターンを変更します。
5	書込み	1200 『書込み』キーにて3桁目の時間パターンを確定します。
6	▲アップ	1200 『アップ』『ダウン』キーで時間パターンを変更します。
7	書込み	1230 『書込み』キーにて2桁目の時間パターンを確定します。
8	▲アップ	1230 『アップ』『ダウン』キーで時間パターンを変更します。
9	書込み	00 L 『書込み』キーにて1桁目の時間パターンを確定し、曜日別販売時刻パターンの下位4桁を表示します。
手順2~8と同様に設定してください。		
10	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

●スクールタイマの例

例) 学校の場合 (①~⑨の時間のみ販売したいとき)



1. 販売時刻を設定します。

※「モード9-14」を参照してください

コード	パターン	販売開始時刻 (H)	販売終了時刻 (L)	
T1	①	9:20	9:30	時刻パターンNo1
T2	②	10:20	10:30	時刻パターンNo2
T3	③	11:20	11:30	時刻パターンNo3
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
T7	⑦	12:20	12:30	時刻パターンNo7
T8	⑧	13:00	19:00	時刻パターンNo8
T9	⑨	0:00	24:00	時刻パターンNo9

以上の9パターンのうち、最大8パターンを曜日別に設定できます。

2. 曜日別に販売時刻パターンを設定します。

※「モード9-15」を参照してください

コードNo	内容 (パターン)	H	L
00	日曜日 : ⑨	9000	0000
01~05	月曜日~金曜日 : ①②③④⑤⑥	1234	5600
06	土曜日 : ①②③⑦⑧	1237	8000

※00:日曜日 01:月曜日 02:火曜日 03:水曜日

04:木曜日 05:金曜日 06:土曜日

注1. スクールタイマーによる販売規制中は、すべての売切れランプが点灯します。

注2. タイマー時刻は24時間表示で入力してください。

注3. スクールタイマーの販売時刻設定は翌日に渡ってはできません。

注4. モード2-01で、現在時刻を確認してください。

モード9-16. 最左庫室の設定温度の確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	54.05	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 加温設定: 54℃ 冷却設定: 5℃
2 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-17. 左から2番目庫室の設定温度の確認

モード9-16と同様の操作となります。

モード9-18. 左から3番目庫室の設定温度の確認

モード9-16と同様の操作となります。

モード9-20. 左から4番目庫室の設定温度の確認

モード9-16と同様の操作となります。

モード9-19. ホット商品管理データの設定・確認

(1) ホット商品管理データの設定・確認

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0	『書込み』キーにて現在の設定値を表示します。 例) 0:0本
2 [▲アップ]	5	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0~99:0~99本

3	[選択ボタン]	6	販売可能ランプが消灯している『選択ボタン』を押すと販売可能ランプが点灯し、そのコラムの目標本数が現在表示されている本数に設定されます。 また、販売可能ランプが点灯している『選択ボタン』を押すと販売可能ランプが消灯し、そのコラムの目標本数が0(管理外)になります。
4	[終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注. 売上目標本数を設定した時から管理用売上本数がカウントされます。

(2) ホット商品管理コラムの売上状態の確認・クリア

●売上不調コラムがない場合

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み] 2秒以上	0	『書込み』キーを2秒以上押すと、ホット商品の売上状態確認になります。 売上不調コラムがない場合は、デジタル表示器に『0』が表示され、売切れランプは消灯します。
2 [点検/クリア] 2秒以上	5	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、売上データがクリアされます。
3 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

●売上不調コラムがある場合

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み] 2秒以上		『書込み』キーを2秒以上押すと、ホット商品の売上状態確認になります。 - 売上不調コラムがある場合は、デジタル表示器に『0』が表示され、売上不調コラムの売切れランプが点滅します。
2 [選択ボタン]	3 ↓ 5	売切れランプが点滅している『選択ボタン』を押すと、コラム番号と目標未達本数が表示されます。 例) No3コラム: 5本
3 [点検/クリア] 2秒以上	00	『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、売上データがクリアされます。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 点検/クリアキー連続押しでの売上本数クリアは、書込みキー2秒以上押ししてから終了の間のみ有効です。

注2. 管理用売上本数の集計は、確認時点での売上本数となります。

売上目標本数を設定した直後に確認をした場合は、売上0のために、設定コラムは全て売上不調コラムとなります。

注3. 管理用売上本数は、搬出動作にてカウントします。

モード9-23. コイン投入時照明点灯の設定・確認

コイン投入時に照明を点灯して商品を見やすくする機能です。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0	『書込み』キーにて現在の設定値を表示します。 例) 0: コイン投入と連動しない
2 [書込み]	1	『書込み』キーを押すと、設定待ちとなります。
3 [▲アップ]	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: コイン投入と連動しない 1: コイン投入と連動する
4 [書込み]	1	『書込み』キーにて確定します。
5 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 照明スイッチが自動点灯になっていないと動作しません。
 注2. 必要に応じて下記モード操作をおこない設定を変更してください。
 ・モード9-07. 照明節電モード
 ・モード9-08. 照明節電時間帯(消灯時間帯)

モード9-24. 販売停止日管理売切表示の設定・確認

販売停止日を超過した商品の販売を停止する機能です。超過した場合は該当コラムの売切灯を点灯し販売停止にします。

モード2-15または2-16にて販売停止日を設定してください。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0	『書込み』キーにて現在の設定値を表示します。 例) 0: 売切にしない
2 [▲アップ]	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 売切にしない 1: 売切にする
3 [書込み]	!	『書込み』キーにて確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-25. スクールタイマーの一時無効設定

スクールタイマーの一時無効を設定できます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 0: 一時無効としない
2 [▲アップ]	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 一時無効としない 1: 一時無効とする
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-30. COOL制御の設定・確認

庫室別にCOOL制御をする/しないを設定することができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	!	『書込み』キーを押すと、庫室番号を表示します。 例) 1: 左庫室
2 [▲アップ]	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 1: 左庫室 2: 中庫室 3: 右庫室
3 [書込み]	0	『書込み』キーを押すと、現在の設定値を表示します。 例) 0: しない
4 [▲アップ]	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: しない 1: する
5 [書込み]	!	『書込み』キーを押すと、次の庫室番号を表示します。 例) 1: 左庫室
6 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 庫室数は、製品により異なります。
 注2. 物販庫室の場合リモコンでの、する/しないの設定はできません。
 コントロールパネルの冷温スイッチにて変更してください。

モード9-31. COOL庫室の設定温度の確認

COOL庫室の設定温度を確認できます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	20	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 20: 20℃
2 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-38. ライティングパネルアウトラインLED点灯方法の設定・確認

ライティングパネルアウトラインLEDの点灯方法を設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 販売中ランプと連動
2 [▲アップ]	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 販売中ランプと連動 1: 暗い時点灯 2: 照明と正制御 (照明点灯中に点灯) 3: 照明と逆制御 (照明点灯中に消灯) 4: 常時消灯 5: 常時点灯
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-39. ライティングパネル投入口LED点灯方法の設定・確認

ライティングパネル投入口LEDの点灯方法を設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	0	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0: 販売中ランプと連動
2 [▲アップ]	1	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0: 販売中ランプと連動 1: 暗い時点灯 2: 照明と正制御 (照明点灯中に点灯) 3: 照明と逆制御 (照明点灯中に消灯) 4: 常時消灯 5: 常時点灯
3 [書込み]	!	『書込み』キーで確定します。
4 [終了]		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-41. 電源投入日時の確認

過去10回分の電源投入日時を確認できます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 [書込み]	01 ↓ 2012 ↓ 0803 ↓ 0942 (ループ表示)	『書込み』キーで電源投入日時を表示します。 例) 01 : 1回前の電源投入 2012 : 2012年 0803 : 08月03日 0942 : 09時42分

2	▲アップ	05 ↓ 20 12 ↓ 0201 ↓ 0731 (ループ表示)	『アップ』『ダウン』キーで電源投入日時番号を変更します。 例) 05 : 5回前の電源投入 2012 : 2012年 0201 : 02月01日 0731 : 07時31分
3	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-42. 電源遮断日時の確認

過去10回分の電源遮断日時を確認できます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで電源遮断日時を表示します。 例) 01 : 1回前の電源遮断 2012 : 2012年 0805 : 08月05日 1023 : 10時23分 (ループ表示)
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで電源遮断日時番号を変更します。 例) 05 : 5回前の電源遮断 2012 : 2012年 0203 : 02月03日 0830 : 08時30分 (ループ表示)
3	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-43. 人感センサ入力状態の確認

人感センサの入力状態を金額表示器に表示します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現在の状態を表示します。 0 : 検知無し 1 : 検知有り - : 人感センサ異常
2	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-44. 選択ボタン表示部の輝度の設定・確認

デジタル表示部を内蔵した選択ボタンを搭載した機種専用の機能です。

販売待機時及び、人検知時の選択ボタン表示部の輝度を設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで販売待機中の現在の設定値を表示します。 例) 1 : 暗い
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0 : 消灯 1 : 暗い 2 : 普通 3 : 明るい
3	書込み	『書込み』キーで確定し、人検知時の設定値を表示します。 例) 2 : 普通

4	▲アップ	2	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0 : 消灯 1 : 暗い 2 : 普通 3 : 明るい 4 : 自動
5	書込み	1 2	『書込み』キーで確定し、販売待機中の設定値の表示に戻ります。
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 「4 : 自動」とした場合、周囲の明るさにより自動で輝度が切り替わります。
周囲が明るい時は「3 : 明るい」、周囲が暗い時は「2 : 普通」で動作します。

モード9-45. 照明調光レベルの設定・確認

照明調光時の調光率（調光レベル）を設定できます。

多段階調光制御の場合のみ設定できます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0 : 照明調光率10%
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0 : 照明調光率10% 1 : 照明調光率25% 2 : 照明調光率50%
3	書込み	『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

モード9-79. 販売履歴の確認

販売履歴の確認を行います。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで履歴番号1番の販売月日を表示します。 01 : 履歴番号1番 1 : 販売月日 0115 : 1月15日
2	▲アップ	『アップ』キーで販売時刻を表示します。 2 : 販売時刻 1234 : 12時34分
3	▲アップ	『アップ』キーで投入金額を表示します。 3 : 投入金額 200 : 200円
4	▲アップ	『アップ』キーで販売金額を表示します。 4 : 販売金額 150 : 150円
5	▲アップ	『アップ』キーで残金額を表示します。 5 : 残金額 50 : 50円
6	▲アップ	『アップ』キーで販売コラムを表示します。 6 : 販売コラム 8 : 8番コラム
7	▲アップ	『アップ』キーでエラー番号を表示します。 7 : エラー番号 10 : コインメック通信異常
8	▲アップ	『アップ』キーでエラー詳細情報を表示します。 8 : エラー詳細情報 0 : 発生タイミング 20 : 発生状態

9	▲アップ	02 ↓ ↑ 0115	『アップ』キーで履歴番号2番の販売月日を表示します。 02:履歴番号2番 1:販売月日 0115:1月15日
10	▲アップ	.	『アップ』『ダウン』キーで他の履歴を確認します。
11	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. アップ、ダウンキーで詳細情報を8種類まで表示できます。
 注2. 販売の履歴は過去100回まで記憶されます。
 注3. エラー番号は金銭が投入されてから投入金がなしの状態になるまでに最初に発生したエラーコードが表示されます。(通常は0です。)
 エラー番号についてはエラーコード表をご確認ください。
 注4. エラー詳細情報は故障が発生したタイミングと状態を表示します。
- ・発生タイミング
 0:返金動作中 1:販売中
 - ・発生した状態
 00:待機状態 10:併用販売不可時の一方端末の排出
 20:エスクロ状態 50:精算状態
 60:精算方法確定後 80:マルチバンド状態
 90:クレイムオン後エスクロ状態 A0:先収金状態
 b0:後収金状態 C0:カード引き落とし状態
 E0:引き抜き等による金銭情報クリア状態
 F0:収金終了後の状態

モード9-97 (1). 選択ボタン番号の初期設定

選択ボタンの初期設定を行います。

メインコントローラ交換、または全選択ボタンを交換した場合に本設定を行ってください。補助ボタンを取り付けた場合および取り外した場合も本設定を行ってください。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み		『書込み』キーで現在の状態を表示します。 未設定の場合は何も表示されません。
	!	『書込み』キーで現在の状態を表示します。 設定済みの場合、「1」を表示します。
2 書込み 2秒以上	!	『書込み』キーを2秒以上押すと、選択ボタン番号の初期設定モードになり、選択ボタン番号1が表示されます。
3 選択ボタン	※※ ↑ 選択ボタン 番号	自販機正面から見て左上から右下の選択ボタンまで順番に全ての『選択ボタン』押してください。 注) ・選択ボタンを押すと、売切ランプと準備中ランプが点灯後、販売可能ランプが点灯します。 ・選択ボタンを押すごとに、選択ボタン番号が順送りされます。
4 選択ボタン	End	右下の『選択ボタン』を押すと、Endを表示します。
5 補助ボタン	※※ ↑ 補助ボタン 番号	引き続き左上から右下の補助ボタンまで順番に全ての『補助ボタン』を押してください。
6 補助ボタン	End	右下の『補助ボタン』を押すと、Endを表示します。
7 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 本設定を行っても、コラムセレクション配線設定に影響はありません。
(初期化や変更は行われません。)
 注2. 本設定を行った場合、9-97 (2) にて選択ボタン番号の確認を行ってください。
 注3. 補助ボタンが無い場合は手順5、6は不要です。

注4. 補助ボタンをご使用する場合、機種によりメインコントローラのデータ書き換えが必要な場合があります。

モード9-97 (2). 選択ボタン番号の確認

選択ボタン番号を確認します。

選択ボタン番号の初期設定、または選択ボタン交換時の設定を行った場合、本操作にて選択ボタン番号の確認を行ってください。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	!	『書込み』キーで現在の状態を表示します。 設定済みのため「1」を表示します。
2 ▲アップ	!	『アップ』『ダウン』キーで「2」を表示させます。
3 書込み 2秒以上		『書込み』キーを2秒以上押すと、選択ボタン番号の確認モードになります。
4 選択ボタン	※※ ↑ 選択ボタン 番号	任意の『選択ボタン』を押すと、選択ボタン番号の1番から順に一つずつ販売可能ランプが点灯します。 その後、全ての販売可能ランプが点灯し、全ての売切ランプと準備中ランプも点灯します。 自動的に待機状態に戻ります。

- 注1. 選択ボタン番号は自販機正面から見て上段左端が1番です。
 以下、右に向かって2番、3番、4番・・・と続き、下段右端に最後の番号が割り当てられていることを確認してください。

モード9-97 (3). 選択ボタン交換時の設定

選択ボタン交換時に、選択ボタン番号の一部再設定をします。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	!	『書込み』キーで現在の状態を表示します。 設定済みのため「1」を表示します。
2 ▲アップ	!	『アップ』『ダウン』キーで「3」を表示させます。
3 書込み 2秒以上	※※ ↑ 選択ボタン 番号	『書込み』キーを2秒以上押すと、選択ボタン交換時の設定モードとなります。 交換した選択ボタン以外の選択ボタンの販売可能ランプが点灯し、交換した選択ボタン番号の最若番を表示します。
4 選択ボタン	※※ ↑ 選択ボタン 番号	交換した『選択ボタン』を左上から右下まで順番に全て押してください。 注) ・選択ボタンを押すと、売切ランプと準備中ランプが点灯後、販売可能ランプが点灯します。 ・選択ボタンを押すごとに、選択ボタン番号が順送りされます。
5 選択ボタン	End	右下の『選択ボタン』を押すと、Endを表示します。
6 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

- 注1. 本設定を行っても、コラムセレクション配線設定に影響はありません。
(初期化や変更は行われません。)
 注2. 本設定を行った場合、9-97 (2) にて選択ボタン番号の確認を行ってください。

E. オリジナルモード操作

●ピーク電力カット機能

夏場の午前中に通常より低い温度で冷やし込み（シフト動作）、午後の時間帯に冷却機を停止させる（カット動作）ことで電力消費のピークを抑える機能です。工場出荷時は、7月1日～9月30日の平日10：00～13：00にシフト動作し、13：00～16：00にカット動作します。（工場出荷時に設定されていない機種もあります）

モードE-01～E-04を設定することにより、上記以外の期間、時間帯にもシフト、カット動作をさせることができます。

E-01. ピーク電力カット期間の設定・確認

ピーク電力カットの期間を設定することができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0701	『書込み』キーで現在の開始月日を表示します。 例) 0701：7月1日
2 ▲アップ	0701	『アップ』『ダウン』キーで開始月の設定をおこないます。 設定範囲0～12：0～12月
3 書込み	0601	『書込み』キーにて開始月を確定します。
4 ▲アップ	0601	『アップ』『ダウン』キーで開始日の設定をおこないます。 設定範囲0～31：0～31日
5 書込み	0930	『書込み』キーにて開始日を確定し、終了月日を表示します。 例) 0930：9月30日
6 ▲アップ	0930	『アップ』『ダウン』キーで終了月の設定をおこないます。 設定範囲0～12：0～12月
7 書込み	1001	『書込み』キーにて終了月を確定します。
8 ▲アップ	1001	『アップ』『ダウン』キーで終了日の設定をおこないます。 設定範囲0～31：0～31日
9 書込み	0620	『書込み』キーにて開始月日の表示に戻ります。
10 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

E-02. ピーク電力カット時間帯/シフト時間の設定・確認

ピーク電力カット時間帯とシフト時間を設定することができます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	13 16 ↓ 2	『書込み』キーで現在の設定値を表示します。 例) T1：パターン1 1316：カット時間帯 13時～16時 2：シフト時間 2時間
2 ▲アップ	13 16	『アップ』『ダウン』キーでカット開始時の設定をおこないます。 設定範囲0～23：0～23時
3 書込み	1600	『書込み』キーにて開始時を確定します。
4 ▲アップ	1600	『アップ』『ダウン』キーで終了時の設定をおこないます。 設定範囲0～24：0～24時
5 書込み	02	『書込み』キーにてカット終了時を確定し、シフト時間を表示します。 例) 2：2時間

6 ▲アップ	02	『アップ』『ダウン』キーでシフト時間の設定をおこないます。 設定範囲0～5：0～5時間
7 書込み	13 16 ↓ 2	『書込み』キーにてシフト時間を確定し、次のパターンの設定値を表示します。 例) T2：パターン2 1316：カット時間帯 13時～16時 2：シフト時間 2時間
8 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

パターン2～4を設定する場合は、手順2～7と同等な操作を実施してください。

注1. 最大4パターン設定できます。

E-03. ピーク電力カット実施日の設定・確認

ピーク電力カットの実施日を設定できます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0	『書込み』キーで現在の設定値を表示します。 例) 0：平日のみ
2 ▲アップ	0	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0：平日のみ（土日、祝祭日を除く） 1：連日
3 書込み	1	『書込み』キーで確定します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

E-04. ピーク電力カット終了温度の設定・確認

ピーク電力カットの終了温度を設定できます。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	8	『書込み』キーで現在の設定値を表示します。 例) 8：8℃
2 ▲アップ	08	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0～10：0～10℃
3 書込み	10	『書込み』キーで確定します。
4 終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 手順1でクリアキーを2秒以上押すと、出荷時の温度に戻ります。

●曜日別冷却節電について

曜日毎に冷却機を停止させることができます。

E-05で実施する期間を設定します。

E-06で最大4つの時間帯を設定します。

E-07で曜日毎にE-06で設定した時間帯を選択します。

モードE-05. 曜日別冷却節電期間の設定

冷却機節電する開始日と終了日を設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1 書込み	0701	『書込み』キーで開始月日の現在の設定を表示します。 例) 0701：7月1日
2 ▲アップ	0701	『アップ』『ダウン』キーで開始月を変更します。 0～12：0～12月
3 書込み	0601	『書込み』キーにて確定します。
4 ▲アップ	0601	『アップ』『ダウン』キーで開始日を変更します。 0～31：0～31日

5	書込み	0930	『書込み』キーで確定し、終了月日の現在の設定を表示します。 例) 0930: 9月30日
同様に終了月日を設定してください。			
6	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

モードE-06. 曜日別冷却節電時間帯の設定
冷却節電する時間帯を設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み ↑ ↓ 13 16	『書込み』キーで時間帯1の開始時刻の現在の設定を表示します。 例) T1: 時間帯1 1316: 13時~16時
2	▲アップ 10 16	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 0~23: 0~23時
3	書込み 10 16	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ 10 16	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 0~24: 0~24時
5	書込み ↑ ↓ 13 16	『書込み』キーで確定し、次の時間帯の設定を表示します。 例) T2: 時間帯2 1316: 13時~16時
手順2~5を繰り返して、他の時間帯を設定してください。		
6	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 最大4つの時間帯を設定できます。

モードE-07. 曜日別冷却節電曜日別パターンの設定
曜日にE-06で設定した時間帯を最大4つ選択します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み ↑ ↓ 00 00	『書込み』キーで日曜日の設定を表示します。 例) 00: 日曜日 0000: 設定なし
2	▲アップ 00 00	『アップ』『ダウン』キーで1つ目の時間帯を選択します。
3	書込み 10 00	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ 10 00	『アップ』『ダウン』キーで2つ目の時間帯を選択します。
5	書込み 12 00	『書込み』キーで確定します。
6	▲アップ 12 00	『アップ』『ダウン』キーで3つ目の時間帯を選択します。
7	書込み 12 30	『書込み』キーで確定します。
8	▲アップ 12 30	『アップ』『ダウン』キーで4つ目の時間帯を選択します。
9	書込み ↑ ↓ 01 00	『書込み』キーで確定し、次の曜日時間帯を表示します。 例) 01: 月曜日 0000: 設定なし
手順2~9と同様に設定してください。		
10	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 曜日番号 00: 日曜日 01: 月曜日 02: 火曜日
03: 水曜日 04: 木曜日 05: 金曜日
06: 土曜日

●曜日別加温節電機能

曜日にヒータを停止させることができます。

E-08で実施する期間を設定します。

E-09で最大4つの時間帯を設定します。

E-10で曜日にE-09で設定した時間帯を選択します。

モードE-08. 曜日別加温節電期間の設定

モードE-05. 曜日別冷却節電期間の設定と同様の操作になります。

モードE-09. 曜日別加温節電時間帯の設定

モードE-06. 曜日別冷却節電時間帯の設定と同様の操作になります。

モードE-10. 曜日別加温節電曜日別パターンの設定

モードE-07. 曜日別冷却節電曜日別パターンの設定と同様の操作になります。

●ぬるめ補正機能

庫内温度を冷却庫室であれば高めに、加温庫室であれば低めに動作させます。

E-11で時間帯を設定します。

E-12で曜日にE-11で設定した時間帯を選択します。

E-13でぬるめ補正実施条件を設定します。

E-14で実施条件を設定します。

モードE-11. ぬるめ補正時間帯の設定

ぬるめ補正を行う時間帯を設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み ↑ ↓ 13 16	『書込み』キーで時間帯1の開始時刻の現在の設定を表示します。 例) T1: 時間帯1 1316: 13時~16時 注1. 最大4つの時間帯を設定できます。
2	▲アップ 10 16	『アップ』『ダウン』キーで開始時を変更します。 0~23: 0~23時
3	書込み 10 16	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ 10 16	『アップ』『ダウン』キーで終了時を変更します。 0~24: 0~24時
5	書込み ↑ ↓ 13 16	『書込み』キーで確定し、次の時間帯の設定を表示します。 例) T2: 時間帯2 1316: 13時~16時
手順2~5を繰り返して、他の時間帯を設定してください。		
6	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 最大4つの時間帯を設定できます。

モードE-12. ぬるめ補正曜日別パターンの設定

曜日にE-11で設定した時間帯を最大4つ選択します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み ↑ ↓ 00 00	『書込み』キーで日曜日の設定を表示します。 例) 00: 日曜日 0000: 設定なし
2	▲アップ 00 00	『アップ』『ダウン』キーで1つ目の時間帯を選択します。
3	書込み 10 00	『書込み』キーで確定します。
4	▲アップ 10 00	『アップ』『ダウン』キーで2つ目の時間帯を選択します。
5	書込み 12 00	『書込み』キーで確定します。

6	▲アップ	12 00	『アップ』『ダウン』キーで3つ目の時間帯を選択します。
7	書込み	123 0	『書込み』キーで確定します。
8	▲アップ	123 0	『アップ』『ダウン』キーで4つ目の時間帯を選択します。
9	書込み	01 ↓↑ 0000	『書込み』キーで確定し、次の曜日パターンを表示します。 例) 01:月曜日 0000:設定なし
手順2～9と同様に設定してください。			
10	終了		『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 曜日番号 00:日曜日 01:月曜日 02:火曜日
03:水曜日 04:木曜日 05:金曜日
06:土曜日

モードE-13. めるめ補正温度の設定・確認

庫室毎に冷却および加温のめるめ補正温度を設定します。

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーを押すと、左から1番目庫室の冷却の設定値を表示します。 例) C1:左庫室の冷却補正温度 2:2℃
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで設定する項目を選択します。 C1:左庫室の冷却補正温度 C2:中庫室の冷却補正温度 C3:右庫室の冷却補正温度 H1:左庫室の加温補正温度 H2:中庫室の加温補正温度 H3:右庫室の加温補正温度
3	書込み	『書込み』キーを押すと、項目が確定し、現在の設定値を表示します。 例) C3:右庫室の冷却補正温度 2:0℃
4	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで補正温度を変更します。 0~7:0~7℃
5	書込み	『書込み』キーを押すと、補正温度が確定し、次の項目を表示します。 例) H1:左庫室の加温補正温度 2:2℃
手順2～5を繰り返して、他の庫室も設定してください。		
6	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 2庫室機の場合はC2、H2が右庫室に対応しC3、H3は表示されません。

モードE-14. めるめ補正実施条件の設定

操作	表示器表示	操作方法
「●モード操作の基本」を参照してモードに入ってください		
1	書込み	『書込み』キーで現在の設定を表示します。 例) 0:常時補正
2	▲アップ	『アップ』『ダウン』キーで変更します。 0:常時補正 1:外気温で補正
3	書込み	『書込み』キーで確定します。
4	終了	『終了』キーで待機状態に戻ります。

注1. 「1:外気温で補正」とした場合、冷却のめるめ運転は外気温が高いとき(目安:30℃以上)のみ実施します。加温運転のめるめ運転は、外気温が低いとき(目安:10℃以下)のみ実施します。

●切換キー操作

切換キーを押すたびにテンキーの使用方法が「カウンタ機能⇄交互販売」に切り換わります

	リモコン液晶	操作方法
1		販売待機時は時計とトータルカウンタを表示しています。 テンキーはカウンタとして使用できます。
2		『切換』キーを1回押します。 交互販売設定となります。 テンキーは交互販売グループの指定に使用できます。
3		もう一度『切換』キーを押します。 時計とトータルカウンタ表示となります。 テンキーはカウンタとして使用できます。
4	切換キーを押すたびに、切り換わります。	

注1. 手順2の状態30秒間無操作の場合、自動で販売待機状態に戻ります。

●一括解除キー操作

交互販売グループの一括解除が行えます。

	リモコン液晶	操作方法
1		『交互販売』キーまたは『切換』キーを押して、 交互販売設定とします。
2		『一括解除』キーを2秒以上押し続けると、どのグループ番号表示中でも全ての交互販売設定がクリアされ、手順1の状態に戻ります。
3		『終了』キーを押すと、待機状態に戻ります。

●テンキー操作

テンキーには以下の3種類の機能があります。

1. カウンタ機能
待機時にテンキーを押すことにより、そのキーに対応したカウンタ値をリモコン液晶に表示します。
2. ダイレクト設定1 (テンキーを用いた専用キー操作) 「テスト」「売上集計」「販売休止」「交互販売」「価格設定」はテンキー操作と組み合わせた操作により、ダイレクトに操作可能です。
3. ダイレクト設定2 (テンキーを用いたモードキー操作) モード選択、項目選択にテンキーを用いて、素早く目的の機能を指定できます。

1. カウンタ機能

	リモコン液晶	操作方法
1		販売待機状態で液晶上段は時計表示を行います。 液晶下段はトータルカウンタを表示します。
2	カウンタ集計条件が「0：グループ別」 	『3』キーを押します。 上段：表示無し 下段：グループ3のカウンタ値
	カウンタ集計条件が「1：指定価格」or「2：高価格優先」 	『3』キーを押します。 上段：価格帯 下段：プライス3のカウンタ値

3	カウンタ集計条件が「0：グループ別」 	『8』キーを押します。 上段：表示無し 下段：グループ8のカウンタ値
	カウンタ集計条件が「1：指定価格」or「2：高価格優先」 	『8』キーを押します。 上段：価格帯 下段：プライス8のカウンタ値
4		『トータル』キーを押すと、待機状態に戻ります。

注1. カウンタの集計条件については「オプションカウンタ仕様の設定・確認」をご覧ください。

注2. カウンタ集計条件が「0：グループ別」の場合グループ設定されているカウンタのみ表示します。

注3. カウンタ集計条件が「1：指定価格」の場合価格帯が設定されているカウンタのみ表示します。

注4. カウンタ集計条件が「2：高価格優先」の場合自動販売機に存在する価格のみを表示します。

(1) グループ別での運用時の動作例

簡易的にカウンタ数を5個として記載します。(実際は10個) カウンタをグループ別で運用する場合は

- ① 予め「1-08. カウンターの集計条件設定・確認」を「0：グループ別」に設定します。
- ② 予め「9-13. 売上集計グループの設定・確認」でグループを設定します。

◇G1、2はグループ設定済み ◇G3、4は以前使用していた

キー	表示	グループ	カウンタ値
1	G1	設定済	2345
2	G2	設定済	123456
3			54321
4			321
5			0

※1. グループ未設定のカウンタは表示しません。

※2. 以前使用していたカウンタのカウンタ値は保存されています。

◇G3をグループ再設定 ◇G5を新規にグループ設定

キー	表示	グループ	カウンタ値
1	G1	設定済	2345
2	G2	設定済	123456
3	G3	設定済	54321
4			321
5	G5	設定済	0

※1. G3は保存されていたカウンタ値からカウントを開始します。

※2. G5は0からカウントを開始します。

(2) 指定価格での運用時の動作例

簡易的にカウンタ数を5個として記載します。(実際は10個) カウンタを指定価格で運用する場合は

- ① 予め「1-08. カウンターの集計条件の設定・確認」を「1: 指定価格」に設定します。
- ② 予め「価格設定キー2回, プライス別カウンタ」で価格帯を設定します。

◇P1、2は価格帯が設定済み ◇P3、4は以前使用していた

キー	表示	価格帯	カウンタ値
1	P1	150	2345
2	P2	120	123456
3			54321
4			321
5			0

- ※1. 価格帯未設定のカウンタは表示しません。
- ※2. 以前使用していたカウンタのカウンタ値は保存されています。

◇P3を130円に設定 ◇P5を140円に設定

キー	表示	価格帯	カウンタ値
1	P1	150	2345
2	P2	120	123456
3	P3	130	54321
4			321
5	P5	140	0

- ※1. P3は保存されていたカウンタ値からカウントを開始します。
- ※2. P5は0からカウントを開始します。

◇P1を110円に設定

キー	表示	価格帯	カウンタ値
1	P1	110	2345
2	P2	120	123456
3	P3	130	54321
4			321
5	P5	140	0

- ※1. P1は価格帯が150円の時のカウンタ値を継続してカウントします。

(3) 高価格優先での運用時の動作例

簡易的にカウンタ数を5個として記載します。(実際は10個) カウンタを高価格優先で運用する場合は

- ① 予め「1-08. カウンターの集計条件の設定・確認」を「2: 高価格優先」に設定します。

◇自動販売機に150円、140円、120円の商品がある。

キー	表示	価格帯	カウンタ値
1	P1	150	2345
2	P2	140	123456
3	P3	120	54321
4			0
5			0

- ※1. 高価格順に自動で価格帯が設定されます。
- ※2. 価格帯の設定されていないカウンタは表示しません。

◇130円の商品を追加

キー	表示	価格帯	カウンタ値
1	P1	150	2345
2	P2	140	123456
3	P3	130	0
4	P4	120	54321
5			0

- ※1. P3は価格帯130円として0からカウントを開始します。
- ※2. P3にてカウントしていた価格帯120円がカウンタ値とともにP4にシフトします。

◇140円の商品を削除

キー	表示	価格帯	カウンタ値
1	P1	150	2345
2	P2	130	0
3	P3	120	54321
4		140	123456
5			0

- ※1. 価格帯が130円、120円の時のカウンタ値と共にひとつ上のカウンタにシフトします。
- ※2. 価格帯140円は表示しませんが、カウンタ値は保存されています。

2. ダイレクト設定1 (テンキーを用いた専用キー)

(1) テストキー

テンキーにて各種テストを直接選択できます。

	リモコン液晶	操作方法
1	タソヒソテスト	『テスト』キーを押すと、全コラムの販売可能ランプが点灯します。
2	コウソクレソソクテスト	『3』キーで直接「TST3: 高速連続テスト」を指定することができます。
3	シユソオクリテスト	再度『テスト』キーを押せば、次の項目に移ることができます。
4	その他の操作/動作は各項目を参照してください。	

(2) 売上集計キー

テンキーにて各種売上集計を直接選択できます。

	リモコン液晶	操作方法
1	01 トータル コスウ	『売上集計』キーを押すと、トータル売上個数を表示します。例) 123,456個
2	01 コラムヘッ ツ コス ↓ 01 コラムヘッ ツ コス C 45	『選択ボタン』を押すと、その選択ボタンの販売可能ランプを点灯し、コラム番号を表示後、売上個数を表示します。例) 5番コラムが45個
3	15 ルイケイ キンカ r P1 23456	『5』キーを押すと1が左にシフトして売上集計キー15回目の項目となります。例) 15回目 累計売上金額
4	51	『1』キーを押すと5が左にシフトして51となります。51の項目は無いので何も表示しません。
5	12 ルイケイ コスウ r C1 23456	『2』キーを押すと1が左にシフトして売上集計キー12回目の項目となります。例) 12回目 累計売上個数
6	13 ケソソソルイケイ b C1 23456	『売上集計』キーで次へ移ることも可能です。例) 13回目 現金累計売上個数
7	30	『0』キーを押すと1が左にシフトして30となります。30の項目は無いので何も表示しません。
8	08 ルーレット コスウ A C1 23456	『8』キーを押すと0が左にシフトして売上集計キー8回目の項目となります。例) 8回目 ルーレット当たり個数
9	その他の操作/動作は各項目を参照してください。	

(3) 販売休止キー

テンキーにて休止時間を直接設定できます。

	リモコン液晶	操作方法																						
1	<table><tr><td>ハ</td><td>ソ</td><td>ハ</td><td>イ</td><td>キ</td><td>ユ</td><td>ウ</td><td>ツ</td><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>H</td><td></td><td></td><td>2</td></tr></table>	ハ	ソ	ハ	イ	キ	ユ	ウ	ツ	A										H			2	『販売休止』キーを押すと、販売休止時間A、コラムの設定の項目になります。現在の設定時間が表示されます。
ハ	ソ	ハ	イ	キ	ユ	ウ	ツ	A																
							H			2														
2	<table><tr><td>ハ</td><td>ソ</td><td>ハ</td><td>イ</td><td>キ</td><td>ユ</td><td>ウ</td><td>ツ</td><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>H</td><td></td><td></td><td>5</td></tr></table>	ハ	ソ	ハ	イ	キ	ユ	ウ	ツ	A										H			5	『5』キーを押した時点で時間が確定します。
ハ	ソ	ハ	イ	キ	ユ	ウ	ツ	A																
							H			5														
3	その他の操作／動作は各項目を参照してください。																							

(4) 交互販売キー

テンキーにて交互販売グループを直接選択できます。

	リモコン液晶	操作方法																						
1	<table><tr><td>コ</td><td>ウ</td><td>コ</td><td>*</td><td>ハ</td><td>ソ</td><td>ハ</td><td>*</td><td>イ</td><td>シ</td><td>ス</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>G</td><td>r</td><td>1</td></tr></table>	コ	ウ	コ	*	ハ	ソ	ハ	*	イ	シ	ス									G	r	1	『交互販売』キーを押すと、交互販売の設定の項目になります。 グループ番号1が表示され、そのグループに設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。
コ	ウ	コ	*	ハ	ソ	ハ	*	イ	シ	ス														
								G	r	1														
2	<table><tr><td>コ</td><td>ウ</td><td>コ</td><td>*</td><td>ハ</td><td>ソ</td><td>ハ</td><td>*</td><td>イ</td><td>シ</td><td>ス</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>G</td><td>r</td><td>5</td></tr></table>	コ	ウ	コ	*	ハ	ソ	ハ	*	イ	シ	ス									G	r	5	グループ1～10はテンキーにて直接選択可能です。 グループ11以降はアップ、ダウンキーを使用してください。
コ	ウ	コ	*	ハ	ソ	ハ	*	イ	シ	ス														
								G	r	5														
3	その他の操作／動作は各項目を参照してください。																							

(5) 価格設定キー

テンキーにて現金価格を直接変更できます。

	リモコン液晶	操作方法																				
1	<table><tr><td>ケ</td><td>ソ</td><td>キ</td><td>ン</td><td>カ</td><td>カ</td><td>ク</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>0</td></tr></table>	ケ	ソ	キ	ン	カ	カ	ク											1	2	0	『価格設定』キーを押すと、現金価格の項目になります。
ケ	ソ	キ	ン	カ	カ	ク																
							1	2	0													
2	<table><tr><td>ケ</td><td>ソ</td><td>キ</td><td>ン</td><td>カ</td><td>カ</td><td>ク</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>0</td></tr></table>	ケ	ソ	キ	ン	カ	カ	ク										1	2	0	『0』→『3』→『5』と押すと左記の通りになります。	
	ケ	ソ	キ	ン	カ	カ	ク															
							1	2	0													
<table><tr><td>ケ</td><td>ソ</td><td>キ</td><td>ン</td><td>カ</td><td>カ</td><td>ク</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>0</td><td>3</td></tr></table>	ケ	ソ	キ	ン	カ	カ	ク											2	0	3		
ケ	ソ	キ	ン	カ	カ	ク																
							2	0	3													
<table><tr><td>ケ</td><td>ソ</td><td>キ</td><td>ン</td><td>カ</td><td>カ</td><td>ク</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td>5</td><td>0</td></tr></table>	ケ	ソ	キ	ン	カ	カ	ク											3	5	0		
ケ	ソ	キ	ン	カ	カ	ク																
							3	5	0													
3	その他の操作／動作は各項目を参照してください。																					

注1. カード価格も同様に設定できます。

3. ダイレクト設定2 (テンキーを用いたモードキー)

モードキー後のモード番号、項目番号をテンキーにて入力できます。

	リモコン液晶	操作方法																				
1	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>-</td><td>0</td><td>1</td></tr></table>																	0	-	0	1	『モード』キーを押すと、モード番号の入力待ちとなります。
						0	-	0	1													
2	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td>-</td><td>0</td><td>1</td></tr></table>																	5	-	0	1	『5』キーを押します。
						5	-	0	1													
3	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>-</td><td>0</td><td>1</td></tr></table>																	2	-	0	1	『書込み』キーにてタイマーモードとなり、項目番号の選択待ちとなります。
						2	-	0	1													
4	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>-</td><td>1</td><td>5</td></tr></table>																	2	-	1	5	『6』→『1』の順に押します。
						2	-	1	5													
5	<table><tr><td>カ</td><td>-</td><td>ト</td><td>ハ</td><td>ッ</td><td>カ</td><td>イ</td><td>キ</td><td>ョ</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td>-</td><td>6</td><td>1</td></tr></table>	カ	-	ト	ハ	ッ	カ	イ	キ	ョ								5	-	6	1	『書込み』キーにてモード5-61に入りました。 (カード別開局禁止の設定・確認)
カ	-	ト	ハ	ッ	カ	イ	キ	ョ														
						5	-	6	1													
6	その後の操作／動作は各機能を参照してください。																					

●売行情報キー操作

各種週間売行情報を表示します。

1. コラム別週間売行

コラム別の1週間毎の売行を表示します。商品の装填本数の目安にご利用ください。

	リモコン液晶	操作方法																						
1	<table><tr><td>C</td><td>L</td><td>↑</td><td>W</td><td>0</td><td>W</td><td>1</td><td>W</td><td>2</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>5</td></tr></table>	C	L	↑	W	0	W	1	W	2	1			3	4	2	3	1	5	『売行情報』キーを1回押すと、コラム1の週間売上と売行を表示します。 例) CL 1 ↑ : コラム1は好調 W0 (今週) : 34本 W1 (1週前) : 23本 W2 (2週前) : 15本				
C	L	↑	W	0	W	1	W	2																
1			3	4	2	3	1	5																
2	<table><tr><td>C</td><td>L</td><td>↑</td><td>W</td><td>1</td><td>W</td><td>2</td><td>W</td><td>3</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	C	L	↑	W	1	W	2	W	3	1			2	3	1	5	1	1	『モード』キーにて1週間ずつシフトします。 W9 (9週前) まで確認可能です。				
C	L	↑	W	1	W	2	W	3																
1			2	3	1	5	1	1																
3	<table><tr><td>C</td><td>L</td><td>↓</td><td>W</td><td>0</td><td>W</td><td>1</td><td>W</td><td>2</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td></td><td>7</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td>8</td><td></td></tr></table>	C	L	↓	W	0	W	1	W	2	1	2		7	1	3	1	8		『アップ』、『ダウン』キーにて他のコラムを表示します。 例) CL 1 2 ↓ : コラム1 2は不調 W0 (今週) : 7本 W1 (1週前) : 13本 W2 (2週前) : 18本				
C	L	↓	W	0	W	1	W	2																
1	2		7	1	3	1	8																	
4	<table><tr><td>C</td><td>L</td><td>→</td><td>W</td><td>0</td><td>W</td><td>1</td><td>W</td><td>2</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td></td><td>0</td><td></td><td>0</td><td></td><td>0</td><td></td></tr></table>	C	L	→	W	0	W	1	W	2	1	2		0		0		0		『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、表示中のコラムの情報がクリアされます。				
C	L	→	W	0	W	1	W	2																
1	2		0		0		0																	
5	<table><tr><td>E</td><td>N</td><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	E	N	D																最後(最初)のコラムの次に『アップ』または『ダウン』キーを押すとEND表示します。				
E	N	D																						
6	<table><tr><td>E</td><td>N</td><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ク</td><td>リ</td><td>ア</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	E	N	D						ク	リ	ア												END表示中に『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全てのコラムの情報がクリアされます。
E	N	D						ク	リ	ア														
7	<table><tr><td>1</td><td>0</td><td>/</td><td>2</td><td>3</td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>T</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>	1	0	/	2	3		1	2	3	4	T						5	6	7	8	9	0	『終了』キーを押すと、待機状態に戻ります。
1	0	/	2	3		1	2	3	4															
T						5	6	7	8	9	0													

注1. W0 (今週) は今日～7日間の7日間です。W1は8日前～14日間の7日間です。同様にW2は15日前～21日前、W3は22日前～28日前……です。

注2. ↑ 売行好調 : W2からW1、W1からW0で連続して売上数が増加
↓ 売行不調 : W2からW1、W1からW0で連続して売上数が減少
→ 売行普通 : 上記以外

注3. 手順1～6の間で選択ボタンを押すと、その選択ボタンに対応したコラムの情報を表示します。

2. 交互販売グループ別週間売行

交互販売グループ別の1週間毎の売上数と売行を表示します。

複数のコラムに装填されている商品の装填本数の目安にご利用ください。

	リモコン液晶	操作方法																					
1	<table><tr><td>G</td><td>R</td><td>↑</td><td></td><td></td><td>W</td><td>0</td><td></td><td>W</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>3</td><td>4</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	G	R	↑			W	0		W	1		1				1	3	4	1	2	3	『売行情報』キーを2回押すと、グループ1の週間売上と売行を表示します。 例) GR 1 ↑ : グループ1は好調 W0 (今週) : 1 3 4本 W1 (1週前) : 1 2 3本
G	R	↑			W	0		W	1														
	1				1	3	4	1	2	3													
2	<table><tr><td>G</td><td>R</td><td>↑</td><td></td><td></td><td>W</td><td>1</td><td></td><td>W</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td></td><td>8</td><td>5</td></tr></table>	G	R	↑			W	1		W	2		1				1	2	3		8	5	『モード』キーにて1週間ずつシフトします。 W9 (9週前) まで確認可能です。
G	R	↑			W	1		W	2														
	1				1	2	3		8	5													
3	<table><tr><td>G</td><td>R</td><td>↓</td><td></td><td></td><td>W</td><td>0</td><td></td><td>W</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>6</td><td>7</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr></table>	G	R	↓			W	0		W	1		4				6	7		1	1	3	『アップ』、『ダウン』キーにて他のグループを表示します。例) GR 4 ↓ : グループ4は不調 W0 (今週) : 6 7本 W1 (1週前) : 1 1 3本
G	R	↓			W	0		W	1														
	4				6	7		1	1	3													

4	<table><tr><td>G</td><td>R</td><td>→</td><td></td><td></td><td></td><td>W</td><td>0</td><td></td><td></td><td>W</td><td>1</td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr></table>	G	R	→				W	0			W	1	4						0					0	『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、表示中のグループの情報がクリアされます。		
G	R	→				W	0			W	1																	
4						0					0																	
5	<table><tr><td>E</td><td>N</td><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	E	N	D																						最後(最初)のグループの次に『アップ』または『ダウン』キーを押すとEND表示します。		
E	N	D																										
6	<table><tr><td>E</td><td>N</td><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ク</td><td>リ</td><td>ア</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	E	N	D								ク	リ	ア														END表示中に『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、全てのグループの情報がクリアされます。
E	N	D								ク	リ	ア																
7	<table><tr><td>1</td><td>0</td><td>/</td><td>2</td><td>3</td><td></td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>3</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>T</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>	1	0	/	2	3		1	2		3	4		T						5	6	7	8	9	0	『終了』キーを押すと、待機状態に戻ります。		
1	0	/	2	3		1	2		3	4																		
T						5	6	7	8	9	0																	

注1. WO(今週)は今日～7日前の7日間です。W1は8日前～14日前の7日間です。同様にW2は15日前～21日前、W3は22日前～28日前・・・です。

注2. ↑ 売行好調: W2からW1、W1からWOで連続して売上数が増加
↓ 売行不調: W2からW1、W1からWOで連続して売上数が減少
→ 売行普通: 上記以外

注3. 手順1～6の間で選択ボタンを押すと、その選択ボタンに対応した交互販売グループの情報を表示します。但し、交互販売グループが設定されていない選択ボタンを押した場合はキャンセルされます。

注4. 交互販売グループの設定を変更した場合、全グループの情報がクリアされます。

注5. 交互販売グループがひとつも設定されていない場合は、END表示のみ行います。

3. 温度帯別週間売行

温度帯別の1週間毎の売上数と売行を表示します。冷温切換時期の目安にご利用ください。

	リモコン液晶	操作方法																										
1	<table><tr><td>A</td><td>L</td><td>L</td><td>↑</td><td></td><td></td><td>W</td><td>0</td><td></td><td></td><td>W</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>3</td><td>4</td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	A	L	L	↑			W	0			W	1							1	3	4		1	2	3	『売行情報』キーを3回押すと、全商品の週間売上と売行を表示します。 例) ALL↑: 全商品合計は好調 WO(今週): 1 3 4本 W1(1週前): 1 2 3本	
A	L	L	↑			W	0			W	1																	
						1	3	4		1	2	3																
2	<table><tr><td>A</td><td>L</td><td>L</td><td>↑</td><td></td><td></td><td>W</td><td>1</td><td></td><td></td><td>W</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td></td><td>8</td><td>5</td></tr></table>	A	L	L	↑			W	1			W	2							1	2	3		8	5	『モード』キーにて1週間ずつシフトします。W9(9週前)まで確認可能です。		
A	L	L	↑			W	1			W	2																	
						1	2	3		8	5																	
3	<table><tr><td>C</td><td>L</td><td>D</td><td>↓</td><td></td><td></td><td>W</td><td>0</td><td></td><td></td><td>W</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td><td>7</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr></table>	C	L	D	↓			W	0			W	1							6	7			1	1	3	『アップ』、『ダウン』キーにて他の温度帯商品を表示します。 例) CLD↓: コールド商品は不調 WO(今週): 6 7本 W1(1週前): 1 1 3本	
C	L	D	↓			W	0			W	1																	
						6	7			1	1	3																
4	<table><tr><td>C</td><td>L</td><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td>W</td><td>0</td><td></td><td></td><td>W</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td><td>-</td><td>-</td></tr></table>	C	L	D				W	0			W	1							-	-			-	-	『点検/クリアキー』を2秒以上押し続けると、表示中の温度帯商品の情報がクリアされます。		
C	L	D				W	0			W	1																	
						-	-			-	-																	
5	<table><tr><td>E</td><td>N</td><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	E	N	D																						最後(最初)の温度帯の次に『アップ』または『ダウン』キーを押すとEND表示します。		
E	N	D																										
6	<table><tr><td>E</td><td>N</td><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ク</td><td>リ</td><td>ア</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	E	N	D								ク	リ	ア														END表示中に『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、全ての温度帯の情報がクリアされます。
E	N	D								ク	リ	ア																
7	<table><tr><td>1</td><td>0</td><td>/</td><td>2</td><td>3</td><td></td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>3</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>T</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>	1	0	/	2	3		1	2		3	4		T						5	6	7	8	9	0	『終了』キーを押すと、待機状態に戻ります。		
1	0	/	2	3		1	2		3	4																		
T						5	6	7	8	9	0																	

注1. WO(今週)は今日～7日前の7日間です。W1は8日前～14日前の7日間です。同様にW2は15日前～21日前、W3は22日前～28日前・・・です。

注2. ALL: 全商品 CLD: コールド商品
HOT: ホット商品 COL: 物販商品

注3. ↑ 売行好調: W2からW1、W1からWOで連続して売上数が増加
↓ 売行不調: W2からW1、W1からWOで連続して売上数が減少

→ 売行普通: 上記以外

注4. 1週間存在しなかった庫室の売上数は「ー」表示となります。
9週間存在しなかった庫室の表示は行いません。

注5. WOが「ー」表示の場合、矢印表示は行いません。

注6. 手順4、6にてクリアした場合、週間冷温売上比率の情報もクリアされます。

4. 週間冷温売上比率

1週間毎のコールド商品の売上とホット商品の売上数比率を表示します。

冷温切換時期の目安にご利用ください。

	リモコン液晶	操作方法																							
1	<table><tr><td>W</td><td>0</td><td></td><td>C</td><td>O</td><td>L</td><td>D</td><td></td><td>3</td><td>2</td><td>%</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>H</td><td>O</td><td>T</td><td></td><td></td><td>6</td><td>8</td><td>%</td></tr></table>	W	0		C	O	L	D		3	2	%				H	O	T			6	8	%	『売行情報』キーを4回押すと、コールド商品とホット商品の売上数比率を表示します。 例) WO (今週) コールド商品：32% ホット商品　：68%	
W	0		C	O	L	D		3	2	%															
			H	O	T			6	8	%															
2	<table><tr><td>W</td><td>1</td><td></td><td>C</td><td>O</td><td>L</td><td>D</td><td></td><td>2</td><td>4</td><td>%</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>H</td><td>O</td><td>T</td><td></td><td></td><td>7</td><td>6</td><td>%</td></tr></table>	W	1		C	O	L	D		2	4	%				H	O	T			7	6	%	『アップ』、『ダウン』キーにて他の週の売上数比率を表示します。例) W1 (1週前) コールド商品：24% ホット商品　：76%	
W	1		C	O	L	D		2	4	%															
			H	O	T			7	6	%															
3	<table><tr><td>W</td><td>1</td><td></td><td>C</td><td>O</td><td>L</td><td>D</td><td></td><td></td><td>0</td><td>%</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>H</td><td>O</td><td>T</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>%</td></tr></table>	W	1		C	O	L	D			0	%				H	O	T				0	%	『点検／クリア』キーを2秒以上押し続けると、全ての週の情報がクリアされます。	
W	1		C	O	L	D			0	%															
			H	O	T				0	%															
4	<table><tr><td>1</td><td>0</td><td>/</td><td>2</td><td>3</td><td></td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>T</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>	1	0	/	2	3		1	2		3	4	T						5	6	7	8	9	0	『終了』キーを押すと、待機状態に戻ります。
1	0	/	2	3		1	2		3	4															
T						5	6	7	8	9	0														

注1. WO(今週)は今日～7日前の7日間です。W1は8日前～14日前の7日間です。同様にW2は15日前～21日前、W3は22日前～28日前・・・です。

注2. COLD点減: W2からW1、W1からWOで連続してコールド商品の売上数比率が増加した場合。
HOT点減: W2からW1、W1からWOで連続してホット商品の売上数比率が増加した場合。
点減無し: 上記以外

注3. 物販コラムが存在する場合も、物販コラムからの販売は考慮しません。
注4. 小数点以下を切り捨てたため合計が100%にならないこともあります。
注5. 手順3にてクリアした場合、温度帯別週間売行の情報もクリアされます。

●売上集計加算条件一覧表

項目 \ 加算条件	現金	プリペイドカード	現金・プリペイドカード併用	部署別IDカード	IDカード	フリーバンドスイッチ	フリーバンド	ルーレット当りの販売	キーボードテスト	コインテスト	カードテスト	割引販売	マルチマネー
トータル（期間）売上個数	○	○	○	○	○	○	○					○	○
コラム別売上個数	○	○	○	○	○	○	○					○	○
トータル（期間）売上金額	○	○	○	○	○							□	
コラム別売上金額	○	○	○	○	○							○	
グループ別売上個数	○	○	○	○	○	○	○					○	○
グループ別売上金額	○	○	○	○	○							○	
価格別売上個数	○	○	○	○	○	○	○					○	○
価格別売上金額	○	○	○	○								○	
テスト販売個数									○				
ルーレット当たり個数								○					
ルーレット当たり金額								○					
割引合計個数												○	
割引合計金額												■	
フリーバンド売上個数						○	○						○
フリーバンド売上金額						○	○						○
部署別IDカード売上個数				○									
部署別IDカード コラム別売上個数				○									
累計売上個数	○	○	○	○	○	○	○					○	○
現金累計売上個数	○											○	
現金以外累計売上個数		○	○	○	○	○	○						○
累計売上金額	○	○	○	○	○							□	
現金累計売上金額	○		△									□	
現金以外累計売上金額		○	▲	○	○								
コラム別補給数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電磁（液晶）カウンター	○	○	○	○	○	○	○					○	○
カード価格別売上金額		○		○	○							○	
カード価格別売上個数		○		○	○								○
フリーバンド価格別売上金額						○	○						
フリーバンド価格別売上個数						○	○						

○：加算

□：割引額を引いた販売価格を加算

■：割引額を加算

△：現金・カード併用の場合、現金分加算

▲：現金・カード併用の場合、カード分加算

●売上集計クリア条件一覧表

項目 \ クリア操作	トータルまたはコラム別売上個数／金額	グループ別売上個数／金額	価格別売上個数／金額	テスト販売個数	ルーレット当たり個数／金額	割引合計個数／金額	フリーバンド売上個数／金額	部署別IDカード売上個数／金額	部署別IDカードコラム別売上個数／金額	指定部署別IDカードの解除	累計売上個数／金額	現金累計売上個数／金額	現金以外累計売上個数／金額
トータル（期間）売上個数	C												
コラム別売上個数	C												
トータル（期間）売上金額	C												
コラム別売上金額	C												
グループ別売上個数		C											
グループ別売上金額		C											
価格別売上個数			C										
価格別売上金額			C										
テスト販売個数				C									
ルーレット当たり個数					C								
ルーレット当たり金額					C								
割引合計個数						C							
割引合計金額						C							
フリーバンド売上個数							C						
フリーバンド売上金額							C						
部署別IDカード売上個数								C	C	C			
部署別IDカード コラム別売上個数								C	C	C			
累計売上個数											C	C	C
現金累計売上個数											C	C	C
現金以外累計売上個数											C	C	C
累計売上金額											C	C	C
現金累計売上金額											C	C	C
現金以外累計売上金額											C	C	C

注1. C：クリア操作にてクリアされるデータ

注2. コラム別の売上個数、金額は全てのコラムのデータがクリアされます。

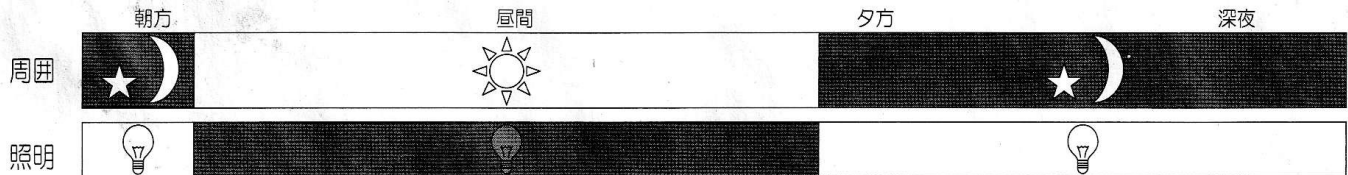
注3. グループ別の売上個数、金額は全てのグループのデータがクリアされます。

注4. 価格別の売上個数、金額は全ての価格のデータがクリアされます。

注5. 本売上集計データは自販機情報管理システムのクリアとは別にキーボード操作にてクリアされます。

●照明に関する設定例

①明るいとき消灯、暗いとき点灯させたい



【設定方法】

項目名	モード番号	設定
照明節電モード（消灯モード）	9-07	0
人感センサーによる照明消灯時間帯	2-20	0000

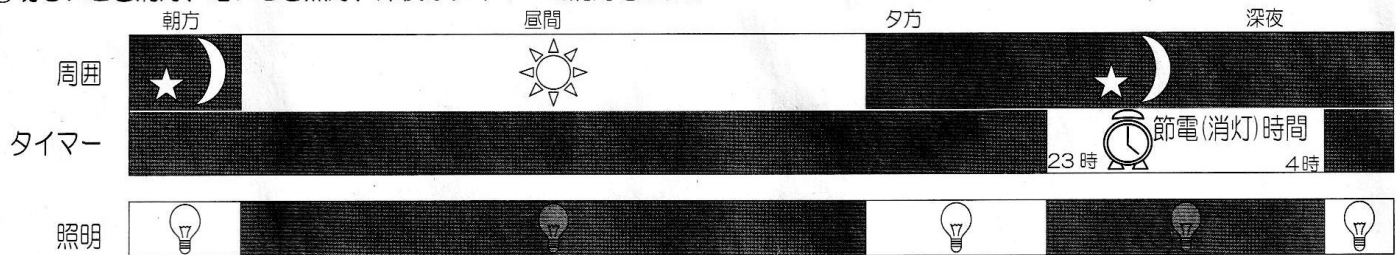


点灯



消灯

②明るいとき消灯、暗いとき点灯、深夜はタイマーで消灯させたい



【設定方法】

項目名	モード番号	設定
照明節電モード（消灯モード）	9-07	2
照明節電(消灯)時間帯	9-08	2304
人感センサーによる照明消灯時間帯	2-20	0000



点灯



消灯

③明いとき消灯、暗いとき人感センサーで点消灯させたい



【設定方法】

項目名	モード番号	設定
照明節電モード（消灯モード）	9-07	0
人感センサーによる照明消灯時間帯	2-20	0024



点灯



消灯



人かいないときは消灯（人感センサーを使用する）